教　育　要　覧

令 和 7 年 度



「寺谷小学校閉校記念式典」

市 原 市 教 育 委 員 会

市原市いじめ「ゼロ」宣言

私たちは、いじめをゼロにするために、
次の３つの心を大切にすることを宣言します。

1. 私たちは「正義の心（せいぎ　こころ）」を大切にします。

勇気を持ち、いじめを絶対に見逃しません。
自分の行動を見直し、相手の良さを見つけます。

2. 私たちは「素直な心（すなお　こころ）」を大切にします。

相手の個性を認め、自分の心に嘘はつきません。
挨拶を交わし、感謝の気持ちを伝え合います。

3. 私たちは「優しい心（やさ　こころ）」を大切にします。

相手をしっかり受け止め、寄り添う気持ちを持ちます。
相手を思いやり、傷つける行為をしません。

この3つの心を持ち続け、「友達の輪を
大切にし、いじめや差別を許さない学校」
そして「かけがえのない命を大切にし、
お互いに支え合う学校」づくりを目指す
ために、私たちの強い意志を表明し、
努力することをここに誓います。



平成28年9月

市原市小中学校児童会・生徒会

目　　次

ページ

Ⅰ　市原市の概要
　1　市原市の概要 …… 7
　2　市立教育施設位置図 …… 8
　3　市内スポーツ施設位置図 …… 9

Ⅱ　教育行財政
　1　教育委員会 …… 13
　2　教育委員会組織図 …… 14
　3　教育委員会職員数 …… 15
　4　市原市教育大綱 …… 16
　5　財政 …… 17～25

Ⅲ　学校教育
　1　幼児教育 …… 29
　2　学校教育 …… 30～40
　3　教育センター …… 41～42
　4　学事 …… 43～49
　5　学校保健 …… 50～55

Ⅳ　生涯学習
　1　生涯学習 …… 59～69

Ⅴ　青少年の健全育成
　1　青少年の健全育成 …… 73
　2　青少年指導 …… 74～76

Ⅵ　文化振興と文化財保護
　1　市民文化 …… 79～80
　2　文化財保護 …… 81～89
　3　文化振興 …… 90～94

Ⅶ　社会体育
　1　スポーツ・レクリエーション …… 97
　2　社会体育 …… 98～103

Ⅷ　資料
　1　歴代教育長・教育委員 …… 107～109
　2　学校教育諸団体 …… 110～116
　3　社会教育諸団体 …… 117～127
　4　市原市立学校一覧 …… 128～129

Ⅰ　市 原 市 の 概 要

1　市原市の概要

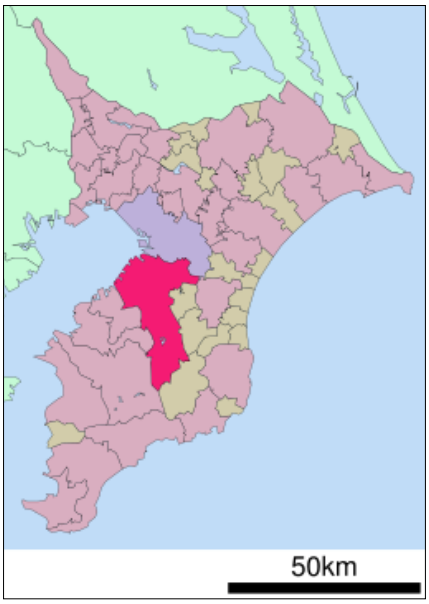
① 市制施行（昭和38年5月1日～）　　（令和7年5月1日現在）

面　　積	368.16 ㎢
人　　口	266,206 人
世 帯 数	132,727 世帯

②教育関係施設

（市　立）認定こども園	6	（私　立）幼　稚　園	16
（　〃　）小　学　校	39	（　〃　）認定こども園	6
（　〃　）中　学　校	21	（　〃　）小　学　校	1
（県　立）高 等 学 校	5	（　〃　）高 等 学 校	2
（　〃　）特別支援学校	1	（　〃　）大　　学	1
（市　立）公　民　館	11	中央武道館	1
給食共同調理場	5	中央図書館	1
教育センター	1	生涯学習センター	1
青少年指導センター	1	埋蔵文化財調査センター	1
歴史博物館	1		

③市原市の沿革



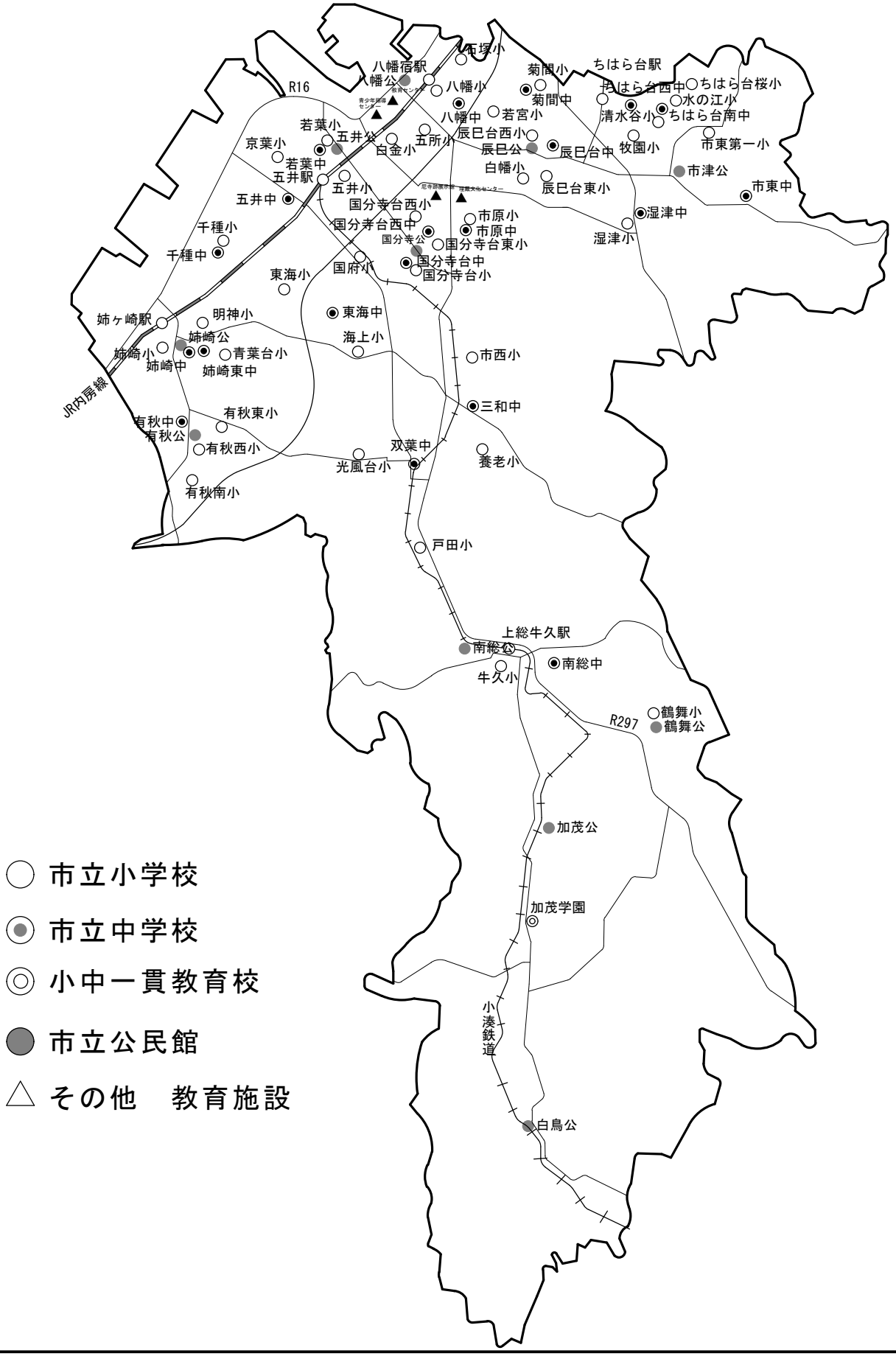
市原市は、千葉県（房総半島）の中央部にあり、南北に細長い広大な市域を形づくっています。北部の臨海部は平坦地ですが、西部は標高 200ｍから 300ｍの丘陵地帯となっています。市の中央部には、清澄山系を水源とする養老川が流れ、この流域に広がる水田地帯を潤しています。

古代にあっては、上総国の国府の所在地であり、政治・経済・文化の中心地として栄えました。国分寺跡にある壮大な七重塔の礎石は、当時の盛んな様子を伝えています。しかし、時代の変動による国府の衰退が一つの契機となり、近代に至るまで房総の一農漁村の域にとどまりました。

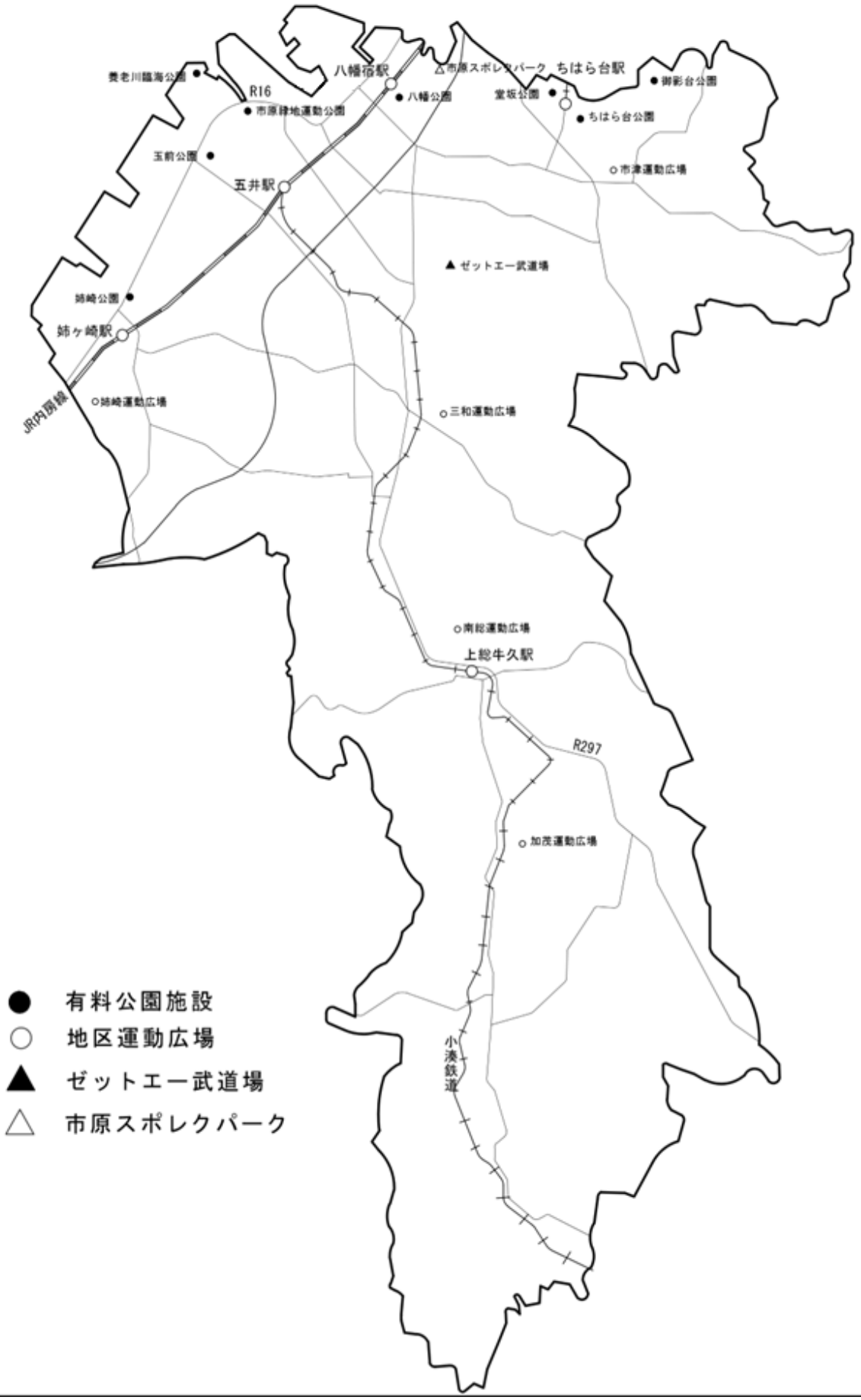
昭和32年、海岸の埋立造成が行われ、それまで北部海岸地帯の主要産業であった海苔養殖は、終わりを告げました。この造成地への石油関連産業を中心とした企業の進出、操業が転機となり、本市の産業構造は大きく変わりました。とりわけ、市内就業人口の第二次産業への比重が増加しました。それに伴い市民の生活環境も急速に都市化したため、行政の一元化・近代化が、必要になってきました。こうして市制施行への機運が熟し昭和38年5月市原・五井・姉崎・市津・三和の5町が合併し、つづいて、昭和42年10月には、南総町・加茂村の合併により、ここに一郡一市の広域市である「市原市」の誕生をみました。

現在、本市の人口は市制施行当初の約3倍に増加し、この間、市では学校や公民館をはじめとする教育施設の整備や、地域社会の教育・文化の向上や住民相互の交流の場づくりを進めてきました。さらに令和2年1月、約77万年前の地磁気逆転現象が世界中で最もよく観察できる場所として、養老川流域田淵の地層が国際基準となり、約77万4千年前～約12万9千年前の地質年代の名称が「チバニアン」と呼ばれることとなりました。

市立教育施設　位置図


千塚小
八幡宿駅
八幡公
八幡小
菊間小
ちはら台駅
ちはら台西中
ちはら台桜小
水の江小
菊間中
清水谷小
ちはら台南中
R16
若葉小
五井公
八幡中
若宮小
辰巳台西小
京葉小
五所小
白金小
辰巳公
辰巳台中
牧園小
市東第一小
若葉中
白幡小
市津公
五井駅
辰巳台東小
市東中
五井小
五井中
国分寺台西小
湿津中
市原小
千種小
国分寺台西中
市原中
国分寺公
国分寺台東小
湿津小
千種中
国分寺台中
東海小
国府小
国分寺台小
姉ヶ崎駅
明神小
東海中
姉崎公
海上小
姉崎小
青葉台小
市西小
姉崎中
姉崎東中
JR内房線
三和中
有秋東小
有秋中
有秋公
有秋西小
双葉中
養老小
光風台小
有秋南小
戸田小
上総牛久駅
南総公
南総中
牛久小
鶴舞小
R297
鶴舞公
加茂公
加茂学園
小湊鉄道
白鳥公
市立小学校
市立中学校
小中一貫教育校
市立公民館
その他　教育施設

市内スポーツ施設　位置図



Ⅱ　教 育 行 財 政

1　教　育　委　員　会

①　教育長・教育委員



教　育　長
藤　谷　　誠



教育長職務代理者
泉　水　洋　二



委　　員
宮　﨑　理　恵



委　　員
古　川　謙　一



委　　員
三　橋　京　子

（令和　7年　9月　3日現在）

役　職　名	氏　　名	就　任　日	任　　期
教　　育　　長	藤　谷　　誠	R　6.　7.17	R　6.　7.17～R　9.　7.16
教育長職務代理者	泉　水　洋　二	R　6.　7.17	R　6.　7.17～R10.　7.16
委　　員	宮　﨑　理　恵	R　5.　7.17	R　5.　7.17～R　9.　7.16
委　　員	古　川　謙　一	R　7.　7.17	R　7.　7.17～R11.　7.16
委　　員	三　橋　京　子	R　7.　9.　3	R　7.　9.　3～R　8.　7.16

2　教育委員会組織図

（令和7年4月1日現在）



3　教育委員会職員数

(1)　事　務　局　　（令和７年４月１日現在）

職名／所属	部長	次長	課長	主幹	主任指導主事	課長補佐	副主幹	係長	アドバイザー	指導主事	主査	副主査	社会教育主事	主任	主事	学芸員	スクールソーシャルワーカー	合計
教育部	1	1																2
教育総務課			1			1		3						4	6			15
学校保健課			1			1		2				2		3	2			11
学校教育課			1			1	1	2 (1)			1	2		1	5			14
指導課			1	1		(1)		(2)		11				2			1	16
生涯学習部	1	1																2
生涯学習課			1			1		2				2	1	1	3			11
スポーツ・文化振興課			1			1		2	1			2		1	4			12
文化財課			1			1		2			1	3			1	3		12
合計	2	2	7	1		6	1	13	1	11	2	11	1	12	21	3	1	95

※（）内の数字については、兼職であり、合計数には含めておりません。

(2)　教育機関　　（令和７年４月１日現在）

職名／所属		所長・館長	主幹	所長補佐・館長補佐	場長・所長・館長	副主幹	係長	指導主事	主査	副所長	副主査	社会教育主事	主任	主任教諭	主事	教諭	業務主任	主任技労員	学芸員	司書	合計
共同調理場	南総調理場				1						1										2
	市原学校給食センター				1						1										2
	岩崎調理場				1						1										2
	姉崎調理場				(1)																0
	ちはら台調理場				(1)																0
教育センター		1		1				8			1										11
生涯学習センター					1					1	2	1			2						7
青少年指導センター					1	1					3				1						6
中央図書館		1		1			3				6		2		2					2	17
歴史博物館					1						2		1						2		6
埋蔵文化財調査センター					(1)						1		1						3		5
史跡上総国分尼寺跡展示館					(1)								1								1
合計		2		2	6	1	3	8		1	18	1	5		5				5	2	59

※（）内の数字については、兼職であり、合計数には含めておりません。

４　市原市教育大綱

（１）策定の経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（平成27年4月1日施行）に伴い、地方公共団体の長は、地域の実情に応じ、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとされました。これを受け、本市では、市長と教育委員会の調整の場である総合教育会議の中で3回にわたり協議を行い、平成28年8月に、本市の教育行政の根本となる方針を定める「市原市教育大綱」を策定しました。

（２）位置づけ

大綱は、国の教育振興基本計画を参酌し、市の総合計画と整合を図るものとします。

（３）基本理念

「未来へつなぐ　いちはらの教育」

～　幼児教育から学校教育、生涯学習へとつなぐ確かな教育の実践と、市民・地域の力「市原力」を教育に活用することにより、一人一人の資質と能力を最大限に伸ばし、地域への誇りと愛着を持ち社会の中で活躍する人材を育む教育　～

（４）基本目標と施策の基本的な方針

◇　未来へ飛躍する力の基礎となる確かな学力の養成と幼児教育の充実

① 未来を担う子どもたちの「確かな学び」の推進

② 質の高い幼児教育の推進

◇　一人一人の個性を生かした、感性豊かな心と健やかな体の育成

① 豊かな心と健康でたくましい子の育成

② 青少年の健全育成

◇　いじめを許さない体制づくり

① いじめの未然防止と早期対応

◇　思い切り学べる教育環境づくりと支援体制の充実

① 子どもたちが思い切り力を伸ばせる教育環境づくり

② 学校の安心・安全対策の充実

③ あらゆる子どもへの支援体制の充実

◇　生涯学習の機会充実と学習成果を生かせる仕組みづくり

① 生涯学習の機会・情報提供の充実とその成果の活用

◇　多彩な地域資源を活用したスポーツの推進、歴史・文化・芸術の振興

① 生涯を通じたスポーツの推進

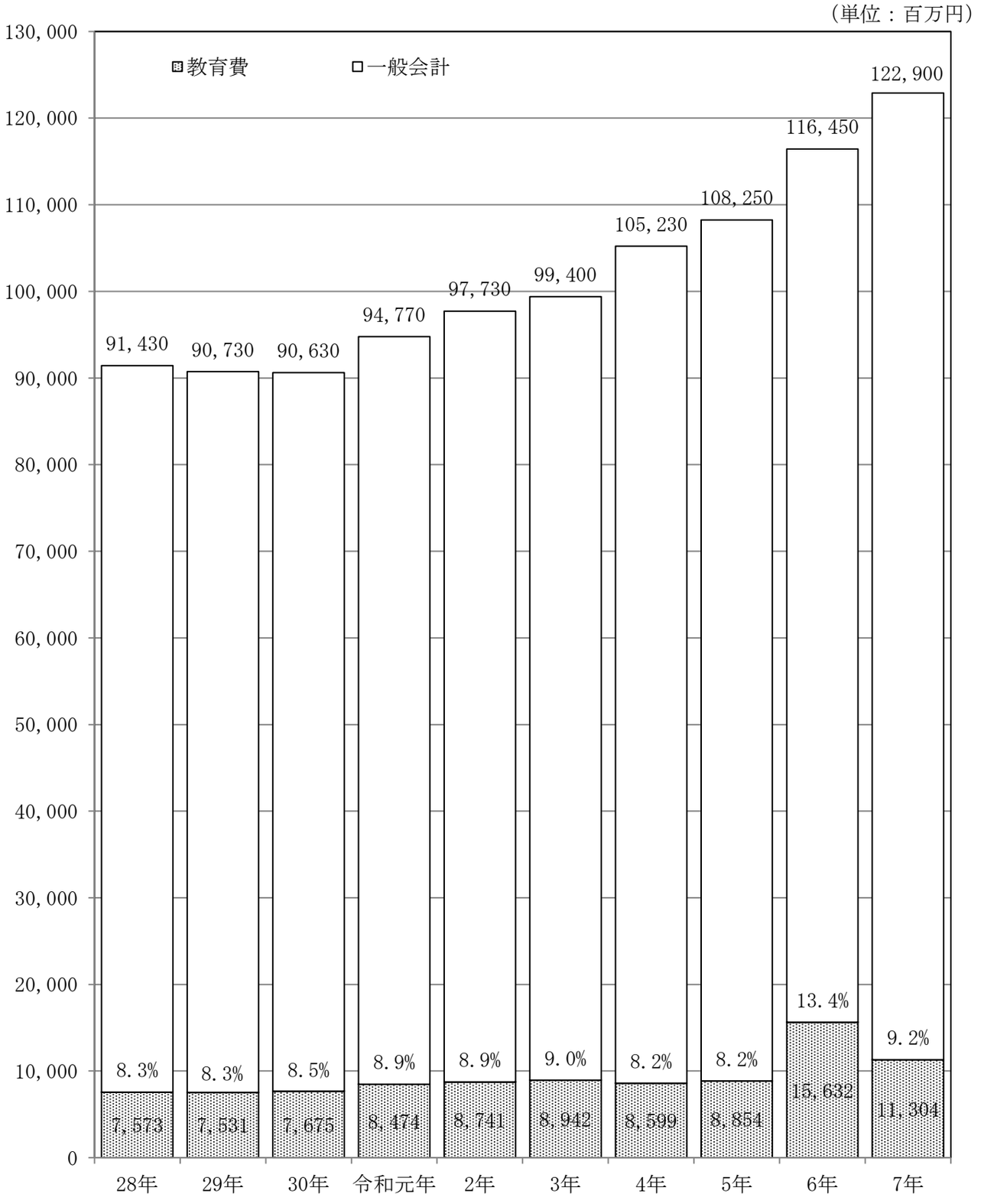
② ふるさとへの誇りと愛着を育む歴史・文化・芸術の継承と創造

（５）具現化に向けて

本大綱の基本理念の実現に向けて、市の総合計画に大綱の施策等を反映させるとともに、各部門計画や実行計画等を通じて、具体的な施策や事業の推進を図ることとします。

5　財　　政

（１）一般会計及び教育費の構成比の推移（当初予算）



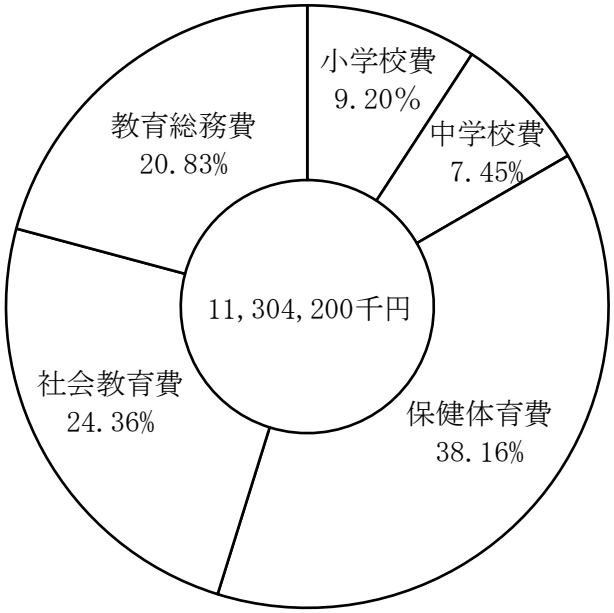
（２）教育費項別決算額の推移　　（単位：千円）

項目＼年度	教育費総額			教育総務費			小学校費			中学校費		
	支出額	構成比	指数	支出額	構成比	指数	支出額	構成比	指数	支出額	構成比	指数
令和2年度	9,552,313	100	100	2,318,022	23	100	1,194,286	13	100	1,010,417	11	100
令和3年度	9,745,870	99	102	2,112,064	21	91	1,503,807	14	126	1,037,903	11	103
令和4年度	9,159,545	99	96	1,957,334	21	84	1,656,401	18	139	1,106,897	12	110
令和5年度	9,688,270	101	101	2,000,498	21	86	1,842,133	19	154	1,130,127	12	112
令和6年度	16,363,075	101	171	2,098,792	12	91	1,756,380	11	147	933,864	6	92
令和7年度	11,304,200	100	118	2,354,356	21	102	1,039,460	9	87	842,471	7	83

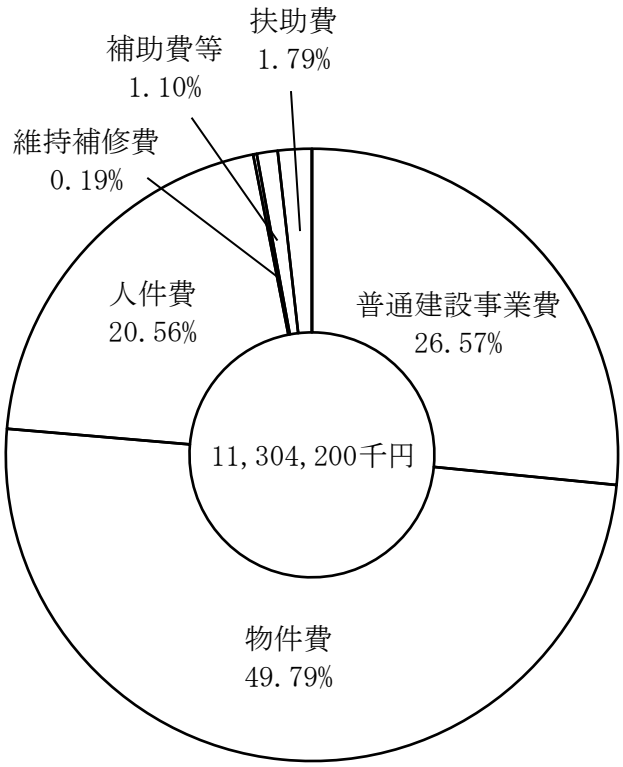
項目＼年度	幼稚園費			社会教育費			保健体育費		
	支出額	構成比	指数	支出額	構成比	指数	支出額	構成比	指数
令和2年度	－	－	－	2,461,746	26	100	2,567,842	27	100
令和3年度	－	－	－	2,117,421	22	86	2,974,675	31	116
令和4年度	－	－	－	1,802,035	20	73	2,636,878	28	103
令和5年度	－	－	－	2,033,210	21	83	2,682,302	28	104
令和6年度	－	－	－	2,561,968	16	104	9,012,071	56	351
令和7年度	－	－	－	2,754,154	24	112	4,313,759	39	168

（注）令和7年度は当初予算額である。

（３）教育費項別構成表　　（令和7年度当初予算）



（４）教育費性質別構成表　　（令和7年度当初予算）



（５）学校建設費の推移　　（単位：千円）

項目／年度	教育費総額	小学校建設費	割合％	中学校建設費	割合％	学校建設費の占める割合％
平成28年度	7,500,447	156,703	2.1	－	－	2.1
平成29年度	7,533,615	－	－	－	－	－
平成30年度	7,678,208	6,702	0.1	－	－	0.1
令和元年度	11,096,743	142,615	1.3	－	－	1.3
令和2年度	9,552,313	－	－	－	－	－
令和3年度	9,745,870	－	－	－	－	－
令和4年度	9,159,545	－	－	－	－	－
令和5年度	9,688,270	－	－	－	－	－
令和6年度	16,363,075	－	－	－	－	－
令和7年度	11,304,200	－	－	－	－	－

※令和7年度は当初予算額である。

（６）令和７年度の主要事業
（新：新規事業　拡：拡充事業）

（単位：千円）

教育委員会
教育部

事業名	予算科目	事業内容	事業費	担当課
小中学校運営費	教育費	小中学校の円滑な運営を行う。 ・消耗品等の購入費 ・スクールバスの運行委託等 【令和6年度～12年度債務負担行為】 限度額23,760千円 ・AED賃貸借等	206,166	教育総務課
児童生徒費	教育費	小中学校における教育活動を推進する。 ・教授用消耗品等の購入費 ・学校図書館の図書や教師用指導書等の整備費 ・保護者負担を軽減するための教材等の公費購入経費	240,136	教育総務課
小中学校教育振興費	教育費	教育効果を一層高めるために必要な教材備品を整備する。 ・小中学校義務教育教材備品等購入費	38,604	教育総務課
オンライン家庭学習環境整備事業	教育費	自宅のインターネット接続環境が不足する児童生徒に対して通信環境を整備する。 ・モバイルルータ通信サービス利用料	2,890	教育総務課
小中学校情報機器整備事業	教育費	ICTを児童生徒の学習活動の支援ツールとして活用し、学習活動の充実を図るとともに、校務の効率化を図る。 ・児童生徒一人一台タブレット端末等賃貸借等 【令和6年度～10年度債務負担行為】 限度額1,243,836千円 ・校務用パーソナルコンピュータ等賃貸借 ・教育用ソフトウェア賃貸借 ・インターネット回線使用料等	369,991	教育総務課
教育環境整備事業	教育費	教職員が使用するネットワークのセキュリティを強化することにより児童生徒にかかる情報を保護する。	32,887	教育総務課
施設管理費	教育費	各小中学校及び閉校施設の施設管理に係る経費である。	357,200	教育総務課
小規模学級特認校推進事業	教育費	特認校（国府小学校・海上小学校）を指定し、少人数指導によるきめ細かな教育、学校独自の特色ある教育を行う。 ・体験活動に係る講師謝礼、募集ポスター、リーフレット作成の経費	230	学校教育課
学級支援推進事業	教育費	特別な支援を必要とする児童生徒が在籍している普通学級や特別支援学級において、学級運営の補助員を配置する。 ・小学校・中学校　29人（学級補助員） ・小学校・中学校　23人（特別支援学級）	131,793	学校教育課
小中学校就学援助事業	教育費	経済的理由によって、就学困難な児童生徒の保護者及び特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減する。 ・学用品費 ・修学旅行費ほか	97,027	学校教育課
学校給食共同調理場施設整備事業	教育費	学校給食共同調理場施設の修繕工事等を行う。 ・ 排水処理施設修繕工事等	19,547	学校保健課
拡 給食費	教育費	学校給食の食材価格が高騰している状況においても、成長期にある児童生徒の健康を保持増進していくためには、栄養バランスの取れた給食を安定的に提供する必要があることから、物価高騰分を市で負担する。	1,566,584	学校保健課

	事業名	予算科目	事業内容	事業費	担当課
	学校給食共同調理場再整備事業	教育費	学校給食共同調理場全体としての質と量、コストの最適化を図り、今後も安全で安心な学校給食を安定的に提供していくため、市原市学校給食共同調理場再整備計画に基づき、再整備事業を推進する。 ・PFI事業者による市原学校給食センターの運営業務 （市原学校給食センターの維持管理及び運営の業務について民間事業者へ委託） 【令和4年度～21年度債務負担行為】 限度額　16,493,686千円 【令和8年度～令和21年度債務負担行為設定】 限度額122,283千円に物価の変動を基に算出した額を加えた額以内 ・市原学校給食センター整備・運営に係るPFI事業モニタリング業務委託 【令和4年度～8年度継続事業】 総額21,934千円 ・ちはら台学校給食共同調理場大規模改修及びアレルギー専用調理室設置工事 【令和6年度～8年度継続事業】 総額1,308,372千円 【令和6年度～8年度債務負担行為】 限度額　653,506千円 ・姉崎学校給食共同調理場改修及びアレルギー専用調理室設置工事	1,419,264	学校保健課
拡	部活動の地域移行	教育費	地域移行した部活動（1競技）に参加する生徒・指導者の保険料、指導者に対して交通費相当の報償費等を支給する。	2,818	指導課
拡	不登校児対策（つなぐルーム）	教育費	・不登校の兆候が見られる子どもを受け入れる教室「つなぐルーム」を新たに小学校3校に設置、昨年度を含め、設置校5校全てに支援員を配置することにより、校内に教室に入りづらい児童が安心できる居場所作りを行う。	10,297	指導課
拡	学校プール業者委託事業	教育費	プール施設の老朽化が著しく、自校プールが使用できない学校も授業に取り組める環境を整え、児童生徒の泳力向上とともに、民間企業とも連携し、水の事故を未然に防ぐ思考力を育む。	4,066	指導課
	心のサポーター事業	教育費	長期欠席や不登校になりがちな児童やその家庭に対して、きめ細かな対応をとるため、全小学校に相談室を開設し、相談員を配置する。 ・心のサポーター　11名　延べ1,470日	24,831	指導課
	基礎学力定着推進事業	教育費	児童生徒の基礎学力の向上に資するため、授業支援や放課後学習支援を行う。 ・基礎学力定着特別講師　16名　延べ3,392日 ・いちはら学習サポーター　39校　延べ3,042回 ・学習教材の作成・活用	61,020	指導課
	英語教育推進事業	教育費	英語教育の充実と英語力向上のため、学校教育において生きた英語に接する機会を提供する。 ・小中学校への外国人講師の配置　20名 ・全小学校での市原アクティブイングリッシュ事業の実施 ・中学1、3年生で英検IBAテストの実施 外国人講師活用事業 【令和5年度～7年度債務負担行為】 限度額304,887千円 市原アクティブイングリッシュ事業 【令和5年度～7年度債務負担行為】 限度額28,404千円	108,896	指導課
	スクールカウンセラー事業	教育費	長期欠席や不登校になりがちな生徒やその家庭に対して、きめ細かな対応をとるため、中学校にスクールカウンセラー及びアシスタントを配置する。 ・スクールカウンセラー（県配置） ・スクールカウンセラーアシスタント　21名　延べ2,205日 配置校：全中学校	36,855	指導課
	いじめ対策事業	教育費	いじめの早期発見及び未然防止のための各種対策を行う。 ・hyper-QUアンケート（小学校3年生以上の児童生徒） ・いじめ防止等対策協議会の開催（年3回） ・「いじめゼロ宣言」の取組 （イエローフラッグ・ポスター作成）	7,524	指導課

事業名	予算科目	事業内容	事業費	担当課
読書教育推進事業	教育費	読書活動の習慣化や充実を図り、児童生徒の豊かな感性と創造性を育むため、学校司書を配置する。 ・学校司書:28名 配置校:全小中学校	39,539	指導課
帰国・外国人児童生徒日本語学習等支援事業	教育費	日本語指導等を行う協力者を派遣し、帰国・外国人児童生徒等に対する教育の充実を図る。 ・指導回数　延べ2,291回	5,782	指導課
加茂学園小中一貫グローバル化推進事業	教育費	加茂地区の活性化の一環として、小中一貫校である加茂学園のグローバル化を図り、国際的に活躍できる人材の育成を図る。 ・外国人講師の常時配置　3名 ・イングリッシュルームの活用 ・放課後英語教室の実施 ・外国の学校とのオンライン交流 外国人講師活用事業 【令和5年度～7年度債務負担行為】 限度額48,966千円	14,652	指導課
幼児教育活動事業	教育費	すべての子どもに質の高い教育・保育を提供するため、保育教諭・保育士に対する研修を行う。 ・幼児教育研修(幼児体育指導研修等)	236	指導課
教職員研究研修事業	教育費	教職員の資質向上のための研修を行う。 ・教職員研修会 ・教職員研修用コンピュータ使用料	3,807	指導課 教育センター
教育用ICT機器運用事業	教育費	小中学校の教育においてICTを活用することで、児童生徒の資質と能力を最大限に伸ばし、思い切り学べる環境づくりと支援体制の充実を図る。 ・学校貸出し用タブレット型PCのリース　280台 ・教育用PC等修繕料	22,349	教育センター
特別支援教育推進事業	教育費	特別な支援を要する幼児・児童・生徒の保護者からの就学相談に応じるほか、小中学校等における特別支援教育の更なる推進を図る。 ・特別支援教育相談員　3名 ・電話による発達や就学に関する相談 ・市内幼稚園、保育所(園)、認定こども園、小中学校を訪問し、就学や進学に関する情報提供や保護者との個別相談 ・教育支援委員会、特別支援教育等連携協議会の開催	4,842	教育センター
教育相談事業	教育費	不登校の児童生徒への指導・支援を行うため、教育支援教室指導員を配置する。 ・教育支援教室指導員　6名 ・教育支援教室施設使用料	13,140	教育センター
GIGAスクール推進事業	教育費	児童生徒が授業動画を家庭でも視聴可能とすることで家庭での復習を充実させ、電子ドリルとの相乗効果により一層の学力定着につなげる。 小中学生向けに表現力を向上させる授業支援、教員研修、教材を提供することで、プレゼンテーション能力を高め、市原市GIGAスクールを一層推進していく。	3,351	教育センター
特別支援コーディネーター事業	教育費	要請に応じて小中学校を訪問し、特別な支援を要する児童生徒の実態を把握し、特性に配慮した指導や支援の在り方等について教職員及び保護者に助言・援助を行う。 ・特別支援コーディネーター　1名 ・個別の児童生徒の指導方法等についての支援・助言、関係機関との連携等	1,121	教育センター
小中学校における医療的ケア実施体制確立事業		インクルーシブ教育システムの構築に向けて、医療的ケアを提供し、全ての児童生徒が望む教育を平等に受けることが出来るようにする。医療的ケア児受け入れのための看護師配置等、医療的ケア実施体制を整える。 ・スクールメディカルサポーター　2名 ・医療的ケア運営委員会の開催 ・医療的ケア看護師業務委託　7名 ・医療的ケア指導医報償費等	57,427	教育センター

生涯学習部

	事業名	予算科目	事業内容	事業費	担当課
	公民館整備事業	教育費	市内公民館の施設・設備のうち、老朽化や故障が原因となり、利用者の安全に関わるなど緊急に対応が必要な箇所について、優先的に改修・修理する。 ○姉崎公民館等屋上防水及び外壁改修工事 112,601千円 【令和6年度～7年度継続事業】総額 170,720千円 ○南総公民館キュービクル改修工事 20,563千円 【令和6年度～7年度継続事業】総額 43,791千円 ○国分寺公民館換気設備更新工事 6,391千円 ○姉崎公民館受水槽等改修工事(実施設計委託)11,502千円 【令和6年度～7年度債務負担行為】 限度額11,502千円 ○有秋公民館消防用設備修繕 4,543千円 等	174,434	生涯学習課
	若者応援プロジェクト	教育費	若者が夢をもって社会へ参画していく後押しをするため、若者応援プロジェクトとして、ワークショップと若者の活動・応援拠点(理想の自習室)を両輪で実施・継続する。	2,625	生涯学習課
拡	コミュニティ・スクールの全市展開	教育費	地域の実情に合わせ、中学校区単位にコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入を推進し、併せて学校と地域をつなぐ地域学校協働活動推進員(コーディネーター)を配置する。 ・全中学校区導入予定(計21中学校区) ・地域学校協働活動推進員への報償費 ・学校運営協議会委員への報償費	8,237	生涯学習課 指導課
	図書館運営事業	教育費	「知の情報拠点」として図書や雑誌、情報を整え、職員の専門性を活用し、子どもから高齢者まですべての世代が各々の課題を解決するために必要な情報や知識を得る機会を提供する。 ・図書等購入費 ・オンラインデータベース使用料 ・業界新聞等専門紙購入費 ・知の情報拠点活用講座等講師謝礼	143,259	中央図書館
	電子書籍サービス事業	教育費	新しい生活様式を踏まえた非来館型サービスとして実施している電子書籍サービスを、更に充実させ利用を促進する。 ・月額クラウド利用料 ・電子書籍利用料 ・電子書籍マーク作成委託	3,996	中央図書館
	上総国府のまち更級日記千年紀事業	教育費	第5回となる更級日記千年紀文学賞への応募作品の中から、著名な作家等により大賞等を選考し発表する。また、著名な作家による講演会を開催する。 ・文学賞選考委員への謝礼 ・文学賞大賞ほか受賞者への賞金 ・作品募集用文芸雑誌等への広告料 ・講演会開催委託	11,085	中央図書館
	社会体育振興費	教育費	市民の健康増進を図るため、スポーツ協会やスポーツ推進委員等と連携してスポーツ・レクリエーション事業を実施する。 また、運動部活動の地域移行に向けた体制整備について、有識者等による検討会議を進めるとともに、関係団体と連携して指導者育成や地域クラブの運営・基準づくり等に取り組む。	53,128	スポーツ・文化振興課
	スポーツによる共生社会推進事業	教育費	「いちはらスポーツアンバサダー」に任命した本市ゆかりのパラアスリート 秦由加子選手と連携した取組により、障がいの有無に関わらず、スポーツを通じた交流機会の創出を図る。 また、小中学校におけるパラスポーツの体験授業を実施し、パラアスリートとの交流を通じ、心のバリアフリーを推進する。	3,379	スポーツ・文化振興課

	事業名	予算科目	事業内容	事業費	担当課
	チバニアンガイダンス施設の整備	教育費	整備基本計画に基づき、ガイダンス施設等の整備を進める。 ・土木整備工事 ・【継続費】地磁気逆転地層見学施設整備工事 【令和7～8年度継続事業】総額92,950千円 ・【継続費】新ガイダンス施設の建築工事 【令和7～8年度継続事業】総額1,459,920千円 ・【継続費】展示の実施設計及び制作 【令和6～8年度継続事業】総額242,790千円	799,664	文化財課
	歴史博物館(I'Museum)活動の推進	教育費	市原歴史博物館を拠点に、常設展・特別展、各種体験講座、学校連携、フィールドミュージアム事業等の博物館活動を推進し、本市の豊かな歴史遺産の価値と魅力を発信することで、郷土への愛着と誇りを育むとともに、歴史遺産を支える人材の育成や交流人口の拡大につなげる。	128,139	文化財課　歴史博物館

市長部局
資産経営部

	事業名	予算科目	事業内容	事業費	担当課
	(仮称)八幡宿駅西口複合施設等PFI事業	総務費 教育費	公共施設の質・量・コストの最適化に向け、公共施設再配置のモデルケースとして、八幡宿駅西口周辺の公共施設を機能集約した複合施設を整備・運営するとともに、八幡認定こども園を移設することで、老朽化した施設の課題を解決し、公民連携による新たな時代の公共施設として、更なる賑わいと交流を図る。(令和8年3月2日供用開始) ・(仮称)八幡宿駅西口複合施設等PFI事業 【令和4～22年度債務負担行為】総額7,351,440千円 ・設計・建設出来高検査等支援業務委託 【令和5～7年度継続事業】総額33,770千円 ・維持管理・運営モニタリング支援業務委託 【令和6～9年度債務負担行為】総額16,720千円 ・オープニングセレモニー開催支援業務委託	2,599,263	公共資産マネジメント課
新	小中学校空調設備整備事業	教育費	視聴覚教材だけでは得られない実習による技能と知識の習得には、特別教室での授業が不可欠であるため、特別教室へのエアコン整備に取り組む。	35,318	公共資産マネジメント課
	小中学校環境整備事業	教育費	小中学校の環境整備を図るための改修工事等を行う。	94,305	公共資産マネジメント課
	小中学校施設環境整備事業	教育費	学校施設の大規模な改修工事等を行う。 湿津小学校消防設備更新工事 五井中学校プール槽防水改修工事　他	89,255	公共資産マネジメント課
	非構造部材耐震対策事業	教育費	小中学校の屋内運動場の非構造部材耐震化工事等を行う。 実施設計委託:　小学校 4校　中学校 1校 工事:　　小学校 2校　中学校 2校 【令和6年度3月補正】 工事:　　小学校 2校　中学校 3校 ※国の交付金が前倒しとなったため、3月補正予算で実施。	493,417	公共資産マネジメント課
	学校施設バリアフリー化推進事業	教育費	小中学校の校舎及び屋内運動場の段差解消、車椅子使用者用トイレの設置、エレベーターの設置等を行う。 実施設計委託:　小学校 2校　中学校 1校 工事:　　小学校 3校　中学校 3校 【令和6年度3月補正】 工事:　　小学校 5校　中学校 5校 ※国の交付金が前倒しとなったため、3月補正予算で実施。	635,616	公共資産マネジメント課
	優先的保全事業	教育費	学校施設の老朽化等に対応するため、緊急性や優先性を考慮し、屋上防水改修工事等を行う。 実施設計委託:　小学校 2校　中学校 1校 工事:　　小学校 4校　中学校 2校	267,001	公共資産マネジメント課

Ⅲ　学 校 教 育

１　幼児教育

◇市原市教育大綱における基本目標と施策の基本的な方針

基本目標１　未来へ飛躍する力の基礎となる確かな学力の養成と幼児教育の充実

施策の基本的な方針（２）質の高い幼児教育の推進

○　すべての子どもたちが質の高い幼児教育を受けられるよう、教育の機会拡充や質の向上を図ります。

○　自発的な活動としての遊びを通じ、心身の調和のとれた発達を支援する中で、生涯にわたる人格形成の基礎づくりや義務教育へとつながる土台づくりを推進します。

◇令和７年度推進事業

（１）幼小一貫教育の推進

幼児期から義務教育の接続が円滑にいくよう、小学校と認定こども園、保育所（園）、幼稚園の職員が意見交換や合同の研修・研究の機会を設け、連携を通じた質の向上を図ります。

また、小学校区ごとに連携カリキュラムを作成・展開し、すべての子どもに質の高い教育・保育を提供できるよう普及促進します。

（２）交流研修の推進

すべての子どもに質の高い教育・保育を提供するため、子ども未来部と連携し、公立認定こども園及び公立保育所の職員が公立認定こども園等での交流研修を行い、教育・保育内容の充実を推進します。

（３）市原市幼小研修会の推進

認定こども園・保育所（園）・幼稚園・小規模保育事業所から小学校教育へのスムーズな橋渡しのため、研修会を実施し、幼児教育及び保育と小学校教育の連携を推進します。

２　学校教育

◇市原市教育大綱における基本目標及び施策の基本的な方針

基本目標１　未来へ飛躍する力の基礎となる確かな学力の養成と幼児教育の充実

施策の基本的な方針（１）未来を担う子どもたちの「確かな学び」の推進

○　基礎的・基本的な知識や思考力・判断力・表現力等の確かな学力を身に付け、主体的に学習に取り組むことができるよう、学校・家庭・地域の連携と、市民の力「市原力」等を活用して、教育活動の充実を図ります。

○　小学校において、確かな学力を身に付けて中学校へと進学できるよう、小中の一貫性を踏まえた、切れ目の無い確かな教育を実践します。

○　子どもたちが、社会を生き抜く力を身に付け、将来社会の中で活躍できるよう、体験活動やキャリア教育の推進、主権者教育等によるシティズンシップ（※1）の醸成を図ります。

○　様々な要因による教育格差の再生産や固定化の解消に向けて、市と教育委員会等が連携して取り組みます。

※1　シティズンシップとは、社会の一員として自立し、権利と義務の行使により、社会に積極的に関わろうとする態度。

基本目標２　一人一人の個性を生かした、感性豊かな心と健やかな体の育成

施策の基本的な方針（１）豊かな心と健康でたくましい子の育成

○　「子育て４か条」、「市原の子どもの４つの約束」の定着や道徳の時間等を通じて、自他を尊重し思いやる心、人間関係を築く力、主体的に判断し行動する力等を醸成し、感性豊かな心を育成します。

○　学校、遊び、地域スポーツ等の様々な機会を通じた体力の向上を推進し、健康でたくましい子を育成します。

○　学校保健、学校給食、食育の充実等により、様々な健康課題等に適切に対応し、健康の保持増進を図ります。

基本目標３　いじめを許さない体制づくり

施策の基本的な方針（１）いじめの未然防止と早期対応

○　道徳教育・体験活動の充実や「市原の子どもの４つの約束」等を通じて、豊かな情操や規範意識、他者への思いやり等を育み、いじめを発生させない風土の醸成を図ります。

○　いじめを許さないという強い思いのもと、「市原市いじめ防止等のための基本方針」の理念に基づき、アンケートの実施や市・教育委員会・学校・家庭・地域等の連携、相談体制の充実等により、いじめの未然防止と早期に発見・対応できる体制の充実を図ります。

基本目標４　思い切り学べる教育環境づくりと支援体制の充実

施策の基本的な方針（１）子どもたちが思い切り力を伸ばせる教育環境づくり

○　児童生徒の学力向上や課題探求型の学習、道徳の教科化等の新たな学びにも対応した質の高い学習を実現できるよう、教員の資質能力の総合的な向上を図ります。

○　児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていけるよう、学校規模の適正化を進めます。

○　より効果的に確かな学力を育成するため、さらなる ICT（※2）環境の整備を進め、協働型・双方向型の授業を推進します。

※2　ICT とは、Information and Communication Technology の略。情報や通信に関する技術の総称。

施策の基本的な方針（２）学校の安心・安全対策の充実

○　児童生徒等の学習・生活の場である学校施設の耐震対策を推進するとともに、通学路等の安全確保に取り組みます。

○　老朽化が進む学校施設や給食施設等の長寿命化や再編、改修等に計画的に取り組みます。

○　近年の異常気象等を起因とする大規模な災害を教訓として、防災に関する教育の充実や危険に際して主体的に行動する能力を育みます。

施策の基本的な方針（３）あらゆる子どもへの支援体制の充実

○　基本的な生活習慣の習得、自立心の育成、心身の調和のとれた発達等の大きな役割を担う家庭教育を支援するため、市・教育委員会・学校・家庭等の連携のもと、家庭教育に関する学習機会や情報の提供等の支援を推進します。

○　児童が放課後を安心・安全に過ごせるよう、学童保育等の放課後対策を推進します。

○　障害者の権利に関する条約に掲げられたインクルーシブ教育システム（※3）の構築に向けて、教育内容や方法の改善充実を図ることで、すべての子どもたちが能力や可能性を最大限に伸ばせる環境づくりを進めます。

○　不登校・貧困問題・発達障がい等の様々な課題に対応するため、各種相談体制の充実を図ります。

※3　インクルーシブ教育システムとは、人間の多様性の尊重等を強化し、障がい者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的の下、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み。

◇令和７年度推進事業

（１）学力向上推進事業

①基礎学力定着推進事業

市原市の児童・生徒の基礎学力定着に向けて、基礎学力定着特別講師及びいちはら学習サポーター等を配置します。小学校の算数を中心に、放課後等の時間を有効活用した指導にも力を入れ、子どもたちのつまずきに寄り添い、基礎学力の定着を推進します。

また、「いちはらリズム」を定着させることで、生活習慣を整え、児童生徒が授業以外の学習時間を確保するとともに、児童生徒の自己管理能力を鍛えます。授業で学んだことを定着させるため、家庭学習の方法を児童生徒へ指導する体制作りを行います。

さらに、全国学力・学習状況調査の結果分析から、市原市の児童生徒の学力面における課題の傾向をつかみ、その対策を行う「市原市確認問題」を各学校に冊子のかたちで配布します。これをもとに各学校で児童生徒が、様々な問題形式に触れ、初めて見る課題や、思考力・判断力・表現力を必要とする課題に繰り返し取り組み、復習することで学力の定着を図ります。

（２）英語教育推進事業

①外国人講師活用事業

児童・生徒の英語学習意欲の向上と「聞く・話す」力の伸長を図るため、市内小中学校に外国人講師（ALT）を配置し、中学校は学級単位で週１回程度、小学校は３年生以上を対象に学級単位で月 1～2 回程度、ALT と一緒に英語の授業を実施します。

②市原アクティブ・イングリッシュ事業

体験的な学習活動を展開することを通して、子どもたちの英語を実用的に活用できる能力の育成を図るため、市内全小学校に、通常の外国語活動の授業とは別に、学校規模に応じて複数の外国人講師（ALT）を１日派遣し、５年生を対象とした校内留学体験として、１日英語のみによる特別活動を少人数グループ単位で実施します。

③英語教育の推進

中学校修了時に実践的なコミュニケーション能力を有している児童生徒の育成を目指し、７年間の英語学習に見通しを持って取り組むために、中学校１、３年生において中学１年生は英検５級程度、３年生は英検３級程度の英語力を図る英検 IBA テストを実施します。結果のフィードバックにより生徒自身が習熟度を把握し主体的に学習に取り組む態度を養います。

（３）加茂学園小中一貫グローバル化推進事業

小中一貫校である加茂学園の特性を最大限に活かし、さらに魅力ある「通いたい・通わせたい学校」を実現するために、外国人講師（ALT）の常時配置等によってグローバル化を図ることで、今後の社会で求められる英語力の向上を目指し、国際的に活躍できる人材を育成します。文部科学省教育課程特例校として、グローバル・コミュニケーション科において英語を中心としたコミュニケーション活動に取り組みます。

（４）市原市 GIGA スクールの推進

これまでの教育実践と教育 ICT 環境をベストミックスする「IChiHaRa スタイル」を基本に、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す「市原市 GIGA スクール」を推進して

います。これまでの実践に加え、“探究学習”を通じた「主体的に自己実現に向かう子ども」の育成を図ります。

（５）コミュニティ・スクール事業

学校・家庭・地域が、学校の目指す教育目標やビジョンを共有し、地域と学校がより強固に連携・協働できる体制の構築を図るために、地域の実情に合わせ、中学校区単位をベースに学校運営協議会（市原型コミュニティ・スクール）を設置します。

（６）読書教育の推進

学校図書館の有効活用を図るため､学校司書を1校当たり週1日から週3日勤務で、全小中学校に配置し、読書教育の充実を図ります。そして、児童・生徒の読書量の増加や不読率（1 ヶ月に 1 冊も本を読まなかった児童・生徒の割合）の減少、調べ学習の充実、読書の好きな児童・生徒の割合の増加等を推進します。

（７）キャリア教育の充実

キャリア教育の充実を図るため、職場体験活動等を通して、人間関係力や、将来社会を主体的に生き抜くことのできる力の育成を図ります。

（８）SDGs の推進

児童生徒一人一人が持続可能な社会の創り手として活躍できるよう SDGs の理念を理解するとともに、その視点を踏まえた教育の実践に取り組みます。

（９）「正義の心」「素直な心」「優しい心」を大切にする『市原市いじめ「ゼロ」宣言』の定着

全市を挙げて感性豊かな子どもの育成を目指し、児童・生徒自らが作成した「正義の心」「素直な心」「優しい心」を大切にする『市原市いじめ「ゼロ」宣言』を、市内保幼小中を中心に広く市民に広めます。

（１０）道徳教育の充実

自他を尊重し、思いやる心、人間関係を築く力、主体的に判断し行動する力等を醸成するため、感性豊かな心の育成を図ります。

（１１）市原力で輝く学校地域連携事業

子どもたちが、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育めるよう、各地区において小学校と中学校及び地域が連携して、ボランティア活動や地域の特徴を生かした取組を実施します。

（１２）児童・生徒の体力向上推進

児童・生徒の体力を向上させるため､「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の体力合計点（平均値）を全国平均と比較・分析して体育授業の改善を図ります。

（１３）児童・生徒の安全な学校生活

全ての教職員が迅速かつ的確な行動をとれるよう、令和６年１２月に策定した「市原版学校重大事故（突然死等）対応マニュアル」を活用した実践的な研修を実施します。

（１４）部活動の充実

児童・生徒がスポーツ等に親しめる基盤として部活動を持続可能なものとするために、平成 31 年 1 月に策定した「市原市運動部活動ガイドライン」を周知し、適切な運動部活動運営の支援を行います。

（１５）部活動の外部指導者活用

児童・生徒の体力・技能の向上を目指し、地域と連携を図りながら学校支援ボランティア等の外部指導者を積極的に活用します。

（１６）地域スポーツの活性化（総合型地域スポーツクラブへの支援）

子どもから高齢者まで身近な地域でスポーツに親しめる環境を提供し、地域スポーツの活性化を図るため、地域住民や大学が主体となった総合型地域スポーツクラブの運営を支援します。

（１７）パラスポーツ体験授業

パラアスリートを招き、パラスポーツを体験する授業を行い、スポーツを通じて障がい者への理解を深める機会の提供を図ります。

（１８）新型コロナウイルス感染症等感染症対策

新型コロナウイルス感染症の５類感染症移行後、インフルエンザの流行が長期化する等、年間を通じて感染対策を講じる必要があるため、必要に応じて家庭や学校における子どもたちの健康観察の徹底を図るとともに、学校における感染症対策に必要な保健衛生用品等を整備します。

（１９）生理用品整備事業

各小中学校において、小学校４年生以上の女子トイレに生理用品を配置し、必要とする児童生徒がいつでも使用できる環境を整備します。

（２０）児童・生徒等の保健管理

児童・生徒等の健康保持のため、学校保健安全法に基づく健康診断及び学校環境衛生基準に基づく環境衛生管理を適切に行うとともに、全小中学校でのフッ化物洗口の実施等により学校保健を推進します。

（２１）安心・安全な学校給食の提供

安心・安全な学校給食を提供するため、学校職員・調理場職員に対し、食物アレルギーや衛生管理の研修会等を実施するとともに、「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の考え方を周知徹底します。また、食物アレルギーを有する児童が、他の児童と同様に給食を食べること及び保護者の負担軽減を図るため、市原学校給食センターにおいて、アレルギーの原因食物（卵・乳）を除去した給食の提供を行います。

（２２）食に関する指導等の推進

児童・生徒が食に関する知識や正しい食習慣を身に付け、健康の増進を図ることができるように、食に関する指導等の食育の推進に取り組みます。

また、市原学校給食センターに設置した、見学コーナーや調理疑似体験等を活用するなど、更なる食育の推進に取り組みます。

（２３）学校給食における地産地消推進

学校給食という生きた教材を通して、豊かな食文化を継承するため、「市原市民に元気な笑顔を広げる地産地消推進条例」を踏まえ、市原産農産物の学校給食への使用の拡充に努めます。

（２４）いじめ対策

いじめの未然防止のため、小学校３年生以上の児童・生徒を対象に hyper-QU アンケートを実施し、児童・生徒への理解を一層深め、「いじめのない学校づくり」を目指

します。

また、いじめを発生させない風土醸成のため、市内全小中学校児童会・生徒会によって策定した「市原市いじめ『ゼロ』宣言」を基に、子どもたちを中心とした主体的な活動を通して、いじめ撲滅を目指します。

（２５）スクールカウンセラーアシスタント配置

不登校、いじめ、問題行動等への対応を図るため、スクールカウンセラーアシスタントを週３回、全中学校に配置し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しながら、児童・生徒や保護者に対するカウンセリングにより早期対応、早期解決を図ります。

（２６）心のサポーター配置

不登校、いじめ、問題行動等の低年齢化に対応するため、心のサポーターを週 1～2 回、38 校の小学校に配置し、相談・カウンセリング体制の一層の充実を図り、児童・保護者が抱える様々な心の問題に対して、早期対応、早期解決を図ります。

（２７）スクールソーシャルワーカー配置

児童生徒が抱える課題を早期発見、解決するため、社会福祉に関する専門的な知識、経験に基づき、家庭環境への働きかけや保護者、教職員に対し、指導助言を行います。

（２８）教職員研修

教職員の資質・能力を高めるため、学力向上に向けた研修、授業力向上のための研修、ICT の利活用に関する研修、特別な支援や配慮を必要とする子どものための研修、人権意識の向上と子どもの SOS を見逃さないための関係機関との合同研修等（いじめ・不登校・虐待等の諸問題への対応）で、取組の充実を図ります。

（２９）学校規模適正化推進

子どもたちの教育環境の向上を最優先とした市原市学校規模適正化基本方針の具現化に向けて、学校規模適正化の対象地区の地域・保護者等との協議を行います。また、学校規模適正化基本方針の改定に向け、関係部署等と協議を行います。

（３０）小規模学級特認校推進

小規模学級の特性を生かした教育を実現するため、20 人以下の少人数指導によるきめ細かな教育を行うとともに、体験活動の充実や地域との連携を図った学習の展開などを図り、学校独自の特色ある教育を推進します。

（３１）小中学校就学援助事業

経済的理由により就学困難と認められる児童生徒（就学予定者を含む。）のいる家庭に対し、就学に必要な経費の一部を援助することにより、就学の機会均等を図ります。

（３２）学校教職員のメンタルヘルスケア

「うつ」などのメンタル不調の未然防止を図るため、小中学校の学校教職員にストレスチェック検査を実施し、自身のストレスの状態を把握させることで、必要に応じ、自己で意識づけるセルフチェックや職場環境の改善、医師との面談等につなげます。

（３３）非構造部材耐震対策

東日本大震災では、吊り天井等の非構造部材が落下する事故が発生したことから、学校施設において非構造部材の耐震対策を講じ、児童・生徒の安全を確保するため、実施設計委託及び耐震化工事を実施します。

（３４）優先的保全事業

児童生徒の安心安全を確保するため、緊急性や優先性の観点から、安全性や学校の運営機能に係る保全事業に先行・集中的に取り組みます。

（３５）小・中学校施設環境整備

安全で快適な学習環境を確保するため、学校施設の老朽化や様々な社会的要請に対応する改修を実施します。

（３６）学校施設バリアフリー化推進

障がいのある児童生徒が支障なく、安心して学校生活を送ることができるようにするとともに、災害時に避難所としての役割を果たすため、学校施設のバリアフリー化を推進します。

（３７）学校給食共同調理場再整備事業

安全・安心な学校給食を安定的に提供するとともに、学校給食共同調理場全体としての、質と量、コストの最適化を図るため策定した市原市学校給食共同調理場再整備計画に基づき、再整備事業を推進します。

（３８）防災教育

大規模災害に備えるため、６・１１幼小中一斉防災訓練の実施と学校危機管理マニュアルの整備を行い、主体的に行動する能力を育みます。

（３９）小・中学校空調設備整備事業

視聴覚教材だけでは得られない実習による技能と知識の習得には、特別教室での授業が不可欠であるため、特別教室へのエアコン整備に取り組みます。

また、設置後２０年が経過しているエアコンの更新も併せて行います。

（４０）不登校児童生徒支援事業

不登校児童生徒の将来の社会的自立を目指し、一人一人の状況に応じた多様な支援を行うため、「校内教育支援センター（つなぐルーム）」を設置し、常駐の指導員を配置します。

（４１）家庭教育支援

子どもの健全な成長や人格の形成にとって、最も大切な場である家庭での教育が適切に行われるよう、保護者、学校、地域及び行政が連携し、学習機会や相談体制、情報提供の充実などを図ります。

（４２）地域学校協働活動の推進

コミュニティ・スクールの導入と連動して、地域学校協働活動推進員を配置します。推進員によるコーディネートのもと、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えます。また、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして様々な取組を組み合わせて実施する活動を推進します。

（４３）学級支援推進

支援、介助を必要とする児童・生徒が在籍する学級の学習環境づくりを推進するため、学級補助員、特別支援学級指導補助員を配置します。

（４４）特別支援教育推進

障がいの有無にかかわらず、特別な支援を必要とするすべての幼児・児童・生徒の自

立と社会参加に向けて、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援を行います。そのための体制を整え、適切な指導・助言を行います。

（４５）教育相談

不登校や心因性の問題を抱える児童・生徒の教育相談を行い、教育支援教室に通級する児童・生徒に学校復帰や進路を主体的にとらえさせ、社会的に自立することを支援するため、適切な指導・助言を行います。

（４６）放課後児童健全育成事業

就労等により放課後や夏休み等に保護者が家庭にいない児童を預かり、集団生活や遊びを通じて児童の健全育成を図るとともに、保護者の子育てを支援します。

（1）研　究

令和7年度「研究学校」一覧

千葉県教育施策・学校教育指導の指針及び市原市教育大綱・市原市学校教育振興計画・市原市学校教育推進プランに則した学校経営の下で、調和のとれた教育課程の実践を図り、指導の質を高めるとともに地域教育研究の核とすることを趣旨として指定している。

NO	主　　管	研 究 対 象	学　校　名	校　長　名	指定年度	備　　考
第１指定部門						
1	市教委	外国語・外国語活動	海上小学校	伊豆　浩江	7・8	
2	市教委	道　徳	菊間小学校	恒﨑　昭義	7・8	
3	市教委	道　徳	千種中学校	宮内　雅史	7・8	
4	市教委	数　学	若葉中学校	山本　友子	7・8	
5	市教委	国　語	明神小学校	濤岡　洋司	6・7	
6	市教委	算　数	白金小学校	鈴木　麻貴子	6・7	
7	市教委	保健体育	戸田小学校	本宮　かおり	6・7	
第２指定部門						
8	市教委	主体的・対話的で深い学び	姉崎東中学校	木下　和巳	7・8	
9	市教委	小中一貫教育(連携型)	東海中学校区 （東海小学校 東海中学校）	小柴　卓也 今井　賢	7・8	
10	市教委	読書教育	市東第一小学校	今道　和信	7・8	
11	市教委	読書教育	五井中学校	片山　博臣	6・7	
12	市教委	プログラミング教育	若宮小学校	今井　清美	7・8	
13	市教委	幼小一貫教育	牛久小学校	山本　和幸	7	
幼児教育部門						
1	市教委	幼小一貫教育	牛久認定こども園	錦織　美千代	7	
特別指定						
1	市教委	未来へつなぐ教育小中一貫 グローバル化推進校	加茂学園	村松　邦生	2～	
2	市教委	ＧＩＧＡスクール 推進研究指定校	五井小学校	伊藤　究	7・8	
3	市教委	ＧＩＧＡフェスティバル指定校	国分寺台西中学校	大野　文昭	7	
県指定事業						
1	県教委	福祉教育推進校	八幡小学校 八幡中学校	毛塚　真澄 水野　了一	7・8・9	
2	県教委	学校安全総合支援事業	湿津中学校	齋藤　文孝	6・7	
3	県教委	地域における食育 推進事業	清水谷小学校	村上　由希子	6・7	
4	県教委	ＮＩＥ研究指定校	菊間中学校 三和中学校	鷲山　信二 香川　浩昭	6・7 7・8	
5	県教委	「ちばっ子の学びの変革」 推進事業研究指定校	国分寺台西小学校 辰巳台中学校	近藤　哲 泰原　浩	7・8	
6	県教委	キャリア教育実践プログラム 研究事業	国分寺台中学校	滝口　隆一	7	

（2）学校施設

①小学校　　（令和7年5月1日現在）（単位：㎡）

学校名	創立年度	建物面積				敷地面積
		校舎		屋内運動場		
		木造	非木造	木造	非木造	
八幡	M 6		4,845		1,122	26,430
菊間	〃 7	40	6,026		800	21,360
市原	〃 40	85	5,219		944	22,261
辰巳台東	S 41	125	5,730		1,133	19,836
辰巳台西	〃 36	66	5,448		1,024	19,434
五井	M 7	102	6,326		1,126	31,438
白金	S 45	85	4,950		843	28,961
国府	〃 33	41	2,580		823	9,784
京葉	M 7	52	4,835		965	24,717
千種	S 46	92	6,774		960	23,873
東海	T 14	71	3,319		803	22,476
姉崎	M 6	92	4,684		1,133	16,047
有秋東	〃 20	40	4,937		804	22,421
海上	〃 24	40	2,375	64	601	15,745
市西	〃 7	26	3,416		898	18,000
養老	T 5	41	3,024		815	29,375
湿津	M 36	46	4,438		747	19,211
市東第一	〃 15	59	3,082		783	17,122
戸田	M 6	72	3,762		888	16,909
牛久	〃 6	78	4,284		752	27,532
鶴舞	〃 6	72	2,805		809	17,795
有秋西	S 42	34	4,162		960	26,051
若葉	〃 47	93	4,041		816	23,935
明神	〃 46	87	4,925		802	26,070
若宮	〃 47	26	5,856		917	23,733
石塚	〃 49	62	4,425		800	20,115
青葉台	〃 50	51	5,271		981	22,974
白幡	〃 54	63	4,186		805	25,867
国分寺台	〃 54	63	4,575		809	21,000
光風台	〃 55	63	5,328		805	26,579
国分寺台西	〃 57	52	4,495		802	21,000
有秋南	〃 57	78	4,993		811	23,680
国分寺台東	H 元	52	3,974		812	21,000
水の江	〃 元	26	5,155		798	22,999
五所	〃 4	26	5,005		991	25,041
清水谷	〃 6		5,896		1,326	22,994
牧園	〃 8		5,742		931	23,039
ちはら台桜	〃 22		6,326		985	23,000
加茂	〃 24	30	2,655		502	13,609
計		2,131	179,869	64	34,426	863,413

※水の江小学校は、別途非木造の仮設校舎（484㎡）が設置されています。

②中学校　　（令和7年5月1日現在）（単位：㎡）

学校名	創立年度	建物面積						敷地面積
		校舎		屋内運動場		柔剣道場		
		木造	非木造	木造	非木造	木造	非木造	
八幡	S 22	153	6,561		1,216		672	32,720
菊間	〃 22	33	4,479		815		671	31,799
市原	〃 22	86	4,342		1,004		671	42,878
五井	〃 22	26	7,113		1,594		674	31,272
東海	〃 22		2,750	26	725		782	20,667
姉崎	〃 22	26	6,631		1,357		672	34,555
三和	〃 37	126	3,882		1,014		670	30,561
湿津	〃 24	92	3,421		1,009		672	24,273
市東	〃 22	79	3,037		1,151		782	31,015
辰巳台	〃 37	188	5,829		1,922		830	36,618
加茂	〃 40	20	2,445		503		670	13,611
南総	〃 46	27	6,088		1,076		673	39,584
若葉	〃 53	70	4,012		1,006		671	32,609
有秋	〃 53		7,120		1,007		671	39,863
国分寺台	〃 58	26	4,682		1,013		671	30,012
姉崎東	〃 58	78	4,703		1,013		782	32,286
双葉	〃 58	26	5,740		1,012		782	26,457
千種	〃 62	52	4,747		1,012		681	32,649
国分寺台西	〃 63	26	5,239		1,012		681	29,994
ちはら台南	H 4	26	6,362		1,012		782	32,989
ちはら台西	〃 24		5,153		1,222		836	33,000
計		1,160	104,336	26	22,695		14,996	659,412

3　教育センター

（１）運営方針

①　市原市教育センターを市内小中学校・公立認定こども園のサポート機関と位置づけ、関係諸機関及び民間団体との連携をより密接なものにするとともに、学校現場に対しその機能を最大限発揮できるように努める。

②　教育に関する諸課題の解決に向けて所員の知恵を結集するとともに、中・長期的な見通しを持って各事業を推進し、子どもの夢実現をサポートする。

③　各業務分掌については、各自が責任を持って業務推進にあたるとともに、センター業務全般にわたり、より強固な協働体制が築けるよう、情報の共有化に努める。

④　教育相談活動及び特別支援教育推進の中核的な役割を担う機関として、指導課、学校や諸機関との連携を密にし、あらゆる子どもへの支援体制の充実を図る。

⑤　教育の情報化推進のための ICT 機器等の効果的な活用と運用を図る。

（２）主な事業内容

①　調査研究事業

ア）研究部会

・教育センター及び指導課を含む関係部署の担当職員が中心となり、研究員・編集委員を任命し、共同研究の体制をもって行う。

・探究学習を通して、子どもたちが自ら課題を設定し、情報の収集から整理、まとめまでを主体的に進める学習スタイルの確立を目指す。

イ）学習資料編集委員会

・小学校社会科副読本デジタル版（同付録地図）「わたしたちの市原市」の編集を行う。

ウ）生活実態調査

・市内全児童生徒の生活の実態及び状況を明らかにすることで、今後の指導や家庭への啓発のための土台となる資料を作成する。

・２年おきの実施で、令和７年度は実施予定。

②　教職員研修事業

「千葉県・千葉市教職員等育成指標」及び「千葉県教職員研修体系」に基づき、本市の持つ教育課題をふまえ、教職員の資質・能力の向上と授業改善を図るための研修を計画・運営し、本市教育の充実に資する。

ア）児童生徒の学力向上に向けた各教科・領域の研修会を開催する。

イ）今日的教育課題の解決や教師力の向上を目指した研修会を開催する。

ウ）千葉県・千葉市教職員等育成指標に応じた研修会を開催する。

③　教育の情報化推進事業

国や県の教育の情報化に関する施策を念頭に置き、本市における教育の情報化及び施設・設備面での課題を明らかにし、本市の情報教育の充実を図る。

ア）学校のGIGAスクール及びICT環境整備、活用の推進を図る。

イ）各学校の教育の情報化の支援・研修を行う。

ウ）市原市教育情報ネットワーク及び学校ホームページの管理・運営を行う。

エ）システム及びアプリ・ソフトウェアの更新及び管理を行う。

オ）教職員の情報セキュリティ教育、情報モラル教育を支援する。

④　特別支援教育推進事業

公立認定こども園・小中学校でインクルーシブ教育システムの構築を図り、どの子も自分のもてる力を最大限に発揮できる教育環境づくりに取り組む。

ア）公立認定こども園・小中学校における支援体制充実のための支援を行う。

イ）特別支援教育に係わる教職員の指導力の向上のための支援・研修を行う。

ウ）特別な支援を必要とする幼児児童生徒とその保護者への相談支援を行う。

エ）切れ目のない指導・支援のため、関係機関との連携・協力を図る。

オ）安心・安全な医療的ケア実施体制の構築を図る。

⑤　教育相談・教育支援教室事業

ア）教育相談活動を行い、その充実を図る。

・不登校や集団不適応、進路などの悩みに対し、児童生徒及び保護者を対象に面接や電話による相談を行う。

イ）教育支援教室の充実を図り、通級児童・生徒の段階的な学校及び社会復帰を目指す。

・教育支援教室において、不登校児童・生徒の学校復帰や社会的自立を目指した指導、支援を行う。

ウ）医療や他の相談機関との連携を深め、相談者を多面的に支援する体制を作る。

・学校からの要請により個別支援会議等へ参加し、指導助言を行う。

⑥　普及事業

各学校・園における教育活動の振興のため、教育図書・研究資料・学習資料の整備充実を図るとともに、サービス機能の充実を図る。

ア）教育図書・研究資料・ICT機器等学習資料の整備充実を図る。

イ）教育活動の振興のため、各種学習資料の貸し出しを行う。

⑦　地方教科書センター

教科書発行に関する臨時措置法、同施行規則により展示会に出品した全教科書をセンターの開館時に閲覧に供する

⑧　市原技術教育センター

技術・家庭科教育の充実のため実効性のある研修を行う。

4　学　　事

(1)児童・生徒

(小 学 校)

		1年					2年					3年					4年				
		学級	児童数	特別支援児童数			学級	児童数	特別支援児童数			学級	児童数	特別支援児童数			学級	児童数	特別支援児童数		
				知的	情緒	病弱			知的	情緒	病弱			知的	情緒	病弱			知的	情緒	病弱
1	八幡	2	36		1		2	50	3			2	57	4	5		2	63	2	1	
2	菊間	1	24	1	2		1	14	1	1		1	26				1	21	1	2	
3	市原	1	34		1		1	30	2			2	38				1	33	2		
4	辰巳台東	2	61				2	57				2	63		5		2	57	3	2	
5	辰巳台西	2	43	3			1	35	2	2		2	40	1	2		2	45	1		
6	五井	4	122	2	2		4	113	3			4	119	2	3		4	110	1	4	
7	白金	2	43	2			2	50	3	2		2	36	3	3		1	33	1	2	
8	国府	1	10				1	11	4	1		1	8				1	13		1	
9	京葉	3	70	2	3		3	82	2			3	88	2	1		3	78	3	1	
10	千種	4	128	2	2		4	109	2			4	124	3	1		3	105	4	1	
11	東海	1	23				1	19	1	1		2	37				1	24	1	1	
12	姉崎	1	34	1			1	28	2	1		1	19	1	1		2	44		2	
13	有秋東	1	24				1	23				1	35	1			1	23		2	
14	海上	1	7		1		1	11		1		1	15		2		1	14		1	
15	市西	1	10				1	12		2		1	12				1	23		1	
16	養老	1	13				1	9				1	8				1	6			
17	湿津	2	64	2	1		3	71	3			3	85	2	1		3	74	1		
18	市東第一	1	11	1	1		1	14	1			1	11				1	9	1	1	
19	戸田	1	19		1		1	23	1			1	20		2		1	22		2	
20	牛久	1	33	2			1	28	2			1	33	2	1		1	27			
21	鶴舞	1	7		1		1	6				1	8				1	10			
22	有秋西	1	20	1			1	23	2	1		2	40		1		1	27	1		
23	若葉	2	52	1	1		2	49	2	2		2	53		4		2	57		3	
24	明神	2	36		2		1	33	2			2	39		1		2	41	2	2	
25	若宮	2	46	2	1		1	34	1	1		2	41		2		2	41			
26	石塚	2	54		1		2	66	2	2		3	74	1			2	67		1	
27	青葉台	2	53	3	1		2	56		2		2	46		2		2	57	1		
28	白幡	1	19				1	21				1	17				1	24		1	
29	国分寺台	3	76		1		2	58	2	3		2	68	2	1		2	67		2	
30	光風台	1	20	1			1	23		2		1	26		2		1	29	2	1	
31	国分寺台西	2	56				2	65		1		3	84	2	1		3	87	1		
32	有秋南	1	20	1			1	19				1	18	1			1	25		2	
33	国分寺台東	2	48	2	1		2	53	1	1		2	48	1	3		2	52	2	4	
34	水の江	4	139	1			4	138				5	157	2	1		4	134	3	2	
35	五所	1	30	1			2	39	2	1		2	38	1	1		1	32	1		
36	清水谷	2	52	2			2	48				2	52	1			2	66	1	1	
37	牧園	3	83	2	1		3	83	2			3	98	4			4	112	3		
38	ちはら台桜	3	74	1	2		3	90		1		3	75		2		3	95	2	1	
39	加茂	1	12				1	12		1	1	1	12	1			1	11	1		
合　　計		69.0	1,706	36	27		67.0	1,705	48	29	1	76.0	1,868	37	48		70.0	1,858	41	44	

※　特別支援学級児童数・学級数については、外書き表記となっています。

		5年					6年					合計								
		学級	児童数	特別支援児童数			学級	児童数	特別支援児童数			学級	児童数	特別支援児童数			特別支援学級数			
				知的	情緒	病弱			知的	情緒	病弱			知的	情緒	病弱	知的	情緒	病弱	
1	八幡	2	53		1		2	59		2		12	318	9	10		2	2		
2	菊間	1	29				1	26		4		6	140	3	9		1	2		
3	市原	2	36		1		1	33		3		8	204	4	5		1	1		
4	辰巳台東	3	73	3	1		2	58	1			13	369	7	8		1	1		
5	辰巳台西	2	46	2	1		2	40	5	1		11	249	14	6		2	1		
6	五井	4	112	4	3		4	138	2	1		24	714	14	13		2	2		
7	白金	2	46	1	1		2	54	3	2		11	262	13	10		2	2		
8	国府	1	9		1		1	11		1		6	62	4	4		1	1		
9	京葉	3	85	2	1		3	92	2			18	495	13	6		2	1		
10	千種	4	114		2		4	114	2	2		23	694	13	8		2	1		
11	東海	1	27	2	1		1	25	1			7	155	5	3		1	1		
12	姉崎	1	29				2	37	1	1		8	191	5	5		1	1		
13	有秋東	2	36	2	1		2	39				8	180	3	3		1	1		
14	海上	1	13				1	12		1		6	72		6			1		
15	市西	1	16				1	22	1			6	95	1	3		1	1		
16	養老	1	9				1	13		3		6	58		3			1		
17	湿津	3	105	2			3	75	1	1		17	474	11	3		2	1		
18	市東第一	1	10		2		1	12		1		6	67	3	5		1	1		
19	戸田	1	22				1	21	2			6	127	3	5		1	1		
20	牛久	2	44	1			1	35	3	2		7	200	10	3		2	1		
21	鶴舞	1	11	1	2		1	11		1		6	53	1	4		1	1		
22	有秋西	2	46		1		2	51	1	1		9	207	5	4		1	1		
23	若葉	2	50		1		2	65	2			12	326	5	11		1	2		
24	明神	1	31	3	3		2	39		1		10	219	7	9		1	2		
25	若宮	2	47	2	2		2	36		1		11	245	5	7		1	1		
26	石塚	2	55	2			3	72	2	1		14	388	7	5		1	1		
27	青葉台	2	52	2	1		2	47	1	2		12	311	7	8		1	1		
28	白幡	1	14	1	1		1	21				6	116	1	2		1	1		
29	国分寺台	2	70	1	2		2	62	2	1		13	401	7	10		1	2		
30	光風台	1	27	1	3		1	32		3		6	157	4	11		1	2		
31	国分寺台西	3	78	1	1		3	91		2		16	461	4	5		1	1		
32	有秋南	1	24	2	1		1	20	1	1		6	126	5	4		1	1		
33	国分寺台東	2	42				2	48	1			12	291	7	9		1	2		
34	水の江	4	123	2	1		4	121	3	5		25	812	11	9		2	2		
35	五所	2	36		2		2	41	1			10	216	6	4		1	1		
36	清水谷	3	74	4	5		3	84	1	3		14	376	9	9		2	2		
37	牧園	3	92	1	1		3	94	3			19	562	15	2		2	1		
38	ちはら台桜	4	107	2	1		3	90	2	3		19	531	7	10		1	2		
39	加茂	1	16		1		1	13		1		6	76	2	3	1	1	1	1	
合計		77.0	1,909	44	45		76.0	1,954	44	51		435	11,000	250	244	1	48	51	1	

児童数計 11,495

（ 中 学 校 ）　　（令和7年5月1日時点）

		1年				2年				3年				合計					
		学級	生徒数	知的	情緒	学級	生徒数	知的	情緒	学級	生徒数	知的	情緒	学級	生徒数	生徒数 知的	生徒数 情緒	学級数 知的	学級数 情緒
1	八幡	6	202	4	6	6	214	5	4	6	204	5	2	18	620	14	12	2	2
2	菊間	1	33		1	2	34	2	1	1	39		1	4	106	2	3	1	1
3	市原	1	31	1		1	30			1	37	2	1	3	98	3	1	1	1
4	五井	8	255	5	8	7	264	4	1	7	252	1	2	22	771	10	11	2	2
5	東海	1	15	2	2	1	28			1	15			3	58	2	2	1	1
6	姉崎	3	97	4	3	3	85	3	1	3	86	3	5	9	268	10	9	2	2
7	三和	1	28		2	1	31	1	2	1	33		1	3	92	1	5	1	1
8	湿津	3	88		1	3	101			2	66	1	1	8	255	1	2	1	1
9	市東	1	11			1	17			1	19	1	3	3	47	1	3	1	1
10	辰巳台	4	135	2	2	4	122	4	2	4	148	5	1	12	405	11	5	2	1
11	加茂	1	15			1	18		1	1	15			3	48		1		1
12	南総	2	60	3	2	2	66			2	75	1		6	201	4	2	1	1
13	若葉	3	89	4		3	95	6	2	3	113		2	9	297	10	4	2	1
14	有秋	3	100		1	4	123	2	3	4	121	1		11	344	3	4	1	1
15	国分寺台	3	74	3	3	3	93	2	4	3	90	2	1	9	257	7	8	1	1
16	姉崎東	2	46	2		2	70	1		2	45	4	1	6	161	7	1	1	1
17	双葉	2	56	1	1	3	78		1	2	67			7	201	1	2	1	1
18	千種	4	111	2	1	3	113	1	1	4	116	1	6	11	340	4	8	1	1
19	国分寺台西	4	117	1	1	3	110		2	3	110	1	2	10	337	2	5	1	1
20	ちはら台南	7	252	4	5	7	241	3		7	257	2	2	21	750	9	7	2	1
21	ちはら台西	4	151	2		4	129	2	1	5	164	2	1	13	444	6	2	1	1
合計		64	1,966	40	39	64	2,062	36	26	63	2,072	32	32	191	6,100	108	97	26	24

生徒数計　6,305

※　特別支援学級生徒数・学級数については、外書き表記となっています。

（２）学級数・児童生徒数推移

（ 小 学 校 ）

No.	学　校　名	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		学級数		児童数	学級数		児童数	学級数		児童数	学級数		児童数	学級数		児童数
1	八　幡	2	14	394	2	13	382	3	12	382	4	12	372	4	12	337
2	菊　間	2	9	217	2	8	216	2	7	193	2	7	169	3	6	152
3	市　原	2	8	216	2	6	204	2	7	198	2	7	205	2	8	213
4	辰巳台東	3	13	398	2	13	389	2	13	390	2	13	391	2	13	384
5	辰巳台西	4	12	307	3	12	289	3	12	276	3	11	271	3	11	269
6	五　井	4	26	874	4	25	829	4	25	793	4	24	746	4	24	741
7	白　金	2	12	292	2	12	286	3	12	279	3	11	285	4	11	285
8	国　府	2	6	74	2	6	80	2	6	75	2	6	74	2	6	70
9	京　葉	3	18	576	3	18	549	3	18	549	3	18	535	3	18	514
10	千　種	2	24	709	3	23	701	3	23	711	3	23	698	3	23	715
11	東　海	2	6	178	2	6	176	2	7	188	2	7	181	2	7	163
12	姉　崎	2	10	247	2	10	246	2	9	231	2	9	217	2	8	201
13	有　秋　東	2	12	245	2	11	234	2	10	228	2	9	204	2	8	186
14	海　上		6	73	1	6	73	1	6	76	1	6	74	1	6	78
15	市　西	2	6	121	2	6	124	2	6	116	2	6	107	2	6	99
16	養　老	2	6	79	2	6	69	1	6	63	1	6	61	1	6	61
17	湿　津	2	17	510	2	18	529	2	19	548	3	19	520	3	17	488
18	市東第一	2	6	96	2	6	93	2	6	82	2	6	77	2	6	75
19	戸　田	2	7	163	2	6	149	2	6	139	2	6	134	2	6	135
20	牛　久	2	10	237	2	9	218	2	7	198	2	8	188	3	7	213
21	鶴　舞	2	6	90	2	6	82	2	6	76	2	6	66	2	6	58
22	有　秋　西	2	12	352	3	11	325	2	11	302	2	10	260	2	9	216
23	若　葉	2	12	344	2	12	347	2	12	340	2	12	334	3	12	342
24	明　神	3	11	299	3	11	282	2	11	271	3	11	255	3	10	235
25	若　宮	2	11	262	2	12	263	2	12	259	2	11	247	2	11	257
26	石　塚	2	13	363	2	13	370	2	14	388	2	14	405	2	14	400
27	青　葉　台	3	13	337	3	13	346	2	13	352	2	12	326	2	12	326
28	白　幡	2	7	162	2	6	147	2	6	139	2	6	129	2	6	119
29	国分寺台	2	14	416	2	13	412	3	13	425	3	13	409	3	13	418
30	光　風　台	2	11	245	2	9	224	3	8	220	3	7	188	3	6	172
31	寺　谷	1	6	66	1	6	62	1	5	53	2	6	43			
32	国分寺台西	2	18	525	2	18	518	2	18	529	2	17	502	2	16	470
33	有　秋　南	2	6	131	2	6	135	2	6	132	2	6	134	2	6	135
34	国分寺台東	2	12	287	3	12	287	3	12	295	2	12	306	3	12	307
35	水　の　江	4	22	699	4	22	739	4	24	795	4	25	829	4	25	832
36	五　所	2	9	229	2	10	241	2	9	244	2	10	228	2	10	226
37	清　水　谷	3	19	585	3	18	546	4	16	485	3	15	432	4	14	394
38	牧　園	2	19	599	3	19	601	3	19	581	3	19	589	3	19	579
39	ちはら台桜	2	20	623	3	19	602	3	19	571	3	19	565	3	19	548
40	加　茂		6	97	1	6	90	2	6	87	3	6	85	3	6	82
合　計		86	475	12,717	91	462	12,455	93	457	12,259	96	451	11,841	100	435	11,495

※学級数のうち、左の欄に特別支援学級数を外書きで示す。

（中学校）

No.	学校名	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		学級数		生徒数	学級数		生徒数	学級数		生徒数	学級数		生徒数	学級数		生徒数
1	八幡	3	15	538	4	16	584	4	18	657	4	18	658	4	18	646
2	菊間	2	6	121	2	5	113	2	5	111	2	4	100	2	4	111
3	市原	2	5	123	2	6	137	2	6	131	2	4	115	2	3	102
4	五井	3	24	868	4	23	837	3	22	773	2	22	778	4	22	792
5	東海	1	3	81	1	3	69	1	3	59	1	3	63	2	3	62
6	姉崎	2	10	318	2	9	298	2	9	297	4	9	285	4	9	287
7	三和	2	5	127	2	3	104	2	4	105	2	3	105	2	3	98
8	湿津	2	5	128	2	5	136	2	6	170	2	7	222	2	8	258
9	市東	1	3	51	2	3	49	2	3	57	2	3	56	2	3	51
10	辰巳台	2	16	517	2	15	486	3	15	474	3	13	444	3	12	421
11	加茂	1	3	50	1	3	45	1	3	44	1	3	51	1	3	49
12	南総	2	9	256	2	8	231	2	8	235	2	6	212	2	6	207
13	若葉	3	9	320	3	9	302	2	10	301	2	9	303	3	9	311
14	有秋	2	12	359	2	11	345	2	11	360	2	11	370	2	11	351
15	八幡東	2	4	94	2	3	77									
16	国分寺台	3	9	310	2	9	306	2	9	290	2	9	292	2	9	272
17	姉崎東	2	6	178	2	6	178	2	6	167	2	6	175	2	6	169
18	双葉	2	6	206	2	7	228	2	7	229	2	8	237	2	7	204
19	千種	2	13	430	2	12	394	2	12	380	2	12	355	2	11	352
20	国分寺台西	2	11	382	2	12	394	3	12	385	2	11	353	2	10	344
21	ちはら台南	3	21	760	3	21	748	3	21	755	2	20	736	3	21	766
22	ちはら台西	2	12	433	2	13	450	2	14	483	2	14	465	2	13	452
合計		46	207	6,650	48	202	6,511	46	204	6,463	45	195	6,375	50	191	6,305

※学級数のうち、左の欄に特別支援学級数を外書きで示す。

（３）教職員数

＜令和7年5月1日現在＞

①小　学　校

No.	学校名	校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭・講師	養護	栄養	事務	合計
1	八幡	1		1		25	1		2	30
2	菊間	1		1		13	1		1	17
3	市原	1		1		13	1		1	17
4	辰巳台東	1		1		23	1		1	27
5	辰巳台西	1		1		22	1		1	26
6	五井	1		2		41	1		2	47
7	白金	1		1		22	1		1	26
8	国府	1		1		11	1		1	15
9	京葉	1		1		27	2	1	1	33
10	千種	1		1		35	1		1	39
11	東海	1		1		12	1		1	16
12	姉崎	1		1		17	2		1	22
13	有秋東	1		1		14	1		1	18
14	海上	1		1		9	1		1	13
15	市西	1		1		11	1		1	15
16	養老	1		1		9	1		1	13
17	湿津	1		1		25	1		1	29
18	市東第一	1		1		10	1		1	14
19	戸田	1		1		9	1		1	13
20	牛久	1		1		14	1		1	18
21	鶴舞	1		1		8	1		1	12
22	有秋西	1		1		15	1		1	19
23	若葉	1		1		21	1		1	25
24	明神	1		1		18	1		1	22
25	若宮	1		1		17	1		1	21
26	石塚	1		1		25	1		1	29
27	青葉台	1		1		17	1		1	21
28	白幡	1		1		9	1		1	13
29	国分寺台	1		1		22	1		1	26
30	光風台	1		1		12	1		1	16
31	国分寺台西	1		1		22	1	1	1	27
32	有秋南	1		1		11	1		1	15
33	国分寺台東	1		1		20	1		1	24
34	水の江	1		1		41	2		2	47
35	五所	1		1		16	2		1	21
36	清水谷	1		1		30	1		1	34
37	牧園	1		1		30	1		1	34
38	ちはら台桜	1		1		30	1		2	35
合計		38	0	39	0	726	42	2	42	889

②中　学　校

No.	学校名	校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭・講師	養護	栄養	事務	合計
1	八幡	1		1		38	1		1	42
2	菊間	1		1		12	1		1	16
3	市原	1		1		14	2		1	19
4	五井	1		2		47	1		2	53
5	東海	1		1		10	1		1	14
6	姉崎	1		1		23	1	1	1	28
7	三和	1		1		12	1		1	16
8	湿津	1		1		18	1		2	23
9	市東	1		1		10	1		1	14
10	辰巳台	1		1		28	1		1	32
11	南総	1		1		16	1	1	1	21
12	若葉	1		1		24	1		3	30
13	有秋	1		1		24	2		1	29
14	国分寺台	1		1		22	1	1	1	27
15	姉崎東	1		1		15	1		1	19
16	双葉	1		1		18	1	1	1	23
17	千種	1		1	1	22	1	1	1	28
18	国分寺台西	1		1		23	1		1	27
19	ちはら台南	1		1		40	1	1	2	46
20	ちはら台西	1		1		27	1		2	32
合計		20	0	21	1	443	22	6	26	539

③小中一貫教育校　加茂学園

学校名	校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護	栄養	事務	合計
加茂学園	1	1	2		20	2		2	28

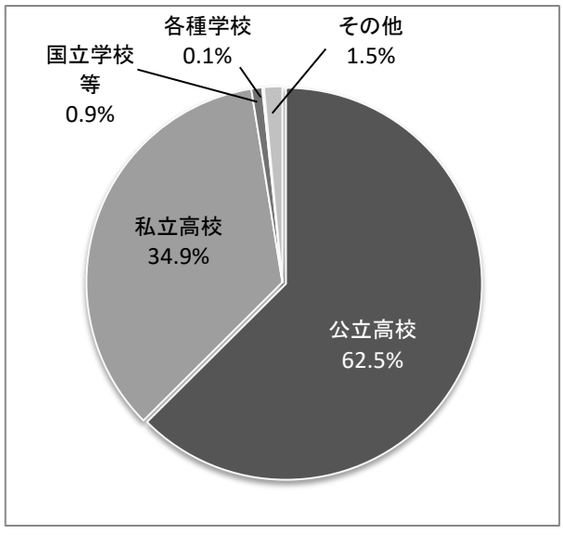
（４）令和６年度卒業生進路状況

①　進路状況　　（令和７年5月1日現在）

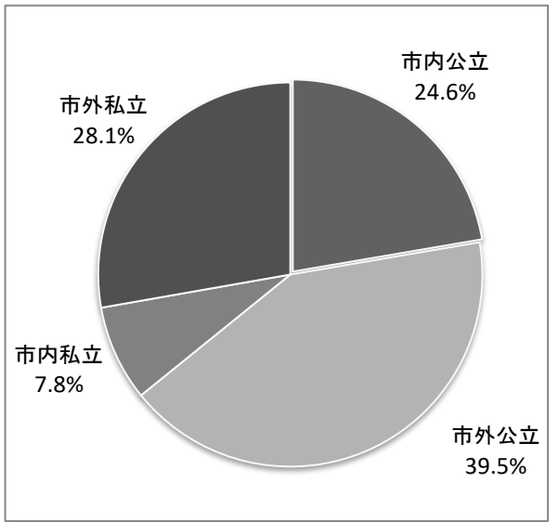
No.	中学校名	公立高校	私立高校	国立学校等	各種学校	就　職	その他	合　計
1	八　　幡	143	74	3	0	0	7	227
2	菊　　間	25	4	0	0	0	0	29
3	市　　原	30	14	0	0	0	3	47
4	五　　井	150	100	3	0	0	6	259
5	東　　海	14	5	1	0	0	0	20
6	姉　　崎	73	30	0	0	0	0	103
7	三　　和	18	16	0	1	0	0	35
8	湿　　津	26	26	0	0	0	0	52
9	市　　東	11	5	0	0	0	0	16
10	辰　巳　台	108	55	0	0	0	2	165
11	加　　茂	9	6	1	0	0	1	17
12	南　　総	36	30	2	0	0	0	68
13	若　　葉	61	18	2	2	0	6	89
14	有　　秋	77	31	0	0	0	2	110
15	国分寺台	62	32	3	0	0	3	100
16	姉　崎　東	33	21	0	0	0	0	54
17	双　　葉	62	26	1	0	0	0	89
18	千　　種	79	37	1	0	0	0	117
19	国分寺台西	78	48	1	0	0	2	129
20	ちはら台南	129	103	1	0	0	0	233
21	ちはら台西	105	61	0	0	0	0	166
合　　計		1,329	742	19	3	0	32	2,125

＊国立学校等には、高等専門学校・国立技術系学校が含まれる。

②　進路別の割合



③　市内市外高校進学者の割合



5　学校保健

（１）学校給食

①令和７年度学校給食運営目標

食習慣を取り巻く環境が大きく変化し、食生活の多様化が進む中で、朝食を摂らない子どもの増加や不規則な食事サイクル、偏った食事内容に起因する肥満や生活習慣病の増加、過度な痩身志向などが課題となっている。

これらの課題に対応するため、学校給食法の改正及び食育基本法の制定、さらには「市原市民に元気な笑顔を広げる地産地消条例」の制定の趣旨を踏まえ、学校教育の一環として望ましい食習慣を形成するため、栄養バランスのとれた献立作成・地産地消の推進により、魅力ある給食づくりを推進していく。また、食材の安全確保及び食中毒の防止に努めるとともに食に関する指導の充実・強化を図り、円滑な給食運営・給食環境づくりに取り組む。

②学校給食の現状

本市は、3 共同調理場（市原学校給食センター、岩崎、南総）より、市内の小学校 39 校、中学校 21 校、給食数にして児童・生徒合わせて 17,801 食、教職員や調理場関係職員など 1,805 食、合計 19,580 食を供給している。

なお、姉崎及びちはら台学校給食共同調理場については、大規模改修工事中であり稼働を休止している。

給食関係職員は、場長 4 名、事務員 3 名、栄養職員 8 名、調理員（会計年度任用職員）50 名で、給食の配送は委託方式により行っている。

令和7年度給食費（1食あたり）

小　学　校	257円
中　学　校	303円
小学校の児童と同等の学校給食の提供を受ける者	350円
中学校の生徒と同等の学校給食の提供を受ける者	413円

③令和7年度市内給食施設の概要　　（令和7年5月1日現在）

施設名	開設（現在の施設）	供給能力 ※1	調理数	職員数				配送					
				場長	事務職員	栄養職員	調理員	方法	車両数	小	中	計	学校名
		食	食										
市原学校給食センター ※2	令和6年9月	約13,000	12,610	1	1	4	委託	委託	委託	39	0	39	市原市立小学校全校
岩崎学校給食共同調理場	昭和54年4月	約5,630	4,851	1	1	2	31※3	委託	9	0	11	11	菊間中、若葉中、湿津中、辰巳台中、ちはら台南中、ちはら台西中、五井中、八幡中、東海中、国分寺台中、千種中
南総学校給食共同調理場	昭和57年6月	約3,200	2,119	1	1	2	19※3	委託	6	0	10	10	姉崎中、市東中、有秋中、姉崎東中、市原中、三和中、加茂中、南総中、国分寺台西中、双葉中
姉崎学校給食共同調理場（改修工事中）	平成2年5月	約3,200	0	1※4（兼務）	0	0	0						
ちはら台学校給食共同調理場（改修工事中）	平成10年4月	約5,600	0	1※4（兼務）	0	0	0						
計		約30,630	19,580	4	3	8	50		15	39	21	60	

※1 供給能力は、調理、洗浄機器の能力や食器の保管スペース等を考慮して算出した概ねの食数となる。
※2 市原学校給食センターは調理及び配送業務を民間事業者に委託している。
※3 会計年度任用職員の人数。
※4 学校保健課課長補佐が場長を兼務している。

（２）学校保健

①令和6年度体力・運動能力調査

小学校（男子）

性　別		男					
学　年		1　年	2　年	3　年	4　年	5　年	6　年
握　力	市	9.57	10.80	13.51	14.65	17.69	21.60
	県	9.55	11.14	12.90	14.97	17.25	21.09
（　kg　）	国	9.17	10.83	12.51	14.43	16.72	19.88
上体起こし	市	13.32	14.27	16.87	20.27	20.65	23.74
	県	12.30	14.79	16.61	18.47	20.44	22.50
（回数）	国	11.47	14.40	15.82	17.91	19.95	22.07
長座体前屈	市	27.20	26.67	31.60	31.22	36.37	40.66
	県	27.02	28.37	30.19	32.41	34.96	38.84
（　cm　）	国	26.70	28.14	29.36	31.55	33.63	36.20
反復横とび	市	28.45	31.05	36.52	41.45	43.65	47.46
	県	27.86	31.57	34.96	38.86	42.78	46.06
（回数）	国	27.65	31.12	34.51	38.47	42.13	45.55
20m シャトルラン	市	20.62	25.37	33.25	45.97	51.17	59.84
	県	19.38	28.33	34.30	41.93	49.68	57.54
（回数）	国	18.97	28.01	35.44	43.91	50.40	59.46
50　m　走	市	11.22	10.80	10.02	9.48	9.31	8.77
	県	11.36	10.54	10.08	9.67	9.28	8.80
（　秒　）	国	11.43	10.65	10.12	9.70	9.34	8.85
立ち幅とび	市	122.20	119.87	136.97	148.15	157.45	171.46
	県	118.15	127.06	135.77	146.68	155.48	169.78
（　cm　）	国	117.36	127.40	135.68	144.48	154.62	166.70
ソフトボール 投　げ	市	9.22	11.50	14.25	18.85	21.07	25.41
	県	8.86	11.79	15.16	18.57	21.77	25.63
（　m　）	国	8.44	11.80	14.89	18.47	21.87	25.80

※　県の平均値は令和6年度
※　国の平均値は令和5年度

小学校（女子）

性　別		女子					
学　年		1　年	2　年	3　年	4　年	5　年	6　年
握　力	市	8.90	10.52	12.07	13.57	18.10	19.92
	県	8.94	10.40	12.15	14.47	17.11	20.23
（　kg　）	国	8.56	10.16	11.89	14.02	16.56	19.36
上体起こし	市	11.17	13.10	15.92	17.05	18.75	19.77
	県	11.39	13.60	15.55	17.59	19.28	20.36
（回数）	国	11.07	13.69	15.24	17.32	18.89	19.89
長座体前屈	市	29.27	32.55	34.35	36.02	41.90	45.40
	県	29.38	31.51	33.83	36.59	40.02	43.74
（　cm　）	国	28.87	30.78	32.51	35.23	38.40	40.92
反復横とび	市	26.47	31.30	34.35	36.70	41.00	44.17
	県	26.57	29.65	33.09	37.28	40.94	43.11
（回数）	国	26.92	30.07	33.19	36.76	40.37	42.66
20m シャトルラン	市	14.37	19.52	27.27	33.30	38.70	45.97
	県	15.94	20.85	25.76	32.57	40.96	44.08
（回数）	国	15.70	20.93	27.43	33.12	40.24	44.43
50　m　走	市	11.73	11.05	10.45	9.94	9.60	9.20
	県	11.68	11.04	10.51	9.99	9.50	9.21
（　秒　）	国	11.79	10.99	10.48	9.97	9.56	9.21
立ち幅とび	市	109.82	119.42	131.42	138.80	149.32	162.75
	県	108.63	116.65	127.10	138.44	148.27	157.36
（　cm　）	国	108.49	117.82	127.78	137.53	147.39	155.26
ソフトボール 投　げ	市	5.87	7.53	9.10	11.32	13.02	15.50
	県	5.99	7.56	9.43	11.80	13.91	15.58
（　m　）	国	5.77	7.59	9.43	11.83	13.78	15.76

※　県の平均値は令和6年度
※　国の平均値は令和5年度

中学校

性　別		男			女		
学　年		1　年	2　年	3　年	1　年	2　年	3　年
握　力	市	25.23	30.49	34.25	21.49	24.60	24.38
	県	23.92	29.69	34.64	21.35	23.63	24.96
（　kg　）	国	24.30	30.24	34.77	21.93	23.90	25.20
上体起こし	市	25.33	27.44	29.19	19.82	23.22	24.07
	県	23.40	26.30	28.73	20.25	22.47	23.43
（回数）	国	23.48	26.42	29.00	20.76	22.18	23.46
長座体前屈	市	39.63	46.38	48.09	43.44	48.01	53.19
	県	42.02	46.58	50.37	44.83	48.14	51.24
（　cm　）	国	41.68	45.16	49.40	44.04	46.51	48.63
反復横とび	市	49.88	53.33	54.46	45.14	46.55	47.04
	県	48.45	51.99	54.99	44.69	46.75	46.92
（回数）	国	49.80	53.02	55.88	45.77	47.12	48.35
20m シャトルラン	市	66.92	80.01	91.79	47.09	50.76	51.19
	県	65.22	79.43	86.89	47.35	53.90	52.48
（回数）	国	68.91	82.63	90.43	48.37	53.74	53.82
50　m　走	市	8.20	7.64	7.32	9.07	8.80	8.76
	県	8.45	7.83	7.40	9.04	8.79	8.72
（　秒　）	国	8.42	7.82	7.46	9.02	8.78	8.73
立ち幅とび	市	186.58	207.53	212.84	162.03	179.72	172.55
	県	181.49	199.51	214.98	162.71	169.41	172.14
（　cm　）	国	184.99	203.14	216.86	167.52	172.45	174.37
ハンドボール 投げ	市	16.71	19.65	21.84	10.87	12.44	12.82
	県	17.04	20.00	23.12	11.05	12.34	13.41
（　m　）	国	18.34	21.41	24.23	11.66	13.22	14.12

※　県の平均値は令和6年度
※　国の平均値は令和5年度

②体位平均値（令和６年度　市原市）

小学校　男子

区　分	1　年	2　年	3　年	4　年	5　年	6　年
身長（cm）	116.7	122.7	128.9	134.1	139.6	146.5
体重（kg）	21.7	24.9	28.9	32.2	36.6	41.8

小学校　女子

区　分	1　年	2　年	3　年	4　年	5　年	6　年
身長（cm）	115.6	121.4	127.9	134.2	141.1	147.8
体重（kg）	21.3	24.0	27.5	31.8	35.9	40.3

中学校

区　分	男　子			女　子		
	1　年	2　年	3　年	1　年	2　年	3　年
身長（cm）	154.2	162.3	166.2	152.2	154.5	156.6
体重（kg）	46.3	52.1	56.1	45.5	48.2	50.9

Ⅳ　生 涯 学 習

１　生涯学習

◇市原市教育大綱における基本目標と施策の基本的な方針

基本目標５　生涯学習の機会充実と学習成果を生かせる仕組みづくり

施策の基本的な方針（１）生涯学習の機会・情報提供の充実とその成果の活用

○　市民一人一人が生涯にわたって学習することができる機会の充実を図るため、各社会教育施設が持つ機能・役割を最大限に生かせるようネットワークや仕組みを再構築し、効果的な施策の展開や市民への情報発信等を推進します。

○　学習の成果を地域活動等に有効に生かせるような仕組みづくりを行うことにより、学習への動機づけ・意欲の向上を図り、「生涯学習によるまちづくり」を推進します。

○　市民の課題解決、郷土を知るための図書や情報の提供を通じて、市原のひとづくり、まちづくりを支援します。

○　図書館と学校や読書活動団体との連携を強化し、子ども読書活動を推進します。

○　市民が安心・安全に施設を利用できる環境整備を図るため、社会教育施設の長寿命化や改修・修繕等に計画的に取り組みます。

◇令和７年度推進事業

（１）いちはら市民大学の推進

学習機会の提供により市民力の向上を図り、学んだ成果を生かして地域でまちづくり活動等に取り組む担い手の育成を図るため、庁内関係部局や企業、関連団体等と連携して「いちはら市民大学」を実施します。

（２）生涯学習成果の発表と活用

生涯学習活動を行っている市民を対象に、その成果を発表する機会を提供するとともに、これから生涯学習を始めようとする人々に対し、取り組むきっかけとなるよう動画を作成・公開し、更なる学習意欲の向上等を図ります。

また、市民の生涯学習活動の支援を図るため、今まで培ってきた様々な技能を生かしたいという市民を、学びたいという市民に紹介する「まちのせんせい」の利用促進を図ります。

（３）公民館活動の推進

地域における社会教育の拠点施設として、市民が自己実現や生きがいづくり等につながる学習活動等ができるよう、指定管理者と協議・調整の上、学習ニーズや地域の実情に応じた学習機会の提供・充実等を図ります。

（４）SDGs の取組の推進

SDGs の達成に向けて、市民の理解と協力が得られるよう、公民館や生涯学習センター等の主催事業などにおいて、講座等を実施します。

（５）情報提供の推進

既存の図書館ネットワークを発展・拡充させるとともに、各分野とも連携・協力し、「知の情報拠点」として地域や市民の課題解決のため、データベースなどの必要な情報を提供していきます。

（６）読書ボランティア人材バンク制度の活用

読書活動の推進のため、読書ボランティア人材バンク制度に登録している読書ボランティアの育成を図るとともに、各種図書館事業において読書ボランティアとの連携を進めていきます。

（７）市原市学びのまち　図書館サービス計画の推進

図書館サービスの向上のため、「市原市学びのまち　図書館サービス計画」に基づき、情報提供やレファレンスサービスの充実、利用促進、公民館・コミュニティセンター図書室及び学校との連携などに取り組みます。また、非来館型サービスとして令和４年度に導入した電子書籍サービスについては、子どもや子育てに忙しい家庭や図書館への来館が困難な方だけでなく、学校との連携によるＧＩＧＡ端末を利用した児童・生徒の利用を促進し、より多くの方々への情報提供に取り組みます。

（８）市原市未来を拓く子どもの読書活動推進計画の推進

子どもの読書活動の推進のため、「市原市未来を拓く子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもが読書に親しむ機会と環境を整備し、図書館等と関係各所の連携・協力を進め、子どもの読書活動に関する理解や関心をさらに普及・啓発するとともに、中・高校生世代の読書離れ対策と読書習慣の形成に取り組みます。

（９）学びのイベントの開催

市制施行 60 周年記念事業として開催した「エンジン０１in 市原」のレガシーとして、学びを通じた人づくり・つながりづくり・地域づくりを見据えて学びのイベント「エンジン０３in 市原」を開催します。

【資料】

1　公民館

① 施設

（令和 7 年 4 月 1 日現在）

公民館名	設置年月日	構造建物延面積	職員数	所在地
八幡公民館	昭和 23 年 6 月 26 日 （昭 47.3.25 移転改築）	鉄筋 2 階建 3,610. 1 ㎡	17 人	八幡 1050-1 電話(41)1984
姉崎公民館	昭和 28 年 11 月 3 日 （昭 55.4.1 移転改築）	鉄筋 2 階建 2,148.1 ㎡	15 人	姉崎 2150-1 電話(61)0124
有秋公民館	昭和 55 年 4 月 1 日 （昭 60.3.30 増築）	鉄筋 2 階建 1,691.7 ㎡	15 人	有秋台西 1-3-2 電話(66)0121
市津公民館	昭和 29 年 11 月 3 日 （昭 56.4.1 移転改築）	鉄筋 2 階建 1,895.2 ㎡	15 人	下野 90-1 電話(74)5516
南総公民館	昭和 25 年 12 月 1 日 （昭 54.4.1 移転改築）	鉄筋 2 階建 2,557.5 ㎡	16 人	牛久 520-1 電話(92)0039
鶴舞公民館	昭和 41 年 3 月 31 日	木造平屋建 629.4 ㎡		鶴舞 624 電話(88)2002
加茂公民館	昭和 37 年 3 月 31 日 （元.4.1 移転改築）	鉄筋 2 階建 2,241.9 ㎡	12 人	養老 949-1 電話(98)0033
白鳥公民館	昭和 37 年 11 月 26 日	木造 2 階建 406.3 ㎡		大久保 505-3 電話(96)0279
五井公民館	昭和 53 年 4 月 1 日	鉄筋 2 階建 3,433.2 ㎡	15 人	五井 5472-1 電話(22)2121
辰巳公民館	昭和 59 年 4 月 1 日	鉄筋 2 階建 1,800.4 ㎡	15 人	辰巳台西 3-14-1 電話(74)8521
国分寺公民館	平成 2 年 4 月 1 日	鉄筋 2 階建 1,920.5 ㎡	16 人	南国分寺台 1-2-6 電話(24)1600

※職員数は各公民館指定管理者の職員数である。

②市原市立公民館区分別利用状況（令和6年度）

	主催事業		公共事業		教育委員会		貸館事業										合計	
							学校関係		登録サークル		社会教育団体		会社関係		農商		その他			
体育室	270	6,023	193	11,288	85	1,894	239	4,995	6,831	78,227	71	8,553	33	377	0	0	14,507	108,880	22,229	220,237
会議室	453	5,387	419	4,696	38	297	11	214	933	7,380	320	4,536	184	2,761	4	129	2,266	17,503	4,628	42,903
視聴覚室	246	3,972	236	4,209	15	127	5	96	1,999	22,187	107	1,685	43	1,034	0	0	2,637	15,978	5,288	49,288
茶　室	46	240	54	313	12	14	3	49	124	669	18	97	3	34	0	0	121	418	381	1,834
和　室	119	1,362	169	1,506	12	35	5	155	985	7,243	88	1,088	26	249	0	0	1,306	8,417	2,710	20,055
研修室	276	3,751	434	5,704	28	351	15	250	861	8,055	186	3,252	157	2,189	4	151	1,684	17,018	3,645	40,721
調理実習室	115	1,343	34	300	15	126	3	65	176	1,381	73	744	5	92	0	0	411	3,433	832	7,484
その他	101	1,638	108	3,251	6	43	3	187	1,435	13,161	201	2,155	16	467	0	0	960	6,188	2,830	27,090
館　外	47	1,376	4	256	0	0	0	0	21	97	0	0	0	0	0	0	0	0	72	1,729
合　計	1,673	25,092	1,651	31,523	211	2,887	284	6,011	13,365	138,400	1,064	22,110	467	7,203	8	280	23,892	177,835	42,615	411,341
比　率	3.9%	6.1%	3.9%	7.7%	0.5%	0.7%	0.7%	1.5%	31.4%	33.6%	2.5%	5.4%	1.1%	1.8%	0.1%	0.2%	56.1%	43.2%		

※事業区分欄の数値‥‥左は利用件数（単位：回）・右は利用者数（単位：人）

③市原市立公民館図書室利用状況(令和6年度)

館名	貸出人数	貸出冊数
八幡公民館	20,842	64,747
五井公民館	28,153	98,668
姉崎公民館	33,681	101,477
有秋公民館	11,977	38,013
南総公民館	10,005	31,336
市津公民館	10,211	38,409
辰巳公民館	21,042	68,677
加茂公民館	3,137	9,822
国分寺公民館	21,409	66,204
鶴舞公民館	289	474
合計	160,746	517,827

【資料】

2　中央図書館

(1)中央図書館及び公民館図書室利用状況

◎中央図書館利用状況（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

①開館日数　289日

②資料貸出日数　289日

③入館者数

１）累計　195,633人

２）平均　679人

３）平日平均　597人

４）土曜平均　794人

５）日曜平均　881人

④図書利用カード交付者数

１）令和6年度　890人

２）有効登録者数　87,747人

⑤資料別貸出数（個人貸出）

１）一般図書	239,101冊	（　827冊／日）
２）児童図書	102,833冊	（　356冊／日）
３）青少年図書	11,448冊	（　40冊／日）
４）雑誌	14,809冊	（　51冊／日）
５）外国語図書	694冊	（　2冊／日）
６）その他図書	84冊	（　0.3冊／日）
小　計	368,969冊	（ 1,277冊／日）
７）視聴覚資料	7,488点	（　26点／日）
８）録音図書	639点	（　2点／日）
合　計	377,096点	（ 1,305点／日）

⑥資料別貸出数（団体貸出）

１）貸出団体延数　133団体

２）貸出数　9,414冊

◎中央図書館及び公民館図書室全体の利用状況

①図書利用カード交付者数

１）令和6年度　1,790人

２）有効登録者数　154,687人

②視聴覚資料を除いた図書館資料の貸出数（個人貸出）

１）中央図書館　368,969冊

２）公民館　679,329冊

合　計　1,048,298冊

※図書利用カード交付者一人あたりの貸出数6.8冊／人

③視聴覚資料を含めた図書館資料の貸出数（個人貸出）

１）中央図書館　377,096点

２）公民館　680,744点

合　計　1,057,840点

※図書利用カード交付者一人あたりの貸出数6.8点／人

（２）中央図書館及び公民館図書室蔵書資料

①図書

（令和7年3月31日現在）

館名	総数	個人貸出用							禁帯資料			団体貸出用		
		一般図書	文庫	大活字本	児童図書	絵本	青少年図書	外国語図書	郷土	一般参考	児童参考	一般	児童	絵本
中央図書館	750,733	444,928	68,796	3,742	76,816	50,282	13,136	3,525	15,398	20,934	530	17,096	18,646	16,904
姉崎	37,306	19,287	6,095	289	6,697	4,651	―	―	129	158	0	―	―	―
有秋	20,594	10,325	1,592	0	4,361	4,096	―	―	50	167	3	―	―	―
五井	71,942	39,057	8,752	23	14,107	8,468	―	―	136	1,324	75	―	―	―
国分寺	25,846	12,925	2,057	46	6,272	4,121	―	―	184	232	9	―	―	―
八幡	33,378	18,359	3,974	0	7,112	3,473	―	―	234	193	33	―	―	―
辰巳	26,300	11,947	1,874	0	7,892	4,257	―	―	58	212	60	―	―	―
市津	27,082	13,934	1,834	0	6,415	4,711	―	―	38	126	24	―	―	―
南総	29,107	15,681	2,601	0	5,090	4,531	―	―	516	663	25	―	―	―
加茂	16,060	8,487	536	90	3,287	3,542	―	―	57	58	3	―	―	―
小計	287,615	150,002	29,315	448	61,233	41,850	0	0	1,402	3,133	232	―	―	―
合計	1,038,348	594,930	98,111	4,190	138,049	92,132	13,136	3,525	16,800	24,067	762	17,096	18,646	16,904

※菊間コミュニティセンター18,102冊、三和コミュニティセンター15,023冊、ちはら台コミュニティセンター31,563冊を除く
※紙芝居と雑誌除く

②紙芝居

中央図書館	姉崎	有秋	五井	国分寺	八幡	辰巳	市津	南総	加茂	小計	合計
2,511	141	122	333	181	193	135	173	271	74	1,623	4,134

※菊間コミュニティセンター191冊、三和コミュニティセンター104冊、ちはら台コミュニティセンター235冊を除く

③雑　誌（中央図書館のみ）

タイトル	冊数
224	40,864

④視聴覚資料（中央図書館のみ）

カセットテープ	C　　D	ビデオテープ	D V D	録音図書	電子資料（DVD）	合　　計
29	4,890	122	2,487	757	353	8,638

⑤電子書籍（中央図書館のみ）

一般図書	児童図書	絵本	青少年図書	映像（動く絵本）	合　　計
11,949	659	191	179	12	12,990

⑥資料区分別蔵書

	総　記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
中央図書館	24,587	23,684	64,532	115,042	55,754	62,895	28,106	60,631	12,777	234,214	120,524	802,746
姉崎	307	655	1,856	2,272	2,272	2,710	927	2,325	401	18,930	4,792	37,447
有秋	203	412	815	964	1,162	1,351	355	984	258	9,994	4,218	20,716
五井	1,319	1,830	4,728	8,315	4,215	3,820	1,502	4,100	1,000	32,645	8,801	72,275
国分寺	235	476	1,520	1,820	2,142	1,634	546	1,567	317	11,468	4,302	26,027
八幡	367	626	1,944	1,625	1,821	2,313	745	1,992	339	18,133	3,666	33,571
辰巳	432	511	1,428	1,395	1,858	1,950	777	1,907	365	11,420	4,392	26,435
市津	350	537	1,672	1,686	1,741	2,032	622	2,051	277	11,403	4,884	27,255
南総	433	480	1,580	1,415	1,539	1,831	721	1,890	355	14,332	4,802	29,378
加茂	82	232	1,088	737	1,124	1,512	420	906	89	6,328	3,616	16,134
小計	3,728	5,759	16,631	20,229	17,874	19,153	6,615	17,722	3,401	134,653	43,473	289,238
合計	28,315	29,443	81,163	135,271	73,628	82,048	34,721	78,353	16,178	368,867	163,997	1,091,984

（注）中央図書館・・・紙芝居・雑誌を含む。「その他」には視聴覚資料を含む。電子書籍は含まない。
　　公民館図書室・・紙芝居を含む。

※菊間コミュニティセンタ18,293冊、三和コミュニティセンター15,127冊、ちはら台コミュニティセンター31,798冊を除く

⑥視聴覚資料　　（令和7年3月31日現在）

資料区分／請求記号	カセット	CD	資料区分／請求記号	ビデオ	DVD	電子資料	資料区分／請求記号	録音図書 タイトル数	DAISY タイトル数	合　計
0　音楽総記	0	17	0　総　　記	3	23		0　総　　記	1		
1　クラシック	3	1,025	1　哲学・宗教	0	8		1　哲　　学	3		
2　ポピュラー	14	2,421	2　伝　　記	4	347		2　歴　　史	12		
3　純邦楽	0	136	3　社会科学	0	124		3　社会科学	16		
4　その他	1	124	4　自然科学	4	230		4　自然科学	9		
5　演劇芸術	1	198	5　技　　術	3	141		5　技　　術	5		
6　文芸口頭	0	215	6　産　　業	3	37		6　産　　業	0		
7　教育学習	5	15	7　芸術一般	102	1,565		7　芸　　術	6		
8　自然効果	0	141	8　言　　語	3	2		8　言　　語	1		
9　児　童	5	598	9　文　　学	0	10		9　文　　学	496		
その他						353			208	
合　　計	29	4,890	合　　計	122	2,487	353	合　　計	549	208	8,638

(3)視聴覚ライブラリー

①保有機材　　（令和7年3月31日現在）

機　材　名	数　量	機　材　名	数　量
16ミリ映写機	3　台	暗　　幕	18　枚
液晶プロジェクター	2　台	スクリーン	8　枚
O　H　P	1　台	ワイヤレスアンプ	3　台

②保有教材　　（令和7年3月31日現在）

種　　類	数　　量
16ミリフィルム	173本
ビデオテープ（VHS）	434本
D　V　D	451本

③視聴覚機器・教材利用状況（件）

貸　出　機　材		貸出件数
視聴覚機器	16ミリ映写機	0
	液晶プロジェクター	32
	ＯＨＰ	0
	ワイヤレスアンプ	32
	暗　　幕	10
	スクリーン	19
	その他	30
小　計		123
視聴覚教材	16ミリフィルム	0
	ビデオテープ	0
	ＤＶＤ	26
小　計		26
合　計		149

④視聴覚機器公共施設等団体利用状況(件)

	団　　体	貸出件数
学校教育	保育所	2
	幼稚園	4
	小学校	1
	中学校・高校	1
小　計		8
社会教育	公民館	10
	地域子ども会	8
小　計		18
その他	高齢者施設	0
	自治会等	19
小　計		19
合　計		45

⑤ライブラリー利用団体参加人数

種　　別	参加人数
大　人（20歳以上）	955人
子ども（20歳未満）	850人
合　　計	1,805人

【資料】

3　生涯学習センター

（1）名称及び位置

①名称　　市原市生涯学習センター

②設置場所　市原市五井中央西 1 丁目 1 番地 25　サンプラザ市原 10 階

（2）施設の概要

①学習室

定員 30 名、パソコンを 18 台設置しており、様々な学習講座が行える。

②インターネットスペース

インターネット接続パソコンを 2 台設置しており、学習情報を自由に検索できる。（※インターネット検索のみ使用可）

③冊子情報コーナー

生涯学習に関する各種情報や学習施設についてのちらし・パンフレットを設置。

④交流コーナー・ミーティングスペース

資料の閲覧や学習活動のためのミーティングを自由に行うことができる。

（3）開館日・開館時間

①開館日

月曜日及び年末年始を除く日（月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日に休館）

②開館時間

8：30～19：00（ただし、土日、祝日は 17：00 まで）

（4）利用者数（主催事業参加者数含）

令和６年度

利用目的	利用者（人）
講座等（延べ人数）	1,346
インターネットスペース	135
交流スペース	995
学習相談	29
卒業生の利用	244
その他	759
計	3,951

Ⅴ　青少年の健全育成

１　青少年の健全育成

◇市原市教育大綱における基本目標と施策の基本的な方針

基本目標２　一人一人の個性を生かした、感性豊かな心と健やかな体の育成

施策の基本的な方針（２）青少年の健全育成

○　学校・家庭・地域と連携し、多種多様な人との交流の機会や充実した体験活動の提供、見守り活動を展開し、地域で青少年を健全に育むための環境づくりを推進します。

○　社会生活を円滑に営む上で困難を抱える子ども・若者に、きめ細かな支援が行えるよう、関係機関の連携強化を図ります。

◇令和７年度推進事業

（１）青少年育成団体等への支援

青少年の健全育成を推進するために地域等で活動をしている団体、事業へ支援を行います。

（２）若者の思いを応援

若者自身の希望や思いを反映した居場所づくりを行うことにより、若者の安心感、自己肯定感を高め、学校以外の社会との接点を広げる機会を創出します。

あわせて、若者の意見表明の場として、ワークショップを継続開催します。

これらの取組を両輪として実施することにより、若者が夢をもって、社会へ参画していく後押しをします。

（３）青少年会館活動の推進

青少年の健全育成と教養の向上を図るための拠点施設として、それに資する各種主催事業の実施により学習の機会や体験活動等の提供を図ります。

（４）青少年の非行防止等の推進

青少年の健全育成や非行防止を図るため、青少年補導員等による街頭補導活動を実施します。

また、青少年が陥りやすい非行問題等について理解を深められるよう、小・中学校・高等学校等との連携を一層深めます。

加えて、学校や家庭、社会生活等で困難を抱える青少年に対し、「子ども・若者相談窓口」で相談に応じ、迅速かつ適切に支援する体制の充実を図ります。

2　青少年指導

(1) 青少年指導センター

青少年の非行防止に関する総合的な実践活動を推進するため昭和47年7月11日に設置した。

施設の概要　所在地　市原市八幡海岸通1969-44

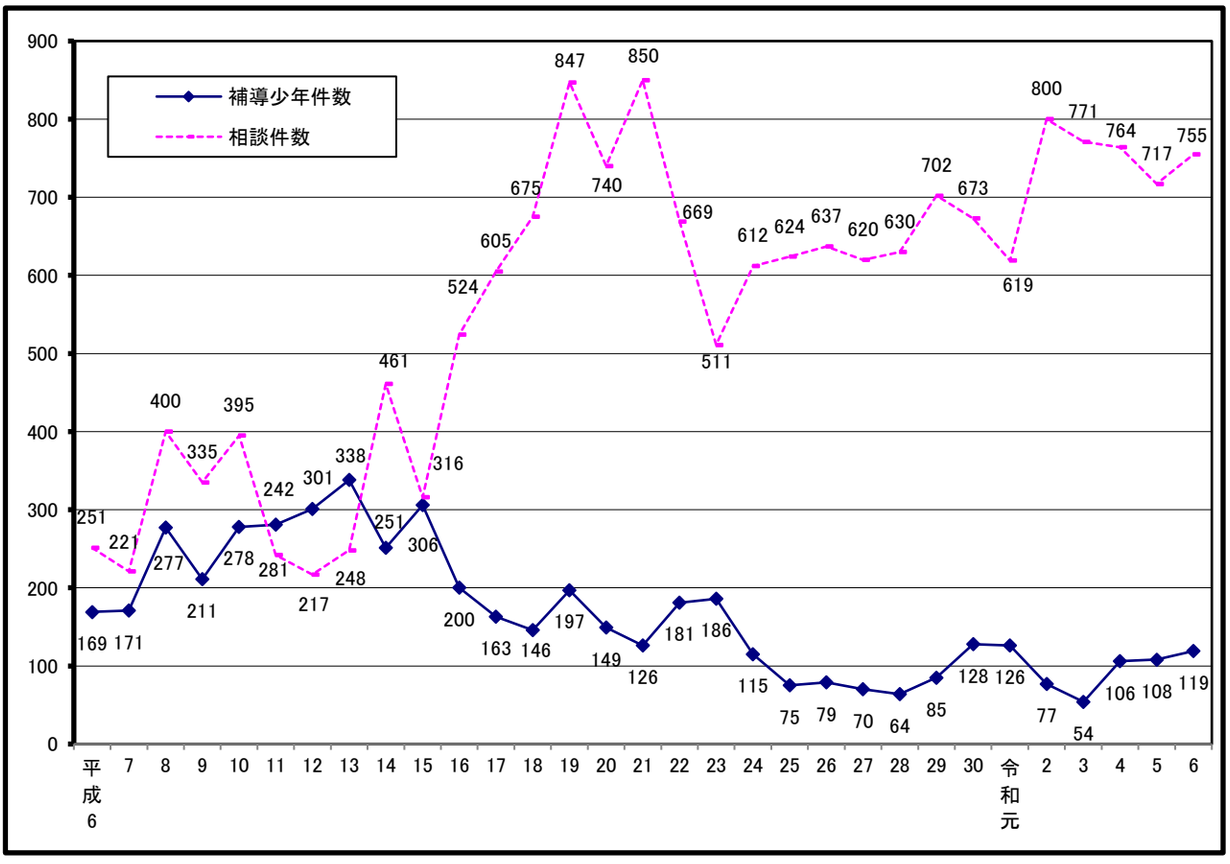
建　物　建築面積　343.06㎡

1階　事務室、所長室　2階　面接室、会議室

①補導少年の行為、学職別状況　（令和6年度）　（単位：人）

学職別 / 行為	小学校		中学校		高　校		その他の学生		有　職		無　職		合　計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
喫煙・飲酒											1		1
自転車等危険行為	4	2	23	8	30	13			1				81
怠学・怠業			3	1									4
原付二人乗り・ノーヘル									2				2
不健全娯楽			1										1
その他	2		7						21				30
合　計	6	2	34	9	30	13			24		1		119

②　補導少年の数・相談件数年度別推移



③ 少年相談状況(子ども・若者総合相談のうち20歳未満の相談)

学職別・内容別・相談件数（令和6年度）

学職			小学生		中学生		高校生		有職少年		無職少年		その他		令和5年度累計			割合
性別			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	件	%
相談内容及び件数	本人に関するもの	凶器所持									3	2			3	2	5	0.7
		盗み・恐喝	1	6	16	2									17	8	25	3.3
		家出・外泊			11	24		4							11	28	39	5.1
		薬物・飲酒・喫煙	1	1	4						1				6	1	7	0.9
		神経・精神	25	3	17	99	8				1		2		53	102	155	20.4
		身体・発育													0	0	0	0.0
		性・異性			5	3									5	3	8	1.1
	家庭に関するもの	家族関係	20	35	29	12	1	1				1			50	49	99	13.0
		家庭内暴力	1		7	1									8	1	9	1.2
		虐待	2		2										4	0	4	0.5
		しつけ	2		4	1									6	1	7	0.9
		金銭	25		14	8									39	8	47	6.2
	社会・学校に関するもの	規則一般・校則等	17	5	10	15									27	20	47	6.2
		学業・進路													0	0	0	0.0
		交友			5										5	0	5	0.7
		いじめ	4		6	7	1								11	7	18	2.4
		怠学・怠業	9		41	7									50	7	57	7.5
		不登校・不就労		2	119	12	3	2			1	2			123	18	141	18.6
		暴行	13		31										44	0	44	5.8
	刑罰行為				2										2	0	2	0.3
	その他		6	3	13	16					3				22	19	41	5.4
男女別 計			126	55	336	207	13	7	0	0	9	5	2	0	486	274	760	
学職別 計			181		543		20		0		14		2		760			
割合 (%)			23.8		71.4		2.6		0.0		1.8		0.3		100.0			

（2）市原青少年会館

所在地	市原市八幡 1126－1　☎（43）3651
規模・利用定員	330 人
敷地面積	2,462 ㎡
構造 延べ床面積	鉄筋コンクリート 2 階建 1，496.91 ㎡（1 階 735.13 ㎡） （2 階 736.17 ㎡）（PH 25.61 ㎡）
設置年月日	昭和 54 年 4 月 1 日

施設内容

室名	面積（㎡）	室名	面積（㎡）
集会室	173.4	小会議室	27.0
学習室	173.4	事務室	94.5
音楽室	94.5	相談室	18.0
美術室	67.5	管理人室	48.0
クラブ室	54.0	その他	697.61
和室	33.8		
保健室	15.2	計	1,496.91

青少年会館利用状況（単位：人）

区分	令和 6 年度
利用者総数	33,390
青少年	8,969
一般	24,421

青少年会館部屋別利用状況(上段：利用件数、下段：利用者数　単位：人)

	集会室	クラブ室	会議室	和　室	音楽室	美術室	学習室	合　計
令和 6 年度	776	290	215	60	551	179	436	2,507
	16,514	2,422	1,520	374	5,960	1,824	4,776	33,390

Ⅵ　文化振興と文化財保護

1　市民文化

◇市原市教育大綱における基本目標と施策の基本的な方針

基本目標６　多彩な地域資源を活用したスポーツの推進、歴史・文化・芸術の振興

施策の基本的な方針（２）ふるさとへの誇りと愛着を育む歴史・文化・芸術の継承と創造

○　市民がふるさと市原の歴史遺産や伝統芸能に誇りと愛着を持てるよう、文化財や地域の歴史を知り、守り、伝える施策や、魅力的なまちづくりの観点から、これらの地域資源を積極的に活用する施策に取り組みます。

○　市民が自主的に文化芸術活動を行い、その活動の輪が広がるよう、文化芸術に触れ、創作・発表する機会の充実を図るとともに、賑わいの創出や交流人口の拡大等、地域の活性化につながるような創造的文化芸術活動を支援します。

◇令和７年度推進事業

（１）上総国府のまち更級日記千年紀事業

第５回更級日記千年紀文学賞への応募作品の中から、著名な作家等により大賞等を選考し発表するとともに、第６回の募集を行います。また、文学に親しむ契機とするため、著名な作家による講演会を開催します。

（２）市民会館改修事業

文化芸術活動の拠点である市民会館の安全性及び利便性の向上を図るためホール棟の防水改修工事等を行います。

（３）歴史博物館（I’Museum）活動の推進

「歴史をつなぐ、人をつなぐ」を基本理念として、市民との協働による歴史遺産を核とした取り組みを進めます。

市民の主体的な活動と交流の拠点となる「市原歴史博物館」及び全天候型体験学習施設となる「歴史体験館」を核とした魅力ある活動を展開します。令和７年秋には、特別展を開催するとともに、関連イベントを開催して誘客を図ります。また、フィールドミュージアム整備の一環として、博物館と統一デザインのフィールドサインを市内各所に設置するとともに、フィールドマップを刊行し、見学コースの整備を行うとともに、見学ツアーを開催し、活用を図ります。

さらに、より多くの人々に来館を促すため、広報プロモーション活動を積極的に行い、魅力ある博物館を発信していきます。

加えて、本市の豊富な文化財の周知と理解を深めるため、考古学や文献史学、民俗学など、多角的な視点から、郷土いちはらを学ぶことができる「いちはら郷土学習講座」を埋蔵文化財調査センターと歴史博物館が共同で実施します。

（４）歴史遺産の文化財指定の促進

「王賜」銘鉄剣について、有識者の指導・助言を得ながら学術的評価をまとめ、発掘調査報告書を刊行するとともに、指定に向けた国・県との協議を進め、国の重要文化財指定を目指します。

また、姉崎古墳群の中核となる古墳のうち、公有地化とともに市の史跡に指定した

海保大塚古墳について、地元の市民団体との協働による環境整備を推進します。

（５）チバニアンの地層の保存活用・整備

国指定天然記念物であり、日本で唯一の GSSP（国際境界模式層断面とポイント）に認定された「チバニアンの地層」の保存と活用を図るため、令和元年度に策定した保存活用計画及び令和２年度に策定した整備基本計画に基づき、令和９年度の供用開始に向け、ガイダンス施設等の整備を進めます。

2　文化財保護

（1）国指定文化財　　（令和7年7月1日現在）

文　化　財　名	指　定　年　月　日	所　有　者	所　在　地
西願寺阿弥陀堂 附厨子	大正 5年 5月24日 昭和30年 6月22日	西願寺	平蔵
鳳来寺観音堂	昭和 6年12月14日	鳳来寺	吉沢
飯香岡八幡宮本殿	昭和29年 9月17日	飯香岡八幡宮	八幡
上総国分寺跡	昭和 4年12年17日 昭和46年 6月29日 昭和54年12月22日	市原市他	惣社
上総国分尼寺跡	昭和58年 8月30日 昭和61年 1月23日	市原市他	国分寺台中央
養老川流域田淵の地磁気逆転地層	平成30年10月15日	市原市他	田淵

（2）県指定文化財　　（令和7年7月1日現在）

文　化　財　名	指　定　年　月　日	所　有　者	所　在　地
飯香岡八幡宮の夫婦銀杏	昭和10年 7月12日	飯香岡八幡宮	八幡
木造地蔵菩薩坐像	昭和33年 4月23日	山口地区	山口
木造聖観世音菩薩立像	〃	蓮蔵院	引田
木造聖観音立像	昭和37年 5月 1日	日光寺	風戸
鶴峯八幡の神楽	昭和39年 4月28日	鶴峯八幡宮神楽連	中高根
木造金剛力士立像	昭和40年 4月27日	橘禅寺	皆吉
木造薬師如来坐像及び両脇侍立像附神将立像	昭和40年 4月27日	橘禅寺	〃
飯香岡八幡宮拝殿	昭和41年 5月20日	飯香岡八幡宮	八幡
市原の柳楯神事	昭和41年12月 2日	柳楯神事保存会	市原他
府中日吉神社本殿	昭和42年12月22日	府中日吉神社	能満
二子塚古墳	昭和43年 4月 9日	姉埼神社	姉崎
大塚ばやし	昭和45年 1月30日	大塚ばやし保存会	海保
大福山自然林	昭和47年 1月18日	白鳥神社	石塚
姉崎天神山古墳	昭和48年 3月 2日	菅原神社	姉崎
高滝神社の森	昭和53年 2月28日	高滝神社	高滝
小湊鉄道蒸気機関車	昭和55年 2月22日	小湊鐵道㈱	五井中央東
木造薬師如来坐像及び両脇侍立像三軀	昭和62年 2月27日	称禮寺	上高根
神門５号墳	平成元年 3月10日	市原市	惣社
漆塗金銅装神輿	平成 6年 2月22日	飯香岡八幡宮	八幡
江子田金環塚古墳出土一括遺物	平成 9年 3月21日	市原市	能満
上高根の三山信仰	平成13年 3月30日	上高根敬愛講社	上高根
椎津のカラダミ	平成19年 3月16日	椎津伝統行事保存会	椎津
木造十一面観音立像	平成28年 3月 4日	長栄寺	宿

文　化　財　名	指　定　年　月　日	所　有　者	所　在　地
椎津城跡	平成29年 3月 7日	市原市他	椎津
能満上小貝塚出土土製品	平成31年 3月 5日	市原市	能満
山倉1号墳出土埴輪	令和2年　3月10日	市原市	能満
西広貝塚出土骨角貝製装身具	令和3年　3月19日	市原市	能満

（３）市指定文化財　　（令和7年7月1日現在）

文　化　財　名	指　定　年　月　日	所　有　者	所　在　地
木造薬師如来坐像	昭和43年 4月25日	法行寺	大作
木造薬師如来坐像	〃	薬王寺	不入斗
鋳造三尊形本地仏懸仏	〃	非公開	古敷谷
大太刀	〃	飯香岡八幡宮	八幡
石造十三重塔	〃	泰安寺	海士有木
熊野神社の大銀杏	〃	熊野神社	金剛地
両界大日如来坐像	昭和47年 7月20日	光厳寺	大和田
不動明王坐像	〃	〃	〃
姫宮古墳	〃	市原市	菊間
菊間天神山古墳	〃	個人	〃
吉野1号墳	〃	市原市	西国吉
根本神社の神楽	〃	根本神社神楽保存会	馬立他
奈良の大仏	昭和49年 6月10日	本泉寺他 32 名	奈良
奈良本泉寺のシイ巨木群	〃	本泉寺他 1 名	〃
常住寺の五輪塔・ 宝篋印塔附板碑	昭和54年 3月10日	常住寺	中高根
将門塔	〃	市原市	惣社
木造釈迦如来坐像	〃	竜渓寺	石川
牛久ばやし	〃	牛久ばやし保存会	牛久
養老川西広板羽目堰	〃	養老川西広板羽目堰保存会	西広
高滝神社社殿附末社社殿	昭和55年12月 1日	高滝神社	高滝
薬王寺の算額	昭和60年 4月 1日	薬王寺	不入斗
国分寺薬師堂附厨子	昭和62年 3月 1日	国分寺	惣社
真高寺山門	〃	真高寺	飯給
鶴窪古墳	昭和63年 8月15日	市原市	姉崎
当世具足11領及び残欠一括	平成元年 7月 8日	飯香岡八幡宮	八幡
木造阿弥陀如来坐像	平成 4年 6月16日	医光寺	西国吉
木造聖観音菩薩及び二天立像	〃	法泉寺	武士
木造聖観音菩薩坐像	〃	常徳院	山木
八幡神社社殿附棟札	平成 7年 3月 7日	八幡神社	菊間

医王寺石造宝篋印塔	〃	医王寺	畑木
木造不動明王坐像	平成 7年 3月 7日	円満寺	今富
銅造阿弥陀如来立像	〃	非公開	非公開
六孫王原古墳	〃	市原市他	姉崎
旧小倉家住宅	平成 8年 4月 3日	市原市	
円満寺石造宝篋印塔	平成 9年 3月31日	円満寺	今富
木造随身立像	〃	八幡神社	菊間
木造千手観音菩薩坐像	〃	森厳寺	海保
木造地蔵菩薩立像	〃	秀善寺	今富
光善寺石燈籠	平成16年 3月31日	光善寺	市原
祭囃子（五井新田祭囃子）	〃	五井新田祭囃子 保存会	五井新田
薬王寺浮彫六地蔵石幢	平成16年 4月30日	薬王寺	不入斗
木造金剛力士像(阿形)附 木造金剛力士像(吽形)	平成18年 8月28日	国分寺	惣社
木造如来坐像	〃	寿福寺	喜多
釈蔵院文書	平成20年 5月30日	釈蔵院（非公開）	能満
人面付土器	平成22年 6月25日	市原市	〃
刑房私印	〃	〃	〃
上総姉崎領谷田之郷 御縄打水帳附同写本	平成23年 3月28日	非公開	非公開
灰釉花文浄瓶	平成24年12月27日	市原市	能満
稲荷台遺跡第 37 号住居跡 出土遺物一括	平成26年12月18日	〃	〃
「王賜」銘鉄剣	平成28年 5月 2日	〃	〃
萩ノ原遺跡出土瓦塔	平成28年11月 4日	〃	〃
姉崎山王山古墳出土遺物	平成30年 5月 1日	〃	〃
光厳寺本堂の欄間彫刻附「位牌」	平成29年 3月28日	光厳寺	大和田
小湊鉄道キハ 5800 形式気動車 附気動車台帳及び修繕表	平成31年 3月29日	小湊鐵道株式会社	五井中央東
伝椎津城跡の石造宝篋印塔	令和2年 8月 5日	市原市	能満
祇園原貝塚	令和3年 3月 3日	市原市	国分寺台中央
辺田一号墳墳頂部出土遺物一括	令和4年 5月23日	市原市	能満
牛久石奈坂１号墳墳頂部出土遺物一括	令和4年 10月5日	市原市	能満
御林跡遺跡１９９号・２０６号方形周溝墓内部施設出土遺物一括	令和5年 2月22日	市原市	能満

海保大塚	令和5年　2月22日	市原市	海保
海保大塚古墳	令和5年　2月22日	市原市	海保
北旭台遺跡出土有鈎銅釧	令和5年　12月22日	市原市	能満
御林跡遺跡１０３号遺構出土灰釉蔵骨器（短頸壺・椀）	令和6年　3月28日	〃	〃
鶴峯八幡宮所蔵　阿弥陀如来懸仏	令和6年　3月28日	〃	〃
大厩浅間様古墳１号主体部出土遺物一括	令和7年　3月28日	〃	〃

（４）国登録文化財　　（令和7年7月1日現在）

文　化　財　名	指　定　年　月　日	所　有　者	所　在　地
武田家住宅	平成 9年 7月30日	個人所有	古市場
小湊鉄道五井機関区機関庫及び鍛冶小屋	平成29年 5月 2日	小湊鐵道株式会社	五井中央東
小湊鉄道上総村上駅本屋	〃	〃	村上
小湊鉄道海士有木駅本屋	〃	〃	海士有木
小湊鉄道上総山田駅本屋	〃	〃	磯ヶ谷
小湊鉄道第一柴の下橋梁	〃	〃	二日市場
小湊鉄道第二柴の下橋梁	〃	〃	〃
小湊鉄道第一養老川橋梁	〃	〃	〃
小湊鉄道馬立駅本屋	〃	〃	馬立
小湊鉄道第二養老川橋梁	〃	〃	佐是
小湊鉄道上総牛久駅本屋	〃	〃	牛久
小湊鉄道上総鶴舞駅本屋	〃	〃	池和田
小湊鉄道旧鶴舞発電所	〃	〃	〃
小湊鉄道上総鶴舞駅貨物上屋	〃	〃	〃
小湊鉄道高滝駅本屋	〃	〃	高滝
小湊鉄道里見駅本屋	〃	〃	平野
小湊鉄道月崎第一隧道	〃	〃	柿木台
小湊鉄道月崎駅本屋及びプラットホーム	〃	〃	月崎
小湊鉄道月崎駅旧下り線プラットホーム	〃	〃	〃
小湊鉄道大久保隧道	〃	〃	大久保
小湊鉄道第四養老川橋梁	〃	〃	〃
小湊鉄道養老渓谷駅本屋	〃	〃	朝生原
小湊鉄道板谷隧道	〃	〃	〃

（５）史跡上総国分尼寺跡展示館概要

史跡上総国分尼寺跡環境整備事業のうち、平成2年度から平成4年度にかけて文化庁の「史跡等活用特別事業（ふるさと歴史の広場）」の補助対象事業として建設したガイダンス施設・復元中門等、及び平成5年度から平成8年度にかけて文化庁の「地域中核史跡等整備特別事業」の補助対象事業として建設した復元回廊等を一般公開している。

名　　称　　史跡上総国分尼寺跡展示館

所 在 地　　国分寺台中央3丁目5番地2

①建設の目的

市原市が古代上総国の政治・文化の中心地であったことを象徴する文化遺産である国指定史跡上総国分尼寺跡を保存継承することにより、郷土の歴史や文化を再認識し、追体験する場として活用するとともに、新たな地域文化の創造に役立て、ゆとりのある個性的なまちづくりに活用する。

②展示館の概要

鉄筋コンクリート造、平屋建、延床面積 320.11 ㎡。

史跡の見学に先立ち、映像や模型・レプリカ・出土遺物・パネル等の展示によって、国分寺が造られた時代背景や史跡の内容、特徴などを分かりやすく解説する案内施設である。

これまでの博物館と異なり、野外の整備された史跡と映像展示を結び付けた施設であることが特徴で、ビデオ上映に引き続き、上総国分尼寺復元模型（直径4.5mの八角形)を使った照明・ナレーションによる国分尼寺の仕組みの解説、模型の回転、液晶ガラスの瞬間的透過による野外の整備された史跡と模型との対照といった一連の演出を、コンピューター制御で楽しみながら学べるように工夫している。

③復元中門の概要

木造平屋建、切妻造、本瓦葺き、八脚門。　間口9.9m、奥行き5.4m、高さ約7.2m、建築面積53.5㎡。

基壇は側面に瓦を積み、上面に甎(セン)を敷き並べた瓦積み基壇。礎石は蛇紋岩自然石。木材はヒノキ・ケヤキ・ヒバ等。瓦の文様は出土瓦にならい、各種約5,066 枚使用。

木部表面はヤリガンナ仕上げ、ベンガラ塗り（赤色）。ただし、木端は黄土塗り（黄色）、金剛柵は緑青塗り（緑色）。壁の仕上げは漆喰い塗り（白色）。

④復元回廊等の概要

木造平屋建、本瓦葺き、中間左右折れ回り23間(東76.2m、西76.5m)、染間1間(3.75m)、高さ約5m 、屋根面積1,108 ㎡、屋根瓦各種42,335枚、瓦積み基壇上面の甎は8,800 枚使用。礎石及び狭間石には蛇紋岩自然石。使用木材・塗装は中門と同様。金堂基壇は高さ86cm、面積579 ㎡、上面甎敷き(3,510枚) で須弥壇は凝灰岩で復元。玉砂利敷の内庭には、中門・金堂基壇方向に瓦敷きの参道や金銅製の灯籠が復元されている。

中門・回廊・金堂で構成される金堂院のうち、中門・回廊や金堂基壇とともに地下遺構の真上に天平時代の規模・構造・様式で復元することによって、国分尼寺跡の宗教施設としての象徴性を表現し、史跡の空間的広がりを視覚的に体験できるようにするとともに、古代建築の力強い構造美を鑑賞できるようにしている。

（６）市原市埋蔵文化財調査センター

市原市は、「王賜」銘鉄剣や上総国分寺跡に代表されるように、市内各地に古代人の残した遺跡が数多く存在している地域であり、宅地造成や交通網の整備などの開発行為に伴い発掘調査を実施する機会も多い。

このような中で、発掘品の整理作業の促進を図るとともに、市原市における埋蔵文化財の総合的調査研究、出土遺物の収蔵保管及び啓発普及活動の場として、平成2年度に埋蔵文化財調査センターを設立した。

①業務内容

ア　埋蔵文化財の調査研究

イ　出土した文化財及び調査記録等の資料の整理、収蔵保管

ウ　埋蔵文化財を活用した啓発普及活動

②施設の概要

ア　所在地　　市原市能満1489番地

イ　構　造　　鉄筋コンクリート造地上2階建

ウ　敷地面積　　約 4,000㎡

エ　建築面積　　1,612.32㎡

オ　延床面積　　2,170.73㎡

（1階＝1,184.57㎡、2階＝970.49㎡、塔屋＝ 15.67㎡）

③施設内容

ア　1階

・整理室　　（234.84㎡）

遺跡から発見された遺物の水洗・注記・復元などを行う。

・製図室　　（76.36㎡）

遺跡から発見された遺構・遺物の図の浄書(トレース)を行う。

・一般収蔵庫　　（491.10㎡）

出土遺物を収蔵・保管する。

・特別収蔵庫　　（37.37㎡）

水槽を配置し、出土木製品を収蔵・保管する。

・その他の部屋　　（344.90㎡）

倉庫・休憩室・更衣室・撮影室・暗室・シャワー室など。

イ　2階

・フィルム保管庫　　（31.84㎡）

発掘現場や遺物を撮影したフィルム・写真類を、一定の温湿度で収納・保管する。

・図面保管庫　　（50.20㎡）

発掘現場で測量・実測した図面類、遺物を実測した図面類及び報告書作成のためにトレースした図面類などを収納・保管する。

・書　庫　　（78.51㎡）

本市及び全国各地で発行された発掘調査報告書など書籍類を収納・保管する。

・一般収蔵庫　　（488.77㎡）

1階の一般収蔵庫と同様。

・特別収蔵庫　　（31.98㎡）

鉄剣・鉄刀などの金属製品を一定の温湿度で収蔵・保管する。

・会　議　室　　（95.30㎡）
　会議・研修・講座などに使用する。
・その他の部屋　　（193.89㎡）
　鉄器処理室・空調機室・便所。
・塔　　屋　　（15.67㎡）

ウ　平成13年度増設
・整　理　棟　　（384.37㎡）
・文化財収蔵庫　　（273.19㎡）

（７）市原歴史博物館

１　設立の目的

市原の歴史及び民俗に関する資料を収集し、保管し、展示し、及び調査研究して市民の利用に供するとともに、その学習、調査研究等に資するため必要な事業を行うことにより、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、令和4年11月20日に開館しました。

２　博物館の業務

⑴　資料の収集・保管・展示・調査・研究

⑵　歴史・民俗に関する普及啓発

⑶　歴史・民俗に関する人材の育成及び歴史･民俗に関連する市民団体等の支援

３　博物館（I’Museum）の取り組み

愛称の「I’Museum（アイミュージアム）」は、歴史博物館・歴史体験館・フィールドミュージアムの3つの柱で構成されます。

⑴　歴史博物館

郷土いちはらへの誇りと愛着を育むため、市民協働による歴史遺産を核とした取組を継続的に行うとともに、歴史遺産の価値と魅力を分かりやすく伝え、活動と交流の拠点となる施設として、整備を行いました。

エントランスホールは施設の導入部として、来館者を市内歴史フィールドへと誘う、ガイダンス空間となっています。

展示は旧石器時代から近現代まで扱い、展示室に可動間仕切りを採用することにより、展示資料の変更や企画展の規模に合わせた多様な空間構成に対応します。また、展示室中央に「王賜」銘鉄剣の展示コーナーを設け、館のシンボル空間として位置づけています。

埋蔵文化財調査センターの旧エントランスホールを改修した民俗展示室では、東京湾から養老川へとつながる市原の大地をめぐりながら、そこに息づく人々の暮らしを紹介します。

⑵　歴史体験館

全天候型の市民参加型体験学習施設として、多様な世代の参加を促し、世代間交流と賑わいを創出します。また、子どもたちの歴史学習の場として、学校教育との連動を図り、教科書の写真等で目にしたものを、実物資料等を用いて追体験するほか、夏休みや週末に親子体験教室等を実施し、いちはらに暮らした先人たちの生活を振り返ります。

⑶　フィールドミュージアム

市原市全体を屋根のない博物館に見立て、市内に点在する様々な歴史遺産（遺跡、石造物、寺社仏閣等歴史や民俗に関連する様々なもの）を、博物館で行うフィールドガイダンス展示と連携させて、博物館と市内の歴史遺産との回遊を促します。

市内を20地区に分け、各地区の主要な歴史遺産に標柱型のフィールドサ

インを設置するとともに、各地区の歴史遺産を歩いて回るフィールドマップを作成し、見学環境の整備を行うとともに、見学ツアーを開催し、活用を図ります。

4　博物館の規模

⑴　博物館

建築面積　1,246.23㎡

延床面積　1,234.16㎡

構造　鉄筋コンクリート造

⑵　歴史体験館

建築面積　1,891.95㎡

延床面積　1,794.71㎡

構造　鉄骨造





左：歴史博物館　右：歴史体験館

3　文化振興

（1）市民会館

所 在 地　　市原市惣社1-1-1
敷地面積　　19,870㎡
建築面積　　6,552㎡
延床面積　　11,928㎡
起　　工　　昭和47年1月26日
竣　　工　　昭和49年3月31日
開　　館　　昭和49年5月29日
総 工 費　　1,513,682 千円
構　　造　　鉄筋コンクリート造
　（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）
会議室棟　　地上4階、塔屋2階
ホール棟　　地下1階、地上3階

【平成27年度増築】
延床面積　　126.76㎡
構　　造　　鉄骨造
エネルギー施設棟　　地上１階

○　延床面積　　（単位：㎡）

階	会議室棟	ホ ー ル 棟
PH2階	41	（階段室） 390
PH1階	188	
4階	883	
3階	774	926
2階	751	2,933
1階	826	3,277
B1階	―	813
各棟合計	3,463	8,339
合　　計	11,802	

○　施設概要

区分	階別施設	施設の概要
会議室棟	1階　レストラン 厨　　房 受付相談 事 務 室	（令和2年3月31日営業終了）　40席
	2階 会 議 室	第一会議室（洋室）収容人員　42人 第二　〃　〃　42人 第三　〃　〃　42人 和室1　〃　30人 茶室（水屋付）　〃　10人
	3階 会 議 室	大会議室（洋室）収容人員　81人 和室2　〃　10人
	4階 宴 会 室 パントリー	第一宴会室　25席 第二　〃　25席 第三　〃　25席 第四　〃　25席
ホール棟	・ 大ホール	固定席　1,527席 身障者席　4席
	・ 小ホール	固定席　491席 身障者席　2席
	地下1階　奈落	倉　　庫
	1階 楽 屋 シャワー室 切符売場 事 務 室	第一楽屋　収容人員　18人 第二　〃　〃　13人 第三　〃　〃　3人 第四　〃　〃　3人 第五　〃　〃　7人 第六　〃　〃　7人 男性用　1室 女性用　1室
	2階 楽 屋	第七楽屋　収容人員　7人 第八　〃　〃　7人
	3階 楽 屋 楽屋受付	第九楽屋　収容人員　3人 第十　〃　〃　3人 1室

○　会館利用状況

区分／年度	大ホール 件数 演劇	音楽	舞踊	その他	計	日数	小ホール 件数 演劇	音楽	舞踊	その他	計	日数
R4	4	64	26	65	159	144	0	76	12	100	188	166
R5	4	80	24	66	174	159	5	99	18	117	239	209
R6	1	84	29	80	194	181	0	86	16	114	216	194

年度／区分	会議室（件）	宴会室（件）
R4	1,735	0
R5	1,939	0
R6	1,434	6

※令和２～５年度は飲食提供事業を休止した。

※令和４年度は工事により４～６月の間ホール棟を休館した。

○　会館文化事業

年度	事業名	実施月日	事業名	実施月日
4	芸術講座	4年5月 8日	文化祭　三曲大会	9月25日
	伝統芸能普及事業	6月 7日	文化祭　合唱祭	9月25日
		8日	SDGs 講演会　石原良純講演会	10月 9日
		9日	杉本昌隆 講演会	10月22日
	出前講座　サイエンスショー	6月28日	文化祭　吟詠剣詩舞大会	10月23日
		29日	文化祭　民舞大会	10月23日
		30日	文化祭　短歌大会	10月23日
	いちはら俳句チャレンジ	7月 1日	夢の架け橋コンサート	11月 3日
	（募集期間）	～8月31日	市原市中学校音楽発表会	11月 4日
	（結果発表）	12月 1日	市原市小学校音楽発表会	11月 8日
	中島美嘉コンサート	7月 8日	文化祭　謡曲大会	11月13日
	まちくる！vol.35（動画配信）	7月15日	文化祭　ハワイアンフラ祭	11月13日
	文化芸術ワークショップ		文化祭　茶会	11月13日
	（会議室棟）	7月24日	文化祭　民謡秋まつり	11月26日
	（ホール棟）	8月20日	文化祭　アンサンブルフェスタ	11月26日
	まちくる！vol.36（動画配信）	7月29日	文化祭　音の輪きずな祭	11月27日
	市民会館探検ツアー	7月30日	特連文化フェスティバル	12月 9日
		31日	文化祭　歌謡祭	12月11日
	出前寄席	8月26日	文化祭　バレエ公演	12月11日
		27日	劇団四季「人間になりたがった猫」	12月27日
	芸術家支援・育成事業「バレエレッスン」	9月 3日	奥田民生コンサート	5年1月28日
			いちはら名人寄席	2月 5日
	親子で楽しむ室内管弦楽コンサート	9月10日	まちくる！　vol.38	2月20日
	親子劇場　おかあさんといっしょ	9月19日	まちくる！　vol.37	2月23日
	ﾀﾞﾝｽﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｽﾃｰｼﾞ DLiVE	3月26日	※以下、中止となった事業	
	いちはら Artists Power	通年	文化祭　郷土芸能大会	11月27日
	いちはら文化振興ボランティア	通年		
	文化振興広報事業「おんぷ」発行	年4回		

5	親子で楽しむ室内管弦楽コンサート	5年4月22日	文化祭　民謡秋まつり	10月15日
	市原市中学生吹奏楽地域活性化事業	5月21日	文化祭　音の輪きずな祭	10月15日
	出前講座　サイエンスショー	5月30日	市制60周年記念事業　新BS日本のうた	10月19日
		31日		
		6月 1日	文化祭　吟詠剣詩舞大会	10月22日
		2日	文化祭　民舞大会	10月22日
	伝統芸能普及事業	6月20日	文化祭　短歌大会	10月22日
		21日	市原市小学校音楽発表会	11月1日
		22日	市原市中学校音楽発表会	11月2日
	いちはら俳句チャレンジ		夢の架け橋コンサート	11月3日
	（募集期間）	7月 1日	スティールパンコンサート	11月11日
		～8月31日	文化祭　茶会	11月12日
	（結果発表）	12月 1日	文化祭　ハワイアンフラ祭	11月12日
	浜崎あゆみコンサート	7月 8日	文化祭　郷土芸能大会	11月12日
		9日	特連文化フェスティバル	12月 8日
	出前寄席	7月16日	文化祭　歌謡祭	12月10日
		17日	文化祭　バレエ公演	12月10日
	市民会館探検ツアー	7月28日	まちくる！　vol.41	12月16日
		29日	県制150周年・市制60周年記念コンサート	12月23日
	和楽器体験コンサート	8月 6日		
	文化芸術ワークショップ	8月26日	映画名作劇場①おいしい給食②浅田家！	6年1月21日
		9月 3日		
	芸術家支援・育成事業「バレエレッスン」	9月10日	市制60周年記念事業　エンジン01	1月26日
				28日
	まちくる！　vol.39	9月18日	しまじろうコンサート	1月27日
	市原市中学生吹奏楽地域活性化事業	9月23日	三浦大知コンサート	2月 3日
	文化祭　三曲大会	9月24日	いちはら名人寄席	2月 4日
	文化祭　合唱祭	9月24日	夏井いつき　句会ライブ	2月24日
	文化祭　工芸展	10月 7日	ﾀﾞﾝｽﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｽﾃｰｼﾞ DLiVE	3月24日
		8日	いちはら Artists Power	通年
	まちくる！　vol.40	10月14日	いちはら文化振興ボランティア	通年
	文化祭　謡曲大会	10月14日	文化振興広報事業「おんぷ」発行	年4回
	文化祭　アンサンブルフェスタ	10月14日	SNSフォロワーアップ広報事業	通年

6	お笑いライブ坂本冬休みコンサート）	6年4月20日	文化祭謡曲大会	10月12日
			文化祭アンサンブルフェスタ	10月12日
	杉山清貴＆オメガトライブコンサート	5月19日	文化祭音の輪きずな祭	10月13日
			オレンジレンジコンサート	10月19日
	親子で楽しむ室内管弦楽コンサート	6月1日	文化祭吟詠剣詩舞大会	10月20日
			文化祭短歌大会	10月20日
	市原市中学生吹奏楽地域活性化事業	6月2日	文化祭民舞大会	10月20日
			文化祭俳句大会	11月2日
	出前講座サイエンスショー	6月3日	文化祭茶会	11月10日
		4日	文化祭ハワイアンフラ大会	11月10日
		5日	文化祭民謡秋まつり	11月10日
	森高千里コンサート	6月8日	まちくる！vol.43	11月17日
	伝統芸能普及事業	6月18日	文化祭郷土芸能大会	11月24日
		19日	文化祭バレエ合同公演	12月8日
	音楽家支援コンサート（若い芽のαコンサート）	6月23日	文化祭歌謡祭	12月8日
			市原市中学校音楽発表会	10月31日
	芸術家支援・育成事業（バレエレッスン）	7月6日	特連文化フェスティバル	12月13日
			夢の架け橋コンサート	11月3日
	稲川淳二の怪談ナイト	7月21日	市原市楽友協会市民コンサート	12月15日
	フルート教室	7月26日	クラシックコンサート（未来を奏でる音楽会）	12月21日
		27日		
	市民会館探検ツアー	7月28日	親子劇場「劇団四季ファミリーミュージカル　ガンバの大冒険」	12月27日
	文化芸術ワークショップ	8月4日		
		24日	いちはら寄席	2月1日
		25日	スマイルコンサート（日本太鼓TAKERUコンサート）	2月8日
		9月1日		
	なんでも鑑定団公開収録	9月15日	市民会館開館50周年記念事業（でんじろうサイエンスショー）	2月9日
	市原市中学生吹奏楽地域活性化事業	9月16日		
			エンジン02 in 市原	3月15日
	石田組コンサート	9月28日	千葉交響楽団特別演奏会	3月23日
	文化祭合唱祭	9月29日	まちくる！vol.44	3月31日
	文化祭三曲大会	9月29日	いちはら Artists Power	通年
	文化祭工芸展	10月5,6日	いちはら文化振興ボランティア	通年
			文化振興広報事業「おんぷ」発行	年4回
			SNSフォロワーアップ広報事業	通年

（2）文化団体

○　市原市文化団体連合会（会長　関本 清人）　　（令和7年7月1日現在）

団　体　名	代　表　者　名
市原市民謡協会	齋藤　崇風
市原市合唱連盟	鈴木　勝典
市原市吟詠剣詩舞連盟	半沢　正憲
市原市茶華道協会	関本　清人
市原市三曲協会	齋藤　崇風
市原市盆栽会	髙澤　勇夫
市原市工芸会	石橋　進
市原市菊の会	相川　真樹
市原市美術会	山口　征男
市原市俳句協会	木村　傘休
市原市民舞協会	並木　とみ
市原市古典舞踊の会	吾妻　廣美
市原市歌人会	市川　一子
市原市歌謡連盟	相川　敏明
市原クラシックバレエ協会	浅野　真奈美
市原市謡曲連合会	大村　欣一
市原ハワイアン・フラ協会	本郷　希子
和太鼓　和音プラス　江粋連	田邊　幸江
沖縄創作エイサー　美ら音　ニライカナイ	比嘉　孝子
市原アンサンブル協会	松永　恒文
即興円舞ＫＯＳ伝承ダンス協会	柳橋　貴子
いちはら朗読音楽劇協会	本間　樺代子

○　市原市民俗芸能連絡会（会長　大岩 裕幸）　　(令和7年7月1日現在)

団　体　名	代　表　者　名
新巻祭囃子保存会	八巻　正時
今富愛宕囃子保存会	須田　和己
不入斗小鷹囃子保存会	進藤　普昭
牛久囃子研究会	鶴岡　正志
大塚ばやし保存会	中嶋　規夫
菊間囃子保存会	川上　和昭
北若会	石川　祐輔
五井新田祭囃子保存会	髙石　哲朗
五井下宿祭囃子保存会	中嶋　豊
鶴峯八幡宮十二座神楽保存会	征矢　善充
鶴舞囃子連	渋谷　誠一
新堀太鼓連	鶴岡　淳
宮本明神囃子保存会	高品　靖伸
山倉太鼓連	稲塚　清一

Ⅶ　社 会 体 育

1　スポーツ・レクリエーション

◇市原市教育大綱における基本目標と施策の基本的な方針

基本目標６　多彩な地域資源を活用したスポーツの推進、歴史・文化・芸術の振興

施策の基本的な方針（１）生涯を通じたスポーツの推進

○　生涯を通じてスポーツに親しみ、健康でたくましい心と身体をつくるため、本市の特色あるスポーツ環境を生かした事業展開を図り、「する」スポーツ活動を推進します。

○　スポーツに親しむための情報発信やトップレベルのスポーツに触れる機会の提供により、「みる」スポーツ活動を推進します。

○　スポーツ施設の長寿命化や改修・修繕等に計画的に取り組み、市民が利用しやすいスポーツ環境の提供や本市のスポーツ活動を支えている団体への支援等「ささえる」スポーツ活動を推進します。

◇令和７年度推進事業

（１）いちはらの環境を活かしたスポーツ推進事業

本市の恵まれた環境を活かしたスポーツを推進するため、養老渓谷やゴルフ場を活用したイベントを開催します。

また、平成 29 年度に作成した市内 10 地区のウォーキングマップの活用や、既存のウォーキングイベントを近隣市町村と連携して PR するとともに、ウォーキングイベントの継続的な実施により参加者の増加を図ります。

（２）スポーツ用具整備事業

体力や年齢、障がいの有無に関わらず、市民の誰もが楽しめるスポーツを普及するため、ニュースポーツ用具やユニバーサルスポーツ用具の整備を行い、市民のスポーツ活動を支援します。

（３）スポーツボランティア活用事業

ボランティア文化の醸成により、共に支えあうまちづくりを目指すため、スポーツを支え、様々な場面で活躍が期待できるスポーツボランティアを募集し、スポーツ大会等でボランティアとして活躍できる「ひとづくり」を進めます。

（４）大学とのスポーツ連携事業

地域スポーツの活性化を図るため、大学が有する人材、施設、スポーツに係るノウハウ等を活用して、大学との協働によるスポーツイベントを開催します。

2　社会体育

（1）運動施設一覧

総称	施設名	所在地	面積(㎡)	概要	令和6年度 利用者数
南総運動広場	野　球　場	奉免166-1	10,965	野球1面・スコアボード・バックネット・中堅110m 両翼87m・便所・用具庫・管理棟	2,405
	庭　球　場	奉免166-1	2,888	ハードコート4面	2,505
姉崎運動広場	野　球　場	椎津1550	9,908	野球1面・スコアボード・バックネット・中堅110m 両翼85m・便所・用具庫・管理棟	2,688
	庭　球　場	椎津1550	2,888	ハードコート4面	7,358
三和運動広場	野　球　場	磯ヶ谷1606-2	11,195	野球1面・スコアボード・バックネット・中堅110m 両翼87m・便所・用具庫・管理棟	3,425
	庭　球　場	磯ヶ谷1606-2	3,098	ハードコート4面	2,942
市津運動広場	多目的広場	潤井戸11-2	21,127	野球・サッカー1面・ラグビー1面・スコアボード・バックネット・中堅110m 両翼90m・用具庫・管理棟・相撲土俵・陸上直線走路（100m）	7,352
	庭　球　場	潤井戸11-2	2,508	砂入り人工芝4面	18,619
加茂運動広場	多目的広場	本郷370-1	14,945	野球・サッカー1面・ラグビー1面・スコアボード・バックネット・中堅143m 両翼99m・用具庫・管理棟・陸上直線走路（100m）・展望広場	4,926
	ミニ球技場	本郷370-1	1,326	フットサル1面・ゲートボール・ニュースポーツ	524
市原市武道館	大　道　場	八幡1272-3	270	剣道・空手道・少林寺拳法・合気道	4,727

総称	施設名	所在地	面積(㎡)	概要	令和6年度 利用者数
ゼットエー 武道場	大　道　場	能満1474-1	1,502	柔道・剣道・空手道6面・卓球24台・なぎなた4面・ボクシング1セット レスリング1面・観覧席1,074席・会議室・更衣室	58,234
	相　撲　場	能満1474-1	225	観覧席150席・更衣室	908
	弓　道　場	能満1474-1	416	観覧席60席・遠的70m・近的28m（6人立ち） 遠的場はアーテェリーも使用可	10,847
	健康増進センター	能満1474-1	322	体力診断システム（コンピューター使用）・リラクゼーション機器 ・フリーウェイト（バーベル他）・エアロビック機器・ウェイトトレーニングマシン	29,867
	エアーライフル場	能満1474-1	409	10立・エアライフル射撃場（許可必要） 3立ビームライフル（許可不要）	414
市原スポ レクパーク	天然芝グラウンド	菊間775	30,000	天然芝3面	23,130
	人工芝グラウンド	菊間775	9,600	ロングパイル人工芝・夜間照明4基	29,184
市原緑地 運動公園	臨海体育館	岩崎292	3,062	鉄筋コンクリート2階建・フローリング床・天井高11m ステージ・会議室・控室・更衣室・シャワー室・便所・医務室・ 映写室他	32,444
	ゼットエー ボールパーク	岩崎315	19,426	両翼98m・中堅122m・人工芝グランド・スコアボード・ 天然芝スタンド・夜間照明塔・防球ネット・便所・ダッグアウト・ ブルペン・更衣室・医務室・シャワー室・身障者観覧室・放送記録室等	43,405
	ゼットエー オリプリスタジアム	岩崎536	34,601	全天候ウレタン舗装トラック・3種混合洋芝・夜間照明塔 鉄筋コンクリートプレキャスト4階建スタンド・電光表示板 便所・医務室・更衣室・放送室・記者室・トレーニングルーム	40,864
	臨海第1庭球場	岩崎560	3,990	砂入り人工芝6面・夜間照明施設	31,289
	臨海第2庭球場	岩崎401	3,953	砂入り人工芝6面・夜間照明施設	33,784
	臨海プール	岩崎283	4,500	50mプール・幼児プール・脱衣所・便所・シャワー等・売店	5,936

総称	施設名	所在地	面積(㎡)	概要	令和6年度 利用者数
養老川 臨海公園	養老川臨海第1球場	五井南海岸1-12	13,352	野球1面・両翼91m・中堅116m・バックネット	4,669
	養老川臨海第2球場	五井南海岸1-12	13,594	野球1面・両翼91m・中堅116m・バックネット	5,197
玉前公園	玉前球場	玉前西3-1	10,191	野球1面・右翼86m・左翼93m・中堅110m・ 土グラウンド・便所・バックネット・防球ネット	2,885
八幡運動公園	八幡サッカー場	八幡1050-3	11,205	ダスト舗装1面・夜間照明施設 ※令和6年3月31日廃止	23,996
八幡公園	八幡庭球場	八幡440	1,660	砂入り人工芝3面・夜間照明施設	23,841
	八幡プール	八幡440	6,345	25mプール・コミュニティープール・幼児プール・スライダープール・ 便所・医務室・シャワー室・更衣ロッカー室・休憩所・日除けテント・ 駐車場・売店	32,317
	八幡球技場	八幡440	11,360	ロングパイル人工芝1面・夜間照明施設	36,362
ちはら台 公園	ちはら台多目的 スポーツ広場	ちはら台西3-3	11,050	天然芝1面	8,679
	ちはら台庭球場	ちはら台西3-3	1,520	砂入り人工芝2面	12,912
堂坂公園	堂坂庭球場	ちはら台西1-2	1,320	砂入り人工芝2面	12,010
御影台公園	御影台庭球場	ちはら台東5-21	2,782	砂入り人工芝4面	21,130
姉崎公園	姉崎サッカー場	姉崎海岸23-2	12,350	天然芝1面・防球ネット・夜間照明塔	15,388
	姉崎多目的広場	姉崎海岸23-2	4,070	砂入り人工芝・フットサル3面・ジュニアサッカー1面 防球ネット・夜間照明塔	29,113
	姉崎プール	姉崎海岸23-2	3,900	冬季スケート場・流水プール・子供プール・更衣ロッカー室 駐車場・食堂・売店 ※令和5年度営業中止	0
	姉崎スケート場	姉崎海岸23-2	3,900	夏季プール・メインリンク・サブリンク 食堂・売店 ※令和5年度営業中止	0

総称	施設名	所在地	面積(㎡)	面積範囲	概　　要	令和6年度利用者数
八幡公民館	体育室	八幡1050-1	792.0	床	バレーボールコート2面	21,561
姉崎公民館	体育室	姉崎2150-1	723.0	床	バレーボールコート2面	31,654
有秋公民館	体育室	有秋台西1-3-2	728.5	床	バレーボールコート2面	32,131
市津公民館	体育室	下野90-1	710.6	床	バレーボールコート2面	22,504
南総公民館	体育室	牛久520-1	856.1	床	バレーボールコート2面	16,027
加茂公民館	体育室	養老949-1	955.5	床	バレーボールコート2面	13,030
五井公民館	体育室	五井5472-1	999.3	床	バレーボールコート2面	30,177
辰巳公民館	体育室	辰巳台西3-14-1	712.8	床	バレーボールコート2面	30,351
国分寺公民館	体育室	南国分寺台1-2-6	628.5	床	バレーボールコート1面	20,472

（２）令和6年度社会体育事業報告

事業名			会場	日程等	対象・参加人数
学校体育施設開放			市立小・中学校	平日・土曜日・日曜日・祝祭日及び夜間	市　民　560,713名
市民スポーツ教室	前期	エアロストレッチ教室	臨海体育館	（月）　4月～6月	市　民　79名
		バドミントン教室	臨海体育館	（金）　4月～7月	女　性　23名
		テニス教室	市津運動広場	（木）　4月～6月	市　民　36名
		ﾅｲﾀｰｼﾞｮｷﾞﾝｸﾞ教室	ｾﾞｯﾄｴｰｵﾘﾌﾟﾘｽﾀｼﾞｱﾑ	（火）　4月～6月	市　民　42名
		やさしいヨガ教室	姉崎保健福祉ｾﾝﾀｰ	（金）　4月～6月	市　民　32名
		ソフトテニス教室	臨海第２庭球場	（火）　4月～7月	市　民　39名
	後期	エアロストレッチ教室	臨海体育館	（月）　9月～12月	市　民　78名
		バドミントン教室	臨海体育館	（金）　9月～12月	女　性　23名
		テニス教室	臨海第２庭球場	（木）　9月～11月	市　民　37名
		ﾅｲﾀｰｼﾞｮｷﾞﾝｸﾞ教室	ｾﾞｯﾄｴｰｵﾘﾌﾟﾘｽﾀｼﾞｱﾑ	（火）　8月～10月	市　民　41名
		やさしいヨガ教室	南部保健福祉センター	（金）　9月～12月	市　民　33名
		ソフトテニス教室	臨海第２庭球場	（火）　9月～11月	市　民　39名
市民スポーツ教室		エンジョイヨガ教室	ゼットエー武道場	（金）　1月～3月　（全5回）	市　民　10名
		やさしいピラティス教室	ゼットエー武道場	（水）　8月～9月、1月～2月（全5回）	市　民　20名
		アロマストレッチ教室	ゼットエー武道場	（木）　7～8月（全5回）	市　民　16名
		ウィンターエアロ教室	ゼットエー武道場	（月）　1月～3月	市　民　467名
		ノルディックウォーキング教室	ゼットエー武道場周辺	（土）　4月～6月、9月～11月、1月～3月	市　民　22名
		スケート教室	姉崎スケート場		中止
		スキー教室	上越国際スキー場	1月25日～26日	市　民　23名
各種大会		ｴﾝｼﾞｮｲﾚﾃﾞｨｰｽﾃﾆｽﾄｰﾅﾒﾝﾄ	臨海第2庭球場	10月 3日（木）	市内在住・在勤の女　性　64名
		ｴﾝｼﾞｮｲﾚﾃﾞｨｰｽﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ大会	ゼットエー武道場	7月5日（金）	市内在住・在勤の女　性　42名
		市民体育祭	市内11会場	9月～10月	市　民　4,040名
		市原高滝湖マラソン	高滝ダム周辺	令和7年1月11日（土）	1,340名

事業名		会場	日程等	対象・参加人数
スポーツ協会関係	市民体育大会	市内外各会場	通　年	一般市民17,248名
	競技別各種大会	市内外各会場	通　年	一般市民
スポーツ推進委員関係	ソフトバレーボール大会	臨海体育館	令和6年6月23日（日）	133名
	ファミリーハイキング	月崎駅周辺等	令和6年11月23日（祝・土）	198名
	市原市健康マラソン・リレーマラソン大会	上総更級公園	令和7年2月8日（土）	417名
	市原市スポーツ・レクリエーション祭 各地区大会	市内各地区（10地区）	通　年	市民　1,598名
	高滝湖FUNハイキング	高滝湖周辺	雨天のため中止	雨天のため中止
市原市ジュニアゴルフスクール		ジャンボゴルフクラブ・アネックスゴルフ・鶴舞カントリー倶楽部	令和5年12月3日（日）～令和6年1月28日（日）	市内小学5年生～中学3年生 30名
ホームタウン関係	ホームタウンふれあいフェスタ	ゼットエーオリプリスタジアム	令和6年9月8日(日)	市内小学生76名
	スポーツ体験教室（サッカーおとどけ隊）	市内小学校、保育所、認定こども園	通　年	38施設
	千葉ロッテマリーンズ ダンス体験教室	市内小学校、保育所、認定こども園	通　年	6施設

（３）令和6年度学校体育施設開放事業概要

① 趣　　旨
　市民の健康づくりや体力づくりの推進並びにスポーツ活動の普及拡充のために、学校体育施設を体育・スポーツ活動の場として地域住民に開放する。
② 概　　要
　開放学校数　　市内小中学校　　60校（小学校39校　中学校21校　うち小中一貫教育校1校 ）
③ 開放施設　　小学校（体育館・校庭）
　　中学校（体育館・校庭・柔剣道場）

Ⅷ　資　　料

1　歴代教育長・教育委員

年度	教育長・教育委員					参与員	
39	川上　二典	鈴木　良平 斉田　鶴松	＊齊藤源一郎 ○　〃	○大田　正雄 安藤　雅章	伊藤新太郎 ＊本間　隆次		
40	〃	〃	○　〃	〃 三橋　力	＊　〃		
41	〃	〃	○　〃	〃	＊　〃		
42	○　〃	〃	○　〃 川口　敬次	〃	＊　〃	三橋　寛	佐藤　常
43	○　〃	〃	〃	〃	＊　〃	〃	〃
44	○　〃	〃	〃	〃 三橋　寛	＊　〃	〃	〃
45	○　〃	〃	〃	〃	＊　〃	杉本 義治郎	〃
46	○　〃	〃	〃 中島　秀夫	〃	＊　〃	〃	〃
47	○　〃	〃 杉本　義治郎	〃	〃	＊　〃	〃	〃
48	○　〃	〃	〃	○　〃	＊　〃	国吉　忠一	〃
49	〃 吉田　太郎	〃	〃	○　〃	＊　〃	〃	〃
50	〃	〃	〃	○　〃	＊　〃 ＊齊藤　明	〃	〃
51	〃	〃	〃	○　〃	＊石井　正泰		〃
52	〃	〃	〃	○　〃	＊　〃		〃
53	〃	〃	〃	○　〃	＊　〃		
54	〃	〃	○　〃	○　〃	＊　〃		
55	〃	〃 小宮　徳次郎	○　〃	〃	＊　〃		
56	○　〃	〃	○　〃	〃 星野　一郎	＊　〃		
57	○　〃	〃	〃	〃	＊　〃		
58	○　〃	○　〃	〃	＊　〃	＊　〃 植草　久善		
59	〃	○　〃	〃	＊　〃	〃		
60	〃	○　〃	○　〃	＊　〃	〃		

年度	教育長・教育委員					参与員	
61	〃 泉水　亀三	〃	○　〃	＊　〃	〃		
62	〃	○　〃	○　〃 長野　正文	＊　〃	〃		
63	〃	○　〃	〃	＊　〃	○　〃		
元	〃	小宮　徳次郎	〃	＊　〃	○　〃		
2	○　〃	〃	〃	＊　〃	○　〃		
3	○泉水　亀三	小宮　徳次郎	長野　正文 牧野　肇成	＊星野　一郎	植草　久善		
4	○　〃 〃	〃	〃 ○　〃	＊　〃 泰野　静夫	○　〃 ＊　〃		
5	〃	〃	○　〃	〃	＊　〃		
6	〃 三木　敏靖	○　〃	○　〃	〃	＊　〃 ＊大野　　皎		
7	〃	○　〃	〃 伊藤　作平	〃	＊　〃		
8	〃	○　〃 齋賀　昌五	〃	〃 ○　〃	＊　〃		
9	○　〃	〃	〃	○　〃	＊　〃		
10	○　〃	〃	〃	〃	＊　〃		
11	○　〃	〃	〃 飯高　和子	〃	＊　〃		
12	○　〃	〃	〃	〃	＊　〃		
13	○　〃	〃	〃	〃 ＊竹下　徳永	＊　〃 浅野　薫之		
14	○　〃 〃	〃 ○　〃	〃	＊　〃	〃		
15	〃	○　〃	〃 土岐　典子	＊　〃 ＊山中　齊	〃		
16	〃 ○　〃	○　〃 山崎　正夫	〃	＊　〃	〃		
17	○　〃 〃	〃	〃	＊　〃	〃 ○　〃		
18	〃 伊藤　均	〃 ○　〃	〃	＊　〃	○　〃 〃		
19	〃	○　〃 ＊　〃	〃	＊　〃 ○　〃	〃		

年度	教育長・教育委員					参与員	
20	〃	＊　〃	〃	○　〃	〃		
21	〃	＊　〃	〃	○　〃	〃		
22	〃	＊　〃	〃	○　〃	〃		
23	〃	＊　〃	〃	○　〃	〃 白鳥　秀幸		
24	〃	＊　〃 ○　〃	〃 洞　厚子	○　〃 〃	〃 ＊　〃		
25	〃	○　〃	〃	〃 船山　慶子	＊　〃		
26	〃	○　〃	〃	〃	＊　〃		
27	〃	○　〃 〃	〃	〃	＊　〃 ＊　前田　周一		
28	〃	〃 秋田　秀博	〃	〃	＊　〃		
29	〃	〃	〃	〃	＊　〃		
30	伊藤　均 田村　雅治	〃	〃	〃	＊　〃 ＊　林　充		
元	〃	〃	〃	〃	＊　〃		
2	〃	〃	〃	〃	＊　〃		
3	〃	〃	〃	〃	＊　〃		
4	〃	〃	〃	〃	＊　〃		
5	〃	〃	〃 宮﨑　理恵	〃	＊　〃		
6	〃	〃 泉水　洋二	〃	〃	＊　〃 ＊　藤谷　誠		
7	〃 三橋　京子	〃	〃	〃 古川　謙一	＊　〃		

（注）・＊は教育長、○は委員長を示す。
・委員長は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、平成27年7月16日限りで廃止した。
・参与員は、昭和42年10年１日に南総町、加茂村の合併に基づき設置し、昭和52年9月30日限りで廃止した。

2　学校教育諸団体

（1）市原市教育支援委員会

①　委　　員

（令和7年7月1日現在）

区分	No.	氏名	所属	役職名	備考
医師	1	野崎　修	野崎医院	医師	
	2	蔵内　隆秀	蔵内医院	医師	
	3	宇井　るい	市原鶴岡病院	医師	
教育職	4	御所脇　みどり	若葉小学校	校長	新
	5	金本　園美	南総中学校	校長	新
	6	千葉　朋緒	市原特別支援学校	校長	新
	7	神子　佳津子	市原特別支援学校	教諭	
	8	鈴木　啓子	加茂学園	教諭	
	9	栗田　和美	国府小学校	教諭	
	10	髙村　浩二	辰巳台西小学校	教諭	新
	11	飯島　菜摘	南総中学校	教諭	
	12	金髙　由美子	光風台小学校	養護教諭	
行政機関	13	黒川　陽子	発達支援センター	係長	
	14	浦部　麻衣	発達支援センター	言語聴覚士	新
	15	錦織　美千代	牛久認定こども園	園長	新
	16	齋藤　和則	教育部	課長	新
	17	笠原　美紀	教育センター	指導主事	新

②　調　査　員

（令和7年7月1日現在）

区分	No.	氏名	所属	役職名	備考
特別支援教育職	1	神子　佳津子	市原特別支援学校	教諭	
	2	栗田　和美	国府小学校	教諭	
	3	髙村　浩二	辰巳台西小学校	教諭	新
	4	木嶋　義恵	石塚小学校	教諭	
	5	佐藤　佳弘	国府小学校	教諭	
	6	佐々木　かおり	清水谷小学校	教諭	新
	7	川添　淳子	八幡小学校	教諭	
	8	古屋　真知子	京葉小学校	教諭	
	9	皆平　美佳	ちはら台桜小学校	教諭	
	10	鈴木　由紀子	国分寺台小学校	教諭	
	11	工藤　明子	五井小学校	教諭	
	12	寺尾　美里	戸田小学校	教諭	
	13	浦部　麻衣	発達支援センター	言語聴覚士	新
	14	古藤田　有希	槇の実特別支援学校	教諭	

（２）市原市特別な教育的支援を必要とする児童生徒に係る支援会議委員

（令和7年8月1日現在）

氏　　名	役　　職　　等
市原特別支援学校の代表	
川添　幹貴	千葉県立市原特別支援学校教頭
医師	
倉山　英生	一般社団法人市原市医師会監事
臨床心理士	
志村　聡子	一般社団法人千葉県公認心理師協会 臨床心理士・公認心理師
千葉県中核地域生活支援センターの代表	
大戸　優子	千葉県中核地域生活支援センター いちはら福祉ネット所長
学識経験者	
積田　兆生	元市原市特別支援教育研究連盟理事長

（３）市原市通学区域調整委員会委員

（令和7年7月1日現在）

氏　　名	役　　職　　等
学識経験者	
細淵 一之	市原市青少年相談員連絡協議会　副会長
学識経験者	
潤間 宏一	市原市民生委員児童委員協議会　理事
小学校長	
阿部　あけみ	市原市立水の江小学校　校長
小学校長	
大網　栄治	市原市立辰巳台東小学校　校長
中学校長	
泰原　浩	市原市立辰巳台中学校　校長
中学校長	
滝口 隆一	市原市立国分寺台中学校　校長
町会長連合会代表	
泉水　卓	市原市町会長連合会　理事
ＰＴＡ連絡協議会代表	
松嶋　真紀	市原市 PTA 連絡協議会　事務局　次長
市職員	
牧野　秀人	地域連携推進課　課長

（4）市原市通学路事故防止対策協議会委員　　（令和 7 年 5 月 1 日現在）

	氏　名	機関・所属名	職　　名	備　考
1	阿部　あけみ	市原市小学校校長会	会長（水の江小学校長）	任期：令和 7 年 5 月 1 日～
2	泰原　浩	市原市中学校校長会	会長（辰巳台中学校長）	任期：令和 7 年 5 月 1 日～
3	富岡　源太郎	市原警察署	交通課長	任期：令和 7 年 5 月 1 日～
4	稲富　卓洋	市原土木事務所	維持課長	任期：令和 7 年 5 月 1 日～
5	花川　正人	市原土木事務所	鶴舞出張所長	任期：令和 7 年 5 月 1 日～
6	牧野　秀人	市原市　市民生活部	地域連携推進課長	任期：令和 7 年 5 月 1 日～
7	三枝　聡也	市原市　土木部	土木管理課長	任期：令和 7 年 5 月 1 日～
8	秋穂　敬介	市原市　土木部	道路建設課長	任期：令和 7 年 5 月 1 日～
9	中社　秀樹	市原市　土木部	道路維持課長	任期：令和 7 年 5 月 1 日～
１０	中川　浩徳	市原市　土木部	南部土木事務所長	任期：令和 7 年 5 月 1 日～
１１	齋藤　和則	市原市　教育部	学校教育課長	任期：令和 7 年 5 月 1 日～
１２	小髙　輝美	市原市　教育部	指導課長	任期：令和 7 年 5 月 1 日～
１３	安部　美紀	市原市　教育部	教育総務課長	任期：令和 7 年 5 月 1 日～

※任期：令和 7 年 5 月 1 日～令和 9 年 4 月 30 日

（５）学校医・学校歯科医・学校薬剤師

①小学校　　（令和7年9月1日現在）

No.	小学校名	学校医		学校歯科医	学校薬剤師
		内科医	眼科・耳鼻科医		
1	八幡	倉山英生・宮本信浩	清川正浩 和田二郎	浅野裕之・初芝成之	小澤美佳
2	菊間	山内健嗣	（清川正浩） （佐々木慶太）	及川喜和	井上　浩
3	市原	小野木淳	（清川正浩） （橋本純弥）	佐久間尚志	髙橋秀幸
4	辰巳台東	横山洋平・倉持宏明	（金谷芳明） （佐々木慶太）	土橋信男・村西俊哉	山田仁之
5	辰巳台西	山内健嗣・今井瑞香	（金谷芳明） （佐々木慶太）	川畑　格・高橋啓子	安部千百合
6	五井	馬場奏子・徳政直起 野崎　修	麻薙　薫 大倉　崇	木村守宏・佐藤由信 田川七郎	中山圭喜
7	白金	長谷川史郎・荒原健男	（清川正浩） （和田二郎）	田中國資 伊藤英昭	伊藤瑠美子
8	国府	大岡　光	（宮沢敏郎） 小島好雅	佐藤由信	石井哲也
9	京葉	川越理香・横須賀恭子	（齊藤　隆） 小島好雅	時田直人・本田　薫	岡本奈津美
10	千種	越川健太郎・茂久田修 山口　学	麻薙　薫 蔵内隆秀	大野裕久・水田　進 村瀬俊彦	岡本奈津美
11	東海	大岡　光	（齊藤　隆） （大倉　崇）	大岡　令	三島孝樹
12	姉崎	内田威一郎	広松正児 蔵内隆秀	小泉一明	小西弘晃
13	有秋東	四ツ谷諭	（広松正児） 千葉恭久	小泉　渉	浜　文
14	海上	内藤由紀子	（橋本ゆう子） 蔵内隆秀	加賀美毅樹	伊藤政義
15	市西	春山浩美	（齊藤　隆） （大倉　崇）	佐久間博史	岡本　衛
16	養老	春山浩美	（宮沢敏郎） （蔵内隆秀）	加賀美毅樹	永嶌謙一
17	湿津	碓井健司・今井瑞香	金谷芳明 佐々木慶太	中島　暢・田中　陽	小室裕保
18	市東第一	奥田　整	（金谷芳明） 佐々木慶太	山本利男	野口　剛
19	戸田	三井正泰	（田村雅弘） （小島好雅）	永野伸一	岡本　衛
20	牛久	三橋京子	（田村雅弘） （小島好雅）	三橋　裕	宮澤純之

No.	小学校名	学校医		学校歯科医	学校薬剤師
		内科医	眼科・耳鼻科医		
21	鶴舞	三橋　淳	（麻薙　薫） （小島好雅）	貴志知宏	石川寿一
22	有秋西	髙岡　敦・内田威一郎	（広松正児） （千葉恭久）	藏内優子・渡邉孝行	宮坂知江
23	若葉	高野　慎・泉水　昇	麻薙　薫 大倉　崇	小泉一明・川上一秀	石井由布子
24	明神	内田威一郎・髙岡　敦	（広松正児） 藏内隆秀	小池清二・松田裕一	三島孝樹
25	若宮	渡部十九六	清川正浩 和田二郎	加賀美勝仁	伊藤　均
26	石塚	倉持宏明・山見智子	（清川正浩） （和田二郎）	荻野　淳・伊藤祐好	小野崎章
27	青葉台	茂久田修・四ツ谷諭	広松正児 千葉恭久	水田　進・鎗田四郎	藤田裕美
28	白幡	山見智子	（清川正浩） （橋本純弥）	鹿島宗幹	行徳浩志
29	国分寺台	野崎　修・山越弘明	宮沢敏郎 （大倉　崇）	稲葉　洋・常泉正明	小西恵可
30	光風台	三橋京子	田村雅弘 （藏内隆秀）	伊藤祐好	松本弘行
31	国分寺台西	大岡　光・徳政　直起	（橋本ゆう子） （大倉　崇）	泉水孝夫・末廣幸文	佐藤　謙
32	有秋南	小島聡子	広松正児 （千葉恭久）	大野裕久	細川清史
33	国分寺台東	古矢裕歩子	（橋本ゆう子） （大倉　崇）	高宮晃吉	牧野玲子
34	水の江	碓井健司・押田恵子・下山　真	（宮沢敏郎） 橋本純弥	松原雅二・幾本英之 横田哲史	金森万裕
35	五所	長谷川史郎	橋本ゆう子 （和田二郎）	高橋啓子	伊藤瑠美子
36	清水谷	西岡　正・表　敬介	（田村雅弘） 橋本純弥	長野高志・渡邉聖子	中山由美香
37	牧園	安藤　靖・下山真彦	（金谷芳明） （橋本純弥）	土橋信男・金井　亨	中山由美香
38	ちはら台桜	押田恵子・斉藤公男 西岡　正	金谷芳明 （橋本純弥）	宮吉正人・石渡純也 松田英一郎	伊藤浩美
39	加茂	山形　敏之	（田村雅弘） （千葉恭久）	豊田博志	岡本　衛

②中学校　　（令和7年4月1日現在）

No.	中学校名	学校医		学校歯科医	学校薬剤師
		内科医	眼科・耳鼻科医		
1	八幡	倉山英生・宮本信浩 寺嶋雅史	清川正浩 和田二郎	浅野裕之・鎗田　整・金井名香子	伊藤浩美
2	菊間	山内健嗣	（宮沢敏郎） （佐々木慶太）	渡邉聡明	小野崎章
3	市原	清水秀之	（齊藤　隆） （橋本純弥）	宮吉　誠	髙橋秀幸
4	五井	馬場奏子・髙野　慎 太田節雄	橋本ゆう子 大倉　崇	村主高志・古波倉敏 中澤信治	矢嶋照雄
5	東海	小出貢二	齊藤　隆 大倉　崇	小泉　渉	宮川輝明
6	姉崎	内田威一郎・遠山洋一	（広松正児） （千葉恭久）	小池清二・水田　茂	浜　文
7	三和	山越弘明	橋本ゆう子 （小島好雅）	本田　薫	丸山裕加
8	湿津	鈴木和浩	田村雅弘 佐々木慶太	中島　暢	小室裕保
9	市東	杉田　茂	宮沢敏郎 佐々木慶太	山本利男	野口　剛
10	辰巳台	鈴木啓之・表　敬介	宮沢敏郎 藤川　陽	馬橋敏紀・　松原雅二	坂本知子
11	加茂	山形　敏之	田村雅弘 千葉恭久	三橋　裕	岡本　衛
12	南総	藤原　稔	（麻薙　薫） 蔵内隆秀	渡辺哲広	宮澤純之
13	若葉	泉水　昇・山﨑祐二	麻薙　薫 （大倉　崇）	渡邉孝雄・時田直人	小澤美佳
14	有秋	高岡　敦・越川健太郎	（広松正児） 千葉恭久	齋藤則之・矢島　健太	石井哲也
15	国分寺台	飯倉康弘・小椋健司	齊藤　隆 小島好雅	藤平真樹・岡本芳敬	松本弘行
16	姉崎東	遠山洋一	広松正児 （千葉恭久）	木村孝雪	細川清史
17	双葉	三井正泰	橋本ゆう子 （蔵内隆秀）	村西俊哉	永嶌謙一
18	千種	伊嶋正弘・小出貢二	（麻薙　薫） （蔵内隆秀）	重野　契・手代木悠太	徳田兼土
19	国分寺台西	濱田哲郎・渡部宏嗣	（齊藤　隆） 小島好雅	鶴岡和之・宗田友紀子	丸山裕加
20	ちはら台南	安藤　靖・下山真彦 横山洋平	宮沢敏郎 橋本純弥	遠藤　情・片井正裕 宮吉　誠	永野祐太郎
21	ちはら台西	鈴木和浩・下山真彦	（金谷芳明） 橋本純弥	長野高志・長谷川良二	岸　克幸

※小・中学校とも眼科・耳鼻科医のうち（　）内は健康診断に従事する医師である。

（６）市原市学校給食共同調理場運営委員会委員　　（令和7年7月1日現在）

職　　名	氏　　名
市原健康福祉センター長 （市原保健所長）	中村　恒穂
八幡小学校長	毛塚　真澄
牛久小学校長	山本　和幸
湿津小学校長	渡辺　千映子
市東中学校長	出本　晴美
東海中学校長	今井　賢
南総中学校長	金本　園美
若葉中学校ＰＴＡ	阿部　貴行
湿津中学校ＰＴＡ	服部　泰子
八幡小学校ＰＴＡ	伊達　亮太
千種小学校ＰＴＡ	鈴木　伸哉
南総中学校ＰＴＡ	土橋　和久
市原市医師会代表	今井　瑞香
市原市歯科医師会代表	齋藤　則之
市原市薬剤師会代表	岡本　衛

3　社会教育諸団体

（1）社会教育委員

◎委員長　○副委員長　　（令和7年7月1日現在）

氏　名	役　職　等
岩瀬　恵子	市原市小学校長会
國吉　浩二	市原市中学校長会
大岩　良徳	千葉県高等学校長協会市原地区校長会
島田　晴夫	市原市老人クラブ連合会
石川　廣美	市原市文化団体連合会
鶴岡　政彦	市原市スポーツ協会
今泉　武典	市原市青少年相談員連絡協議会
鈴木　久美子	市原市PTA連絡協議会
杉山　純	市原市町会長連合会
◎ 岡本　健一	学識経験者
庄司　彰	学識経験者
榊原　ゆり子	学識経験者
○ 鶴岡　みつ子	学識経験者

（2）公民館運営審議会委員

（令和７年７月１日現在）

氏　　名	役　職　等
近　藤　　哲	学校教育の関係者
鷲　山　信　二	学校教育の関係者
小　出　　博	社会教育の関係者
石　井　　健	社会教育の関係者
山　田　孝　雄	社会教育の関係者
山　田　能里子	社会教育の関係者
柴　嵜　洋　子	社会教育の関係者
田　村　壽　英	社会教育の関係者
西　沢　峯　夫	社会教育の関係者
三　浦　雅　子	社会教育の関係者
保　坂　　清	社会教育の関係者
安　藤　惠美子	家庭教育の関係者
丸　山　博　美	家庭教育の関係者
小　関　勇　次	学識経験者
外　山　洋　子	学識経験者

（３）市原市立中央図書館協議会委員

（令和7年7月1日現在）

氏　　名	役　　職　　等
学校教育関係者	
西　川　　直　文	市原市私立幼稚園協会　会長
平　田　　美　幸	市原市小学校長会 （市原市立ちはら台桜小学校長）
片　山　　博　臣	市原市中学校長会 （市原市立五井中学校長）
池　邉　　憲　彦	千葉県高等学校長協会市原地区 （千葉県立市原八幡高等学校長）
社会教育関係者	
中　村　　正　利	市原市子ども会育成会連絡協議会　事務局長
黒　川　　泰　子	いちはら文庫・おはなし会連絡協議会運営委員
家庭教育関係者	
伊　達　亮　太	市原市PTA連絡協議会　副会長
土　橋　仁　美	千葉県高等学校PTA連合会市原地区PTA役員
学識経験者	
高　橋　　仁	帝京平成大学図書館　館長
小　林　　義　明	市原市社会福祉協議会　職員
千　　錫　烈	関東学院大学社会学部現代社会学科　教授
牧　野　　淳　子	元市原市立中央図書館　館長

（4）市原市青少年問題協議会委員

◎会長　　（令和７年７月１日現在）

氏　　名	役　職　等
◎　小　出　譲　治	市原市長
伊　佐　和　子	市原市議会議長
吉田　あけみ	市民文教常任委員会委員長
齋藤　孝之	千葉県市原警察署長
中村　恒穂	千葉県市原健康福祉センター長
関谷　聡	市立小学校長の代表者
小野寺城治	市立中学校長の代表者
勝部　恭央	市内高等学校長の代表者
佐久間　重充	市原市保健福祉部長
山形紀美枝	市原市子ども未来部長
酒巻達也	市原市経済部長
藤谷　誠	市原市教育長
梅津　雅之	市原市教育委員会生涯学習部長

（5）市原市青少年指導センター運営協議会委員

（令和7年7月1日現在）

号委員	氏　　名	役　職　等
1号委員 教育 関係者	荒井　護夫	市原市教育委員会教育部次長
	木下　智文	千葉県高等学校長協会市原地区校長会代表
	今泉武典	市原市社会教育委員会議代表
	小野寺　城治	学校警察連絡協議会会長
2号委員 児童福祉 関係者	片岡　仁	市原市民生委員児童委員協議会代表
	黒沼　純	市原地区保護司会代表
	並木利夫	市原市防犯協会代表
	細淵　一之	市原市青少年相談員連絡協議会副会長
	秋田　錦一郎	市原市青少年補導員連絡協議会会長
	藤井和代	市原地区更生保護女性会副会長
3号委員 警察 関係者	保田　大輔	市原警察署生活安全課課長
4号委員 学識 経験者	鶴岡　みつ子	市原市退職校長会　元小学校長
	小泉　学	市原市退職校長会　元中学校長
5号委員 民間団体 代表	小野寺　崇	市原市PTA連絡協議会代表
	長岩浩樹	市原市臨海部工場連絡会代表

（６）市原市文化財審議会委員

（任期　令和7年6月17日～令和9年6月16日）

番号	役職	氏　　名	備　　考
1		亀　田　　直　美	
2		榎　　美　香	
3		小　関　　勇　次	
4		八　木　　令　子	
5		後　藤　　雅　知	
6		金　出　　ミチル	令和6年7月14日～ 令和8年7月13日
7	会長	萩　原　　恭　一	
8		塩　澤　　寛　樹	
9		髙　橋　　克	

（７）市原市美術資料収集選定委員会委員

（任期　令和7年7月1日～令和9年6月30日）

番号	役職	氏　　名	備　　考
1		赤　松　　祐　樹	
2		鴻　野　　わか菜	
3		河　野　　実	
4		前　田　　周　一	

（８）市原市地磁気逆転地層保存活用検討委員会委員

（任期　令和5年10月1日～令和7年9月30日）

番号	役職	氏　　名	備　　考
1	委員長	岡　田　　誠	
2		亀　尾　　浩　司	
3		小　荒　井　　衛	
4		永　島　　絹　代	
5		高　橋　　秀　樹	
6		加　藤　　久　佳	

（９）市原歴史博物館協議会委員

（任期 令和6年11月20日～令和8年11月19日）

番号	役職	氏　　名	備　　考
1		土岐　弘幸	
2		石井　堯栄	
3		平澤　牧人	
4		橘　　正顕	
5		井上　由佳	
6	副会長	山田　俊輔	
7		工藤　航平	
8	会長	立野　晃	
9		湯淺　かさね	
10		露﨑　実	

（９）市原市スポーツ推進委員

（令和7年7月1日現在）

地区	Ｎｏ	氏　　名	性別	指導可スポーツ・資格
市原	1	浅野　英美	男	
	2	今井　和幸	男	
	3	岡本　均	男	
	4	宮田　拓和	男	野球
	5	石渡　政彦	男	テニス
	6	依田　輝男	男	
	7	梅谷　晃弘	男	
	8	仲村　淳樹	男	
	9	千葉　雅一	男	
	10	鶴岡　寛之	男	
	11	田山　弘之	男	
五井	12	森田　祥行	男	野球、ジムトレーニング
	13	南條　達弘	男	水泳、ゴルフ、テニス等
	14	中島　洋平	男	野球
	15	渡辺　正樹	男	野球、ボッチャ
	16	折笠　彰彦	男	ラグビー
	17	山本　祐己	男	
	18	西山　聡	男	ラジオ体操
	19	豊川　由美子	女	
	20	橋本　千尋	男	バレーボール
	21	久米　智之	男	野球、サッカー等
	22	岩間　由浩	男	サッカー
	23	井手　茂実	男	
姉崎	24	藤田　知嗣	男	
	25	中村　信弘	男	野球、ソフトバレー
	26	水谷　恵子	女	
	27	作阿彌　弘之	男	
	28	吉富　智子	女	
	29	山崎　裕基	男	アーチェリー
市原	30	古川　利夫	男	バドミントン、野球
	31	森　保彦	男	バレーボール
	32	相野　喜昭	男	
	33	飛鋪　芳夫	男	
	34	髙浦　容子	女	
	35	宮澤　典子	女	
	36	堀部　直美	女	
三和	37	髙石　忠	男	
	38	高橋　みどり	女	
	39	黒須　寛子	女	
	40	秋成　真	男	
	41	坂巻　利之	男	テニス、水泳
	42	佐塚　恭子	女	ウォーキング、ハイキング
	43	宮澤　和典	男	
	44	佐高　佳之	男	サッカー
南総	45	伊藤　陽子	女	バレーボール
	46	鈴木　優子	女	
	47	氷室　佐和子	女	ソフトテニス
	48	小栁　正公	男	
	49	牧澤　利浩	男	
	50	村越　真裕	男	
	51	鶴岡　正幸	男	バレーボール
加茂	52	市原　秀和	男	
	53	相川　徳光	男	サッカー
	54	中澤　力生	男	
	55	小宮　直人	男	
	56	杉田　正明	男	
	57	山田　真市	女	
	58	石川　修	男	
	59	鈴木　健太	男	
辰巳台	60	宮内　弘幸	男	
	61	清水　富貴子	女	バレーボール
	62	横田　れい子	女	
	63	田中　淳一	男	ソフトバレー
	64	菊地　三奈美	女	
	65	長岐　俊輔	男	柔道
	66	板倉　みゆき	女	柔道
有秋	67	安倍　保男	男	インディアカ、カローリング等
	68	廣中　芳孝	男	バレーボール
	69	中島　隆彰	男	軟式野球
	70	橋本　宏幸	男	バレーボール
	71	宮本　清春	男	ランニング
	72	三橋　晃子	女	カローリング、ボッチャ
	73	伊藤　由美子	女	
	74	藤城　光太	男	軟式野球
ちはら台	75	中村　克巳	男	野球、ボッチャ等
	76	石井　浩子	女	ソフトテニス
	77	永野　美佳	女	
	78	河本　勝	男	
	79	山口　正雄	男	

（１０）市原市スポーツ推進審議会委員

1号委員（学識経験がある者）　　（令和7年7月1日現在）

氏　　名	主な経歴
齋藤　和夫	・(公財)市原市スポーツ協会理事長 ・(公財)　千葉県スポーツ協会評議員
高橋　仁	・帝京平成大学健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部医療ｽﾎﾟｰﾂ学科教授 ・東京都ｱｽﾚﾃｨｯｸﾄﾚｰﾅｰ連絡協議会副会長 ・日本ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ協会強化事業本部ﾒﾃﾞｨｶﾙ委員会ﾄﾚｰﾅｰ部副主事 ・日本ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ委員会強化ｽﾀｯﾌ
作阿彌 弘之	・市原市スポーツ推進委員連絡協議会副会長
齋藤　冨美枝	・元千葉県レクリエーション協会事務局次長
藤田　嘉治	・市原市小中学校体育連盟会長 ・市原市立双葉中学校長
宮原　穂子	・サンプラザ市原内（公財)市原市地域振興財団 総務課 副主査
門脇　倭雄	・ちはら台地区社会体育振興会会長 ・(公財)日本障がい者協会ｽﾎﾟｰﾂ指導員 ・(一社)日本ボッチャ協会審判 ・千葉県障がい者スポーツ指導者協議会 事務局長 ・全国障害者スポーツ大会 千葉県選手団副団長・身体総監督 ・市原ボッチャクラブ　代表

（１１）（公財）市原市スポーツ協会役員　（令和7年7月1日現在）

役員	氏名
理事長	齋藤和夫
副理事長	鶴岡みつ子
専務理事	鶴岡政彦
常務理事	鹿島幸夫
理事	梅津雅之
	藤田嘉治
	外崎弘文
	永野治
	山越康義
	石川雅秀
	清宮宏之
	田邉義博
	黒須紀男
	水野了一
	青柳薫子
監事	景山秀貴
	齋藤精

（公財）市原市スポーツ協会加盟団体会長　（令和7年7月1日現在）

加盟団体	氏名	加盟団体	氏名
野球	井上孝一	少年野球	塚本利政
卓球	鈴木茂	ボクシング	吉田峰行
ソフトテニス	田中義昭	ライフル射撃	實籾操
柔道	鶴岡富士夫	スキー	星野義行
剣道	原田辰明	アマチュアゴルフ	金城彰
陸上	松本靖彦	体操	齋藤藤太
バレーボール	米元明	スケート	菊地洋己
バドミントン	瀧本和大	合気道	鶴岡忠良
サッカー	山本哲也	少林寺拳法	鈴木友成
テニス	斉藤績	自転車競技	行木孝
弓道	藤平晃	カヌー	森大死
水泳	大村正治	綱引	時田擴央
バスケットボール	庄司健二	なぎなた	常澄忠男
ラグビーフットボール	保坂好則	ゲートボール	
ソフトボール	関学	アーチェリー	伊藤弘一
ハンドボール	篠原一成	ダンススポーツ	中島立夫
クレー射撃	島崎悦昌	太極拳	山本弘
相撲	天羽正博	グラウンド・ゴルフ	青木康次
空手道	沖野龍夫	スナッグゴルフ	石井健
ヨット		レクリエーション	石井健
パークゴルフ	峯松良孝	スポーツ少年団	泉水正

（公財）市原市スポーツ協会加盟団体理事長　　（令和7年7月1日現在）

加盟団体	氏名	加盟団体	氏名
野球	大野　正人	少年野球	髙橋　良公
卓球	田邉　義博	ボクシング	佐藤　浩之
ソフトテニス	西村　直己	ライフル射撃	黒田　直子
柔道	伊藤　浩志	スキー	
剣道	滝口　隆一	アマチュアゴルフ	
陸上	松本　克彦	体操	大島　弘美
バレーボール	梶原　朋明	スケート	外崎　弘文
バドミントン	森　秋文	合気道	木村　敏明
サッカー	山越　康義	少林寺拳法	鎌倉　幸雄
テニス	橋本　敏清	自転車競技	栗田　秀隆
弓道	二本木　誠	カヌー	小倉　時義
水泳	萩原　光良	綱引	秋山　幸一
バスケットボール	小垣　圭	なぎなた	関　幸子
ラグビーフットボール	神尾　善二	ゲートボール	内藤　喜満
ソフトボール	谷川　清	アーチェリー	内藤　和夫
ハンドボール	藤田　秀邦	ダンススポーツ	中川　洋
クレー射撃	三橋　昭	太極拳	
相撲	阿部　玲子	グラウンド・ゴルフ	
空手道	関谷　隆幸	スナッグゴルフ	
ヨット		レクリエーション	鶴岡みつ子
パークゴルフ		スポーツ少年団	

（１２）　市原市社会体育振興会会員（令和7年度）　　（令和7年7月1日現在）

選出区分	氏名	選出区分	氏名
市原地区会長	宮原　廣	スポーツ推進委員連絡協議会副会長	中島　隆彰
五井地区会長	松村　貞		伊藤　陽子
姉崎地区会長	廣瀬　保夫	スポーツ推進委員連絡協議会理事	岡本　均
市津地区会長	高浦　康夫		南條　達弘
三和地区会長	長坂　徳敏		吉富　智子
南総地区会長	日山　正泰		飛鋪　芳夫
加茂地区会長	鎌滝　寿寿男		髙石　忠
辰巳台地区会長	清水　喜浩		牧澤　利浩
有秋地区会長	安倍　保男		相川　徳光
ちはら台地区会長	門脇　倭雄		宮内　弘幸
スポーツ推進委員連絡協議会会長	浅野　英美		橋本　宏幸
スポーツ推進委員連絡協議会副会長	作阿彌　弘之		石井　浩子

4　市原市立学校一覧

【小学校】　　※電話番号の下段はFAXです。　　（令和7年4月1日現在）

No.	小学校名	電話番号	校長氏名	教頭氏名	所在地	No.	小学校名	電話番号	校長氏名	教頭氏名	所在地
1	八　幡	41-1953 0644 42-2656	毛塚　真澄	光田　太一	〒290-0062 八幡530	21	鶴　舞	88-2014 88-2781	榎本　正信	智片　昭博	〒290-0512 鶴舞708
2	菊　間	41-3617 0196 42-2655	恒﨑　昭義	稲澤　健太	〒290-0007 菊間1620-1	22	有秋西	66-0674 5951 66-8673	二瓶　加珠子	兒玉　英祐	〒299-0125 有秋台西2-3
3	市　原	41-1048 1045 42-2654	荒木　正範	鶴本　弘美	〒290-0011 能満1320	23	若　葉	22-1581 1699 24-8148	御所脇 みどり	林　徹	〒290-0056 五井5555-1
4	辰巳台東	74-3671 2130 75-3697	大網　栄治	小林　愛子	〒290-0003 辰巳台東4-13	24	明　神	61-3634 3368 61-1079	濤岡　洋司	碇山　智生	〒299-0111 姉崎1850
5	辰巳台西	74-1874 2780 75-3696	佐藤　悟道	大西　輝	〒290-0004 辰巳台西4-16	25	若　宮	41-2364 2327 42-2675	今井　清美	小野寺　崇	〒290-0006 若宮3-13
6	五　井	21-1049 8468 24-8365	伊藤　究	佐久間　智英 植島　幹八	〒290-0055 五井東 1-6-3	26	石　塚	41-9142 9108 42-2653	渡邉　宏幸	正木　孝和	〒290-0061 八幡石塚2-4
7	白　金	21-0207 0248 24-8364	鈴木　麻貴子	仲村　通洋	〒290-0051 君塚3-19	27	青葉台	62-3888 3904 62-5733	蒲谷　修平	齊藤　泉	〒299-0117 青葉台 1-10-1
8	国　府	21-0576 24-6296	常澄　智代	小倉　健司	〒290-0031 村上1402-1	28	白　幡	74-9797 4936 75-3692	原田　広美	藤田　成知	〒290-0005 山木108
9	京　葉	21-1725 1846 24-8363	田中　哲也	原　博恵	〒290-0038 五井西 3-9-2	29	国分寺台	23-1444 1287 24-8147	岩瀬　恵子	阿部　広樹	〒290-0075 南国分寺台 3-2
10	千　種	21-0703 0166 24-8362	関谷　聡	多田　豊隆	〒299-0102 青柳1801	30	光風台	36-6502 6512 36-7663	野崎由美子	鏡　良幸	〒290-0255 光風台4-546
11	東　海	21-1676 1082 24-8157	小柴　卓也	田中　昌代	〒290-0032 廿五里558	31	国分寺台西	21-5411 2612 24-8143	近藤　哲	増田　香奈恵	〒290-0072 西国分寺台 2-11-1
12	姉　崎	61-0058 5974 61-1397	安藤　康哉	串田　篤則	〒299-0118 椎津461	32	有秋南	66-1224 1248 66-8672	川嵜　典子	高橋　徳行	〒299-0127 桜台3-1-1
13	有秋東	66-0026 8973 66-7097	一瀬　朋子	植松　葉子	〒299-0115 不入斗753	33	国分寺台東	21-5351 5352 24-8129	小澤　未知	渡部　智也	〒290-0074 東国分寺台 5-1
14	海　上	36-0802 36-0997	伊豆　浩江	小島　朋浩	〒290-0258 神代125	34	水の江	52-1700 4001 52-3382	阿部　あけみ	斉藤　光紀	〒290-0141 ちはら台東 2-15
15	市　西	36-0185 0119 36-7669	大平　哲也	磯部　浩之	〒290-0207 海士有木1130	35	五　所	42-2400 2727 42-2720	中村　敏江	勝原　圭介	〒290-0066 五所2154-1
16	養　老	36-0054 3943 36-7668	鈴木　徹	杉本　誠一	〒290-0217 松崎820	36	清水谷	52-3681 3682 52-3691	村上　由希子	田村　信一	〒290-0142 ちはら台南 5-2
17	湿　津	74-0603 75-3695	渡辺　千映子	青木　康倫	〒290-0171 潤井戸 2299-14	37	牧　園	74-1375 1191 74-1354	廣瀬　秀和	仁科　日香	〒290-0142 ちはら台南 2-7
18	市東第一	52-0656 1109 52-2274	今道　和信	林　斉子	〒290-0151 瀬又1820	38	ちはら台桜	52-6401 52-6422	平田　美幸	深澤　宏彰	〒290-0141 ちはら台東 5-13
19	戸　田	95-3321 0906 95-4429	本宮　かおり	薄　淳	〒290-0221 馬立830	39	加　茂	96-0042 0007 96-0292	村松　邦生	副校長 平林　純一 教頭 川面　和典	〒290-0541 平野123
20	牛　久	92-0022 0024 92-4452	山本　和幸	大野　修一	〒290-0232 皆吉933-2						

【中学校】　　※電話番号の下段はFAXです。　　（令和7年4月1日現在）

No.	中学校名	電話番号	校長氏名	教頭氏名	所在地	No.	中学校名	電話番号	校長氏名	教頭氏名	所在地
1	八　幡	41- 0772 0764 42- 2668	水野　了一	鹿瀬　みさ	〒290-0062 八幡500	12	南　総	92- 0044 3661 92- 4476	金本　園美	原　雄一郎	〒290-0509 安久谷140
2	菊　間	41- 3618 0197 42- 2667	鷲山 信二	齋藤　宗哉	〒290-0007 菊間1850	13	若　葉	21- 7911 6938 24- 8384	山本　友子	山中謙太郎	〒290-0056 五井5308
3	市　原	41- 3424 3435 42- 2664	積田　剛幸	飯田　泰俊	〒290-0011 能満1450	14	有　秋	66- 1066 1192 66- 8704	國吉　浩二	榎本　満好	〒299-0115 不入斗1200
4	五　井	21- 3385 3386 24- 8389	片山　博臣	布田　寛 大戸　貴敬	〒290-0056 五井922-2	15	国分寺台	22- 4567 4429 24- 8376	滝口　隆一	餅田　誠	〒290-0075 南国分寺台2-1
5	東　海	36- 1682 3922 36- 7679	今井　賢	小川　政樹	〒290-0265 今富477	16	姉　崎　東	61- 6411 6462 61- 1459	木下　和巳	吉村　直美	〒299-0111 姉崎3056-1
6	姉　崎	61- 0100 2131 61- 1498	小野寺城治	田中　孝明	〒299-0111 姉崎2156	17	双　葉	36- 6211 6201 36- 7673	藤田　嘉治	青山　将	〒290-0255 光風台1-475
7	三　和	36- 0141 0145 36- 7675	香川　浩昭	下原　史洋	〒290-0204 磯ヶ谷1703	18	千　種	21- 2918 6254 24- 3029	宮内　雅史	遠山　憲一郎	〒299-0109 千種6-1-1
8	湿　津	74- 0021 1694 75- 3803	齋藤　文孝	永嶌　透修	〒290-0171 潤井戸2297-2	19	国分寺台西	43- 1831 1862 42- 2658	大野　文昭	鈴木　博喜	〒290-0073 国分寺台中央 5-1-1
9	市　東	52- 0007 1120 52- 2292	出本　晴美	川村　剛	〒290-0163 東国吉356	20	ちはら台南	52- 1781 1788 52- 0261	宮原　尚	古屋　義和	〒290-0142 ちはら台南 5-3
10	辰　巳　台	74- 2475 1250 75- 3802	泰原　浩	成田　悠紀	〒290-0003 辰巳台東2-2	21	ちはら台西	40- 5911 40- 5115	青柳　薫子	森　正徳	〒290-0143 ちはら台西 5-1
11	加　茂	96- 0042 0007 96- 0292	村松　邦生	櫻井　義朗	〒290-0541 平野123						

教　　育　　要　　覧

令和7年10月
発　　行／市原市教育委員会
〒290-8501
千葉県市原市国分寺台中央１丁目１番地１
℡0436（23）9845　（直通）
編　　集／市原市教育委員会教育総務課
表　　紙／「寺谷小学校閉校記念式典」

